

90年の あゆみ

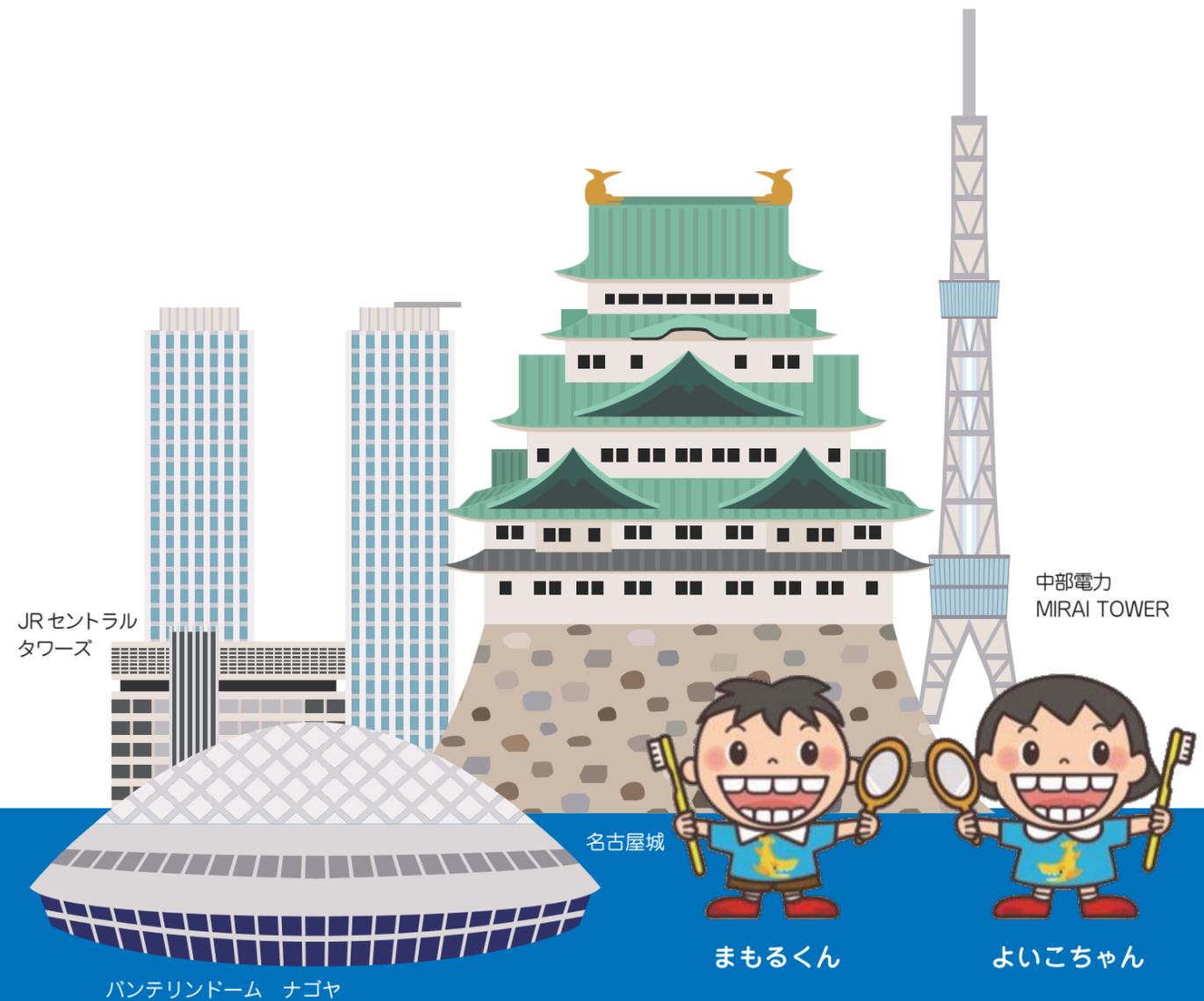
令和4年(2022)

90年のあゆみ
令和4年(2022)



名学歯ホームページ

名古屋市学校歯科医会



まもるくん

よいこちゃん

名古屋市学校歯科医会

名古屋市学校歯科医会 90年のあゆみ

挨拶 1

名古屋市学校歯科医会 会長

祝辞 3

歴代会長の想念 11

第5代会長～第10代会長

90年のあゆみ 17

写真で見るあゆみ

主な活動紹介 41

「名古屋市学校歯科120運動」について

「名古屋市歯科疾患特別健診」の歩み

各部の紹介 45

総務

学術

特別健診・広報

120運動

企画

会計

三役

監事・参与

各支部活動報告 53

千種区支部

東区支部

北区支部

西区支部

中村区支部

中区支部

昭和区支部

瑞穂区支部

熱田区支部

中川区支部

港区支部

南区支部

守山区支部

緑区支部

名東区支部

天白区支部

各支部会員数・支部事業

資料 85

名古屋市学校歯科医会 90年の歩み

叙勲・表彰

優良校表彰

役員

業績

編集後記 127



ご挨拶

名古屋市学校歯科医会

会長 伊藤 裕一郎

このたび、名古屋市学校歯科医会が創立90周年を迎えるにあたり記念事業として記念誌の発刊をさせていただきました。本会は昭和7年（1932年）より活発な学校歯科保健活動が続けており、この記念誌にも直近10年間の活動の一部が紹介されていますのでご一読ください。

3年前に元号も令和となり東京オリンピック開催が目前となってから新型コロナウイルスが世界中に猛威を振るい、大勢の命が失われ、我々の生活様式も変更を余儀なくされました。この原稿を執筆している令和3年の時点では医療従事者のワクチン接種は終了したもののウイルスも変異株に置き換わり収束の目途もたっていませんので、果たして令和4年に記念式典が無事開催できるのかも不確定な状況です。今から9年前、80周年の時、専務理事という立場で記念事業に携わりましたが、その時には本会の代表的な事業「歯をまもるよい子の会」が新型コロナウイルス感染拡大の影響で2年連続の中止となるとは想像もしていませんでした。しかし、役員一丸となってこのような苦難を乗り越え先人達の築き上げた伝統ある本会の事業を執行していきたいと考えています。

近年では歯肉炎と判定される児童生徒が小学4年生から増え中学3年生でもG、GOの合計で約3割の生徒に歯肉炎が認められること、また12歳児のDMFTに下げ止まり傾向が認められることから歯肉炎予防を目的とした特別健診事業にデンタルフロス指導を取り入れ、中学校でも特別健診を実施し、小学校におけるフッ化物洗口を実施する準備をしています。

最後に、常日頃よりご指導ご鞭撻いただいています（公社）日本学校歯科医会、名古屋市教育委員会をはじめとする教育関係者の皆様、愛知学院大学歯学部口腔衛生学講座、豊田看護大学の皆様そして関係諸団体の皆様に心より御礼申し上げますと共に本会のさらなる発展のため今後ともご指導賜りますようお願いいたしまして私からのご挨拶とさせていただきます。

名古屋市学校歯科医会
90年のあゆみ

祝 辞

日本学校歯科医会	会 長
名古屋市教育委員会	教 育 長
名古屋市学校保健会	会 長
愛知県歯科医師会	会 長
名古屋市歯科医師会	会 長
愛知学院大学	名誉教授
愛知学院大学歯学部	教 授
日本赤十字豊田看護大学	教 授





祝 辞

公益社団法人 日本学校歯科医会

会 長 川 本 強

名古屋市学校歯科医会が創立90周年を迎えられ、活動記念誌「90年のあゆみ」が発刊されますことを心よりお祝い申し上げます。

貴会におかれましては、昭和7年に名古屋市立小中学校に119名の学校歯科医が嘱託されたことを期に設立されたとお聞きしております。以来90年の長きにわたり「12〇運動」や「歯科疾患特別健診」など特色のある学校歯科保健活動を通じて、幼児、児童生徒の歯科保健の向上に力を尽くされ、多大な貢献を果たしてこられたことに敬意を表します。

今から60年以上昔の話になりますが、我が国では児童生徒の未処置歯が著しく増加傾向にあり、学校歯科医の間でそのような状況をなんとかしたいという思いが強まりました。そのため日本学校歯科医会では「学童むし歯半減運動の実施要項」を作成し、昭和31年より「むし歯半減運動」が始まり、現在の「歯・口の健康づくり」を目的とした様々な運動へと続いております。このような学校歯科医会を中心とした運動により、全国の12歳児のDMFT指数は文部科学省による昭和59年度の調査開始から年々減少し、令和元年度には0.70本となりました。中でも、名古屋市を含む愛知県の調査結果は0.41本と全国平均を大きく下回っております。この素晴らしい成果も、ひとえに貴会の歴代役員並びに会員の皆様のご努力の賜物と存じます。

さて、近年、子供のう蝕が減る一方で歯周病や咀嚼・摂食に関わる口腔機能の未発達、歯・口の外傷、虐待による口腔環境の悪化といった課題が指摘されております。本会といたしましては、今後も貴会との連携をより深めさせていただきながら多くの課題に取り組む、学校歯科保健の更なる充実と推進に貢献できるよう尽力して参りますので、ご協力をいただけますようお願い申し上げます。

結びに、90周年の節目を迎えられた名古屋市学校歯科医会の今後益々のご発展と皆様方のご健勝を祈念いたしまして、お祝いのご挨拶とさせていただきます。



祝 辞

名古屋市教育委員会
教育長 鈴木 誠 二

名古屋市学校歯科医会が創立90周年を迎えられ、ここに記念誌が発行されますことに心からお慶び申し上げます。そして、90年の永きにわたり、学校における歯科検診や歯科保健教育を通して、名古屋の子どもたちの歯と口の健康づくりにご尽力いただいていることに、ここに深く感謝の言葉をお贈り申し上げます。

貴会におかれましては、昭和63年度からは他都市に先駆け歯肉炎など歯周疾患に主眼をおいた歯科疾患特別健診をモデル校実施し、指導方法や評価に関する考察を蓄積いただいています。また平成10年度に始まった親子歯みがき教室「学校歯科123運動（12歳でう歯を3本以下に）」が「121運動」を経て、現在は「12〇運動（12歳でお口の状態を〇【まる】に）」に至り、学校と家庭で連携した歯科保健教育の土壌を築いていただいています。本市の12歳児（中1）のむし歯の数（DMF T値）が平成22年度に0.79であったものが令和2年度には0.43まで減少し全国的に見ましても大変よい状態を維持できていますのも、長年にわたり、歴代会長並びに会員の先生方が本市の子どもたちのため、努力を惜しまず、熱意をもって歯科保健教育に取り組みいただいた賜物であります。

さて、現在の教育活動や健康診断におきましては、新型コロナウイルス感染が続く中、新しい生活様式に則って行っています。未曾有の感染による全国一斉休校を経験し、改めて学校は「学びの場であり、心の居場所である」という役割が明らかになりました。その中で、歯科保健教育に関しましても、学びを止めないことが課題になり、各校で学校歯科医のご協力のもと、感染症対策を踏まえた教育を展開しています。今後も各学校と引き続き連携を図り、名古屋の子どもたちの健康の保持・増進に一層のお力添えをいただきますよう願いますとともに、貴会のさらなる飛躍をお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。



祝 辞

名古屋市学校保健会
会長 松川 武平

この度は、名古屋市学校歯科医会が90周年を迎えられ、記念誌「90年のあゆみ」発刊に際し、敬意を表しお祝いを申し上げます。

長年多くの学校で、学校歯科医が行なっている「歯磨き指導」は実践的で啓蒙的で、子ども達に歯磨きの大切さを浸透させているように思われます。学校保健安全委員会などで、給食後に全児童が歯磨きを実践している報告を時々拝聴させて頂いております。大変すばらしい事と感じておりました。また、名古屋市学校歯科医会は、「歯をまもるよい子の会」、「歯科衛生優良校表彰」、「図画・ポスター・標語コンクール」、「名古屋市12〇運動」、「歯周疾患特別健診」「なごや8020フェスティバルへの参加」、「子育て応援すこやかフェスタ協賛協力」と多岐にわたり活発に活動されておられる様です。名古屋市の子どものう歯率が全国的に低いのは、名古屋市学校歯科医の活動の成果が大きいと思っております。

文部科学省の2018年からの第3期教育振興基本計画では、「生涯にわたってたくましく生きるために必要な健康や体力を育成する。」事が書かれています。名古屋市学校歯科医会の活動は先進的で十分に役目を果たされていると思っております。今後とも、歯科衛生の立場から、たくましく生き、自己管理が出来る子ども達の育成に向けてご尽力頂ければと願っております。

昭和7年からの名古屋市学校歯科医会90年の歴史は、学校歯科医の結束力の強さと児童生徒の歯科衛生への指導力の高さ、情熱の強さを表していると思っております。

今後の増々のご発展を祈念してお祝いのお言葉とさせていただきます。

おめでとうございます。



祝 辞

愛知県歯科医師会
会長 内堀典保

名古屋市学校歯科医会が創立90周年を迎えられ、記念事業として先達の功績を記し後進の道標となる名古屋市学校歯科医会90周年記念誌「90年のあゆみ」を発行されますことを心からお慶び申し上げます。

名古屋市学校歯科医会は、学校歯科医令交付の翌年、昭和7年の設立以来90年の長きにわたり児童生徒の歯や口腔の健康の保持増進に尽力され、う蝕予防では日本トップレベルの優秀な結果を示すなど数多くの成果をあげておられます。これは、昭和29年に日本学校歯科医会設立と同時に加盟団体となり、昭和63年には全国に先駆けてC O、G O、M O（不正咬合要観察者）を導入する名古屋市歯科疾患特別健診を開始されたこと、第一大臼歯の保護を目的にした123運動、その後121運動に取り組むなど、常に時代に先駆けた活動に取り組まれた会員の皆様方の努力の賜物と敬服いたします。

愛知県歯科医師会は8020運動発祥の地を自負し、現在は、乳幼児期から高齢期まで切れ目のなく歯科が関わることでQ O Lを保ち健康寿命を延伸する「ウエルネス8020」を提唱しています。0歳児からの口腔機能の育成事業や、厚生労働省老健局事業でのオーラルフレイル予防など、口腔機能への取り組みに加え、歯周病予防が多くの生活習慣病リスク低減に結びつくことから、診療所型歯科健診等の「生涯を通じた歯科健診の受診」を推進しています。

児童生徒が成人になっても自己管理し、定期的にかかりつけ歯科医で健診を受け、生涯にわたり良好な健康状態を維持するには、学校での歯科保健教育が最も重要だと考えます。今後も貴会と連携し、口腔の健康を通じて県民の健康を支えて参ります。

名古屋市学校歯科医会が90周年を期にさらに発展され、日本の学校歯科保健のために貢献されることを祈念して、お祝いの言葉と致します。



祝 辞

名古屋市歯科医師会
会長 都 島 誠 一

この度、名古屋市学歯科医会が創立90周年を迎えられ、90周年記念誌を発刊されますことは、誠に意義深いことであり心よりお祝い申し上げます。昭和7年に日本学校歯科医会の前身である日本聯合学校歯科医会が設立されたと聞いています。貴会は日本学校歯科医会と同様に長い歴史を刻まれてみえました。これまでの道程に思いを馳せれば創立以来、貴会をお支えいただいた多くの皆様方のご尽力に対し深い敬意の念が沸きあがってきます。名古屋市の12歳児のDMFTが、小学校でのフッ化物応用をほとんど実施していないのにも関わらず素晴らしい実績を上げてみえる事も、貴会の長年に渡るご努力の賜物であると感謝いたします。

貴会と名古屋市歯科医師会とは様々な事業で共に活動するようになってきました。貴会の事業に「歯を守るよい子の会」があり、そのアトラクションに名古屋市歯科医師会附属歯科衛生士専門学校の生徒が参加しています。一方、名古屋市歯科医師会の対市民向けイベントの「なごや8020フェスティバル」では平成22年より主催者の一員となりました。また名古屋市立保育園を対象とした「エリア支援保育所における歯科保健事業」でも貴会からの資料提供を頂きご協力いただいています。

名古屋市も高齢化率が25%を超えました。超高齢化社会を迎え地域共生社会の実現を目指す時に、次世代を担う子供たちの「歯と口の健康づくり」が健康寿命延伸の重要な第一歩と考えます。今後も共に協力し、市民のため歯科口腔保健事業を力強く推進して行きたいと思えます。

最後になりましたが、創立90周年を迎えられた貴会が今後も素晴らしい学校歯科保健活動をご継続されます事をお祈り申し上げますと共に、伊藤会長はじめ役員並びに会員の皆様の益々のご活躍をご祈念申し上げ私のお祝いの言葉といたします。



祝 辞

愛知学院大学
名誉教授 中 垣 晴 男

名古屋市学校歯科医会が創立90周年をお迎えになられましたことをお祝い申し上げます。

貴会は学校歯科医令が公布された翌年1932（昭和7）年に設立され、今日まで多くの諸先生のご努力により日本の学校保健の歴史に残る数々の先進的な活動を展開されてこられましたことは、全国的に有名です。例えば、1941（昭和16）年には「学童の六歳臼歯に関する統計的考察」はアマルガム修復は17%二次う蝕になるという、専門学会も注目した研究となり、日本学校歯科医会（当時日本聯合歯科医会）から優秀歯科衛生研究と表彰されました。1988（昭和63）年には、名古屋市教育委員会の支援を受け、全国に先駆けて、CO、GO、MOを提案・導入した歯科疾患特別事業を開始され、推進校指定、教材開発を今日まで続けてこられました。「歯肉炎」という言葉を児童生徒に定着させ、病気としての歯肉炎を、自ら発見し、評価し、そして予防を体験する、まさに“生きる力”教育の活動です。

2017（平成29）年告示の新学習指導要領とその解説では、小学6年で「口腔の衛生を保つこと、望ましい生活習慣を身に付けること」、「むし歯や歯ぐきの病気、口腔の衛生を保つ」が例示されています。中学校では、「生活習慣病の多くは予防できること」、「生活習慣病として、心臓病、脳血管疾患、歯周病」が例示されました。

歯・口の健康づくりは、「むし歯予防・歯みがき」から「口腔衛生・よりよい生活習慣」へ向けて、小・中・高等学校へと体系的につながる考え方は、貴会の今日までの歩みと言えましょう。

“百尺の竿頭に、さらに一步を進めてみよ（百尺竿頭進一步：中国の禅語）”のように、貴会の輝かしい歴史伝統の下、今後も向上心を継続され、生涯を通した歯・口腔の健康づくり、健康づくり、そして幸せづくりの基盤となる学校歯科保健を展開されるよう祈念申し上げます。

創立90周年おめでとうございます。



祝 辞

愛知学院大学歯学部
教授 嶋崎 義浩

このたび、名古屋市学校歯科医会が記念すべき創立90周年を迎えられましたこと、誠に
おめでとうございます。心よりお祝いとお喜びを申し上げます。

学校歯科医の歴史は、1931（昭和6）年に勅令144号「学校歯科医及幼稚園歯科医令」
が交付され、その条文には「各学校ニ学校歯科医ヲ置クコトヲ得 学校歯科医ハ学校ニ於
ケル歯科衛生ニ関スル職務ニ服ス」とあり、学校歯科医が国から正式な身分として認めら
れました。名古屋市学校歯科医会は、その翌年の1932（昭和7）年に設立され、これまで
90年間にわたり名古屋市の子どもたちの歯と口の健康を支えるための活動にご尽力されて
きました。

戦後、子どもたちの食生活習慣の変化などにより、所謂「むし歯の洪水」といわれる子
どもたちの齲蝕が深刻な時期もありましたが、名古屋市学校歯科医会では、子どもたちの
口腔の健康を守るための指導や健康教育に重点をおいた活動を長年にわたり続けてこられ
たことにより、現在では全国的にもトップクラスの齲蝕の少なさを誇っています。また、
名古屋市学校歯科医会は、名古屋市教育委員会とともに「歯科疾患特別健診」や「12〇運
動（旧123運動）」など他所にはない特徴的な活動を行われていることも、子どもたちの口
腔の健康の改善に貢献しているものと思われます。

現在は、新型コロナウイルス感染症の拡大によって、子どもたちにとって学校生活だけ
ではなく家庭での生活習慣にも様々な影響が及んでいます。名古屋市学校歯科医会の皆様
には、このような状況下においても、これまで培ってこられた経験を活かして、子どもた
ちの将来の健康づくりに繋がる活動を、今後も継続して行っていただけることを期待いた
します。

最後に、名古屋市学校歯科医会の皆様のこれまでの活動にあらためて敬意を表するとと
もに、貴会の益々のご発展を祈念し、お祝いの言葉といたします。



祝 辞

日本赤十字豊田看護大学

教授 森田 一三

名古屋市学校歯科医会が、このたび創立90周年をお迎えになりましたことを、お祝い申し上げます。

貴会が創立された1932年は、日本における年間出生数が200万人を超え、小児人口の急激な増加を経験していた時期と重なります。このような時代に、人々の口腔衛生に対する意識が極めて低い状況が問題であることを認識し、その改善を目指して学校という場を向けられた貴会の創始者の先生方の先見の明に改めて敬意を表せざるを得ません。また、その活動を引き継いだ先生方におかれては、う歯罹患対策に焦点を当てた取り組みから、歯肉炎対策、さらには不正咬合への対応へと活動の幅を広げられ、先達の思いをはるかに超えた取り組みを行われてきたのではないかと思います。歯肉炎対策の活動としては児童生徒自身によるセルフチェックや改善のための方法の普及、説明動画の作成などが行われてきました。その一方で、歯科疾患特別健診を行うことで歯肉炎罹患の実態を把握し、学校歯科保健の進むべき方向を明確にされています。

12歳児のう歯罹患を無くすことをめざした12〇運動は、123運動から始まり、目標を達成することで121運動を経て進められてきました。そして、目指すところが、う歯を無くすことのみでなく、歯・口の健康が良好になる（〇[まる]の状態になる）ことを目指す運動へと深化しています。健康状態の向上を進めるということはサルトジェニック（健康生成論的）な視点であり、この深化により、12〇運動は、将来、12歳児のう歯が無くなった後も継続される活動になったのではないかと思います。さらに、親子で行う取り組みを推進していることは、世代を超えて健康にかかわる知識や習慣を受け継ぐことにつながります。このような活動の広がりや、社会を健康に資するものに変える可能性を秘めており、名古屋市学校歯科医会の活動は児童生徒の歯や口の健康にとどまらず、広く人々の健康に寄与するものと考えます。

貴会が児童生徒の歯や口腔の健康の向上を目指した取り組みを通して、現在、そして未来の人々の健康に資する活動を引き続き推進されることを祈念いたします。

名古屋市学校歯科医会
90年のあゆみ

歴代会長の想念

第5代会長～



歴代会長の想念



祝 辞

第5代会長 藤井 宏次

平成7年～平成14年

創立90周年おめでとうございます。

名古屋市学校歯科医会は昭和7年に会長 長屋弘先生、会員119名で創立された。

爾来、昭和、平成、令和と役員、会員が児童生徒のために尽力し今日を確立したのである。

日本の保健に関する考え方が平成になってから大きく変わってきたことは周知の事実である。

平成7年度から施行された新しい健康診断では「管理と疾病の診断」から「教育と健康」にと舵が切られた。

翌年、平成8年中央教育審議会答申のキーワードは「ゆとりの中で生きる力をはぐくむ」であった。

生きる力とは自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力とされている。

生きる力を学習する時、児童生徒が容易に理解し判断できる対象として歯科保健は優れた教材であることは言うまでもない。

平成14年度からは「生きる力」をはぐくむ中核的な役割を担う「総合的な学習の時間」が実施された。

私が会長をしていた平成14年5月に名古屋市において開催された十三大都市学校保健協議会前日歯科保健協議会でも、協議題は「総合的な学習の時間に学校歯科医がどのように係わるか」であった。

現在では当たり前になっている健康教育を全国の学校歯科医が考え、行動するようになってきた。

名古屋市学校歯科医会ではすでに昭和8年に名古屋市公会堂で第1回よい歯の会（現在の歯をまもるよい子の会）が開催され、88年に亘って児童とお母さんたちに健康教育を行って来たことは特筆すべきことである。

ちなみに第1回よい歯の会の会長は名古屋市長であった。

児童がその子がまたその孫が計何万人、歯や歯肉の大切さを学んできた。

歯をまもるよい子の会をはじめ12〇運動、特別健診などの健康教育がフッ素洗口に頼らず12歳児のDMFTを0.4に下げたことは全国に誇っていいと思う。

これから100周年に向かってこれまで以上に健康教育を充実し、児童生徒の健康のため、事業に邁進されることを願ってやまない。



祝 辞

第6代会長 棚 橋 正 直

平成15年～平成18年

名古屋市学校歯科医会が80周年を迎えられますことにまずお祝い申し上げます、おめでとうございます。

式典をはじめとする祝賀の行事を企画遂行された役員の方の先生方に対しましてその苦勞をねぎらうとともに、会員すべての先生方に対しましてお祝いの言葉を述べさせていただきます。

日々、学童、生徒のためにと、歯牙、口腔系器官の健康維持増進活動が続けておみえの会員の先生方に対して、そのご努力とご尽力に対する敬意の念とともに、会員の先生方に対する感謝の言葉を聞くにつけて我々の職責に対する評価の高さも近年ますます実感させられてきていることに、一会員としてもまた誇りに感じているところです。

私個人としては、昭和63年に初めて名古屋市学校歯科医会の委員として名学歯の活動に参加して以来19年間会務運営に携わってきました。しかし、すでに執行部からは離れた身ではありますが、平成14年に執り行われた70周年を祝う会に副会長の職責で企画参画して早10年の月日が経ったのかと感慨深い心境です。

この10年の間の私としましては、藤井宏次会長の後を引き継いで2期4年間、役員と会員の方々に支えられて、会長としての職務を遂行できましたことに感謝しております。

さて、振り返りますと70周年のころは、ミレニアム問題として騒がれた問題が何の影響ももたせることなく過ぎ去ったものの、それ以後は、韓国、中国をはじめとする新興国の台頭により日本経済の沈降からはじまり、9.11を端に発する軍事費の増大、またリーマンショックによる経済均衡の破綻など厳しい経済状態に、我々に名古屋市から支出される委託事業費の査定、削減が続き、名学歯としては事業効率を上げつつ予算削減幅を小さなものとなるようにする闘いの10年であったと認識しています。

厳しい情勢ではありましたが、わたくしが指揮を執った4年の間には会員が近隣諸国をはじめとしてグローバルな視野を持って学校歯科の現場に立つことができることを目指し、会員による中国南京の視察が実現できたことは感慨に堪えません。さらには、愛知学院大学歯学部荒木章純教授の監修のもと名古屋市立高校におけるマウスガードのモデル校での生徒への装着、普及活動から、会員に対しての実習を伴う講習会へと発展させることができ、愛知県下における普及活動の一翼を担えたと自負しております。

平成22年度におけるDMFT歯数が0.79と政令指定都市のトップを走り続けていられるのも、会員の先生方の学校においての齲蝕予防をはじめとする歯科教育活動のたまものであります。さらにこの数字は、先生方のご努力でますます小さなものになってゆくことと信じております。

会員の先生方のご健勝とますますの発展を祈念するとともに、名古屋市学校歯科医会のさらなる隆盛を祈念しまして私の祝辞とさせていただきます。

(80周年記念誌「祝辞」より再掲)



名古屋市学校歯科医会90周年記念誌によせて

【名古屋市学校歯科医会と私】

第7代会長 江場 弘 和

平成19年～平成22年

私が学校歯科医となったのは年号が昭和から平成へと変わった頃です。区の先生より江場君、『順番が来たが学校歯科医をやりますか』と言われ、健診をすればいいのだと言う軽い気持ちで、学校歯科保健の崇高な理念も目的も理想も知らずに学校歯科医となりました。2～3年が過ぎた頃、先輩の先生より名古屋市学校歯科医会へ推薦するから勉強してきなさいと言われ、名古屋市学校歯科医会の『門前の小僧』となりました。当時は田熊恒壽先生が会長をされておられご挨拶をされる時、原稿を見ることもなく学校歯科の歴史、現状、問題点等を淡々とお話しされる姿を見て感心した事を覚えております。次に会長になられたのは藤井宏次先生です。藤井先生には学校歯科とは何か、その本質が何であるのか、厳しくも優しくご指導して頂きました。次に会長になられたのは棚橋正直先生です。先生には組織とは何か、どうあるべきか、どの様に運営していくのか等を教えて頂きました。その後私は第7代会長として二期4年会長をさせて頂きました。私は幸いにも優秀な副会長、専務、常務、委員の先生方に支えて頂き、日学歯会長の中田郁平先生にも可愛がられ、各区の会長先生方に励まされ何とか大役を務めさせて頂きました。今から思えば ホメラレモセズ クニモサレズ と言う程度の会長でした。今更とは思いますが、私が感謝の思いを強くしている方が前会長の高村秀平先生です。先生は私どもと共に立ち上げた123運動を121運動、さらに120運動へと熱意をもって発展させられました。遅ればせながら心より感謝申し上げます。

私が本会の会長を辞して早10年の歳月が流れ、学校歯科医としては現役ではありますが、何故か自分が古臭く思えてきております。70才を目前にした歳のせいなのかもしれません。また近年歯科検診時に、筆記をお願いしている衛生士さんより（先生 去年は処置済み歯となっております）と検診ミスを指摘される事が度々あり、学校歯科の基本である健診に正確を欠く事があり、そろそろ辞任する時がきたのかと思っております。

本年より伊藤裕一郎先生が会長をされます。伊藤先生は長年学校歯科保健をよく勉強され人望も厚く優秀な方です。先生には今後、名古屋市学校歯科医会の会長としてご活躍されます事を願っておりますし又大いに期待もしております。

最後に学校歯科保健という地道な活動の継続により漸く辿り着いた頂の先には更なる頂が見えてきます。つまり学校歯科保健活動には終わりはありません。今後は伊藤会長を中心に意欲に満ちた若い先生方のご活躍により、名古屋市の児童生徒さんの口腔状態が増々良くなり、名古屋市学校歯科医会が更なる高処を目指し発展されます事を、外野の席からではありますが見守り、そしてエールを送り続けたいと思っております。



祝 辞

第8代会長 故 松浦 和典
平成23年～平成26年

本会が産声を上げた昭和7年は、上海事変や五・一五事件が起きた年であり、国民生活は先軍政治のもとに圧迫された結果、国内においては、家族心中急増・自殺者激増・欠食児童が20万人突破・国民の70%が寄生虫持ち、そして百貨店での万引きの横行といった劣悪な時代であったと歴史に刻まれています。このような暗い社会環境の中、「日本の口腔衛生普及の為には学校歯科医を創る必要がある」と確信し、志を持って本会の設立にご尽力された初代会長 故 長屋 弘先生はじめ同志の先生方に思いを馳せれば、誠を持って畏敬の念を感じざるを得ません。そして激動の昭和期を乗り越え、本会が脈々と存続・発展できましたのも歴代会長の卓越した指導力のおかげと敬意を表する処でございます。

本会は創立の精神を礎に、学校歯科医が学内に於いて「歯科保健管理」のみならず「歯科保健教育」を通じて児童生徒に生涯にわたる健康感（観）を育成できるように、学校歯科医に対して情報提供・指導・研修を積み重ねてきた結果、名古屋市12歳児のDMFTが0.86本（平成21年度）と全国政令指定都市で最少の数値を達成することができました。

学校歯科保健は、「早期発見・早期治療」から「早期発見・早期対応」を経て、「ヘルスプロモーションの実現」を目指すことに重点が置かれるようになり、平成20年に学校保健法が学校保健安全法に改正された事により、学校・家庭・かかりつけ歯科医・関係諸機関等との組織的な連携が明確に求められるようになりました。此の事は学校歯科保健の保健管理・保健教育と並ぶ3本柱の一つである「組織活動」に、従来にも増して着目しなければならないと思います。

私はご縁を頂き、この10年ほどの間に、南京公式訪問、そして慶州・プーケット・ハノイで開催された学校歯科保健アジア会議に出席させて頂く機会を得ましたが、学校歯科医制度の無いアジア各国が学校に於いて学校歯科保健活動を活発に実施している様を目の当たりにして、先進なはずの日本の学校歯科保健が実はどこかで停滞してしまっているのではないかと疑念を抱くようになりました。日本人的であるといってしまうようなのでしょうか、余りにも細部に目が行き過ぎてランドデザインを描けなくなっているのではないかと思います。歯・口の健康づくりを通じて児童生徒の生きる力をはぐくむ為の王道がどこにあるのか？本会が実施している様々な事業其々が独り歩きすることなく同じ目標に向かって今後も発展的に展開するために如何にすれば良いのか？学校歯科医の社会的立場をより強固なものにする為にも80周年の節目に考えてみる必要があると思います。

最後になりますが、常日頃から本会に対しご指導・ご鞭撻頂いております日本学校歯科医会・名古屋市教育委員会を始めとする教育関係者の皆様・愛知学院大学大学歯学部口腔衛生学講座の皆様、そして関係各界の皆様にご心より御礼を申し上げますとともに、本会の更なる発展の為、ご指導を賜ります様お願い致しまして私のご挨拶とさせていただきます。

（80周年記念誌「ご挨拶」より再掲）

なお、令和2年3月7日ご逝去されました。ご冥福をお祈りいたします。



祝 辞

第9代会長 藤 井 義 久

平成27年～平成28年

90周年を迎えおめでとうございます。

名古屋市学校歯科医会として90周年を迎えることができたことを喜ばしく思っています。

現在のコロナ禍にある非常時においても、児童生徒の子供たちの変わらない笑顔を見るにつけ、学校歯科医として果たした責務とかかりつけ歯科医として果たした努力の成果に満足を感じます。

80周年から現在までで、ここ最近のコロナ禍において学校の幾多の行事の延期、中止があり我々の歯科検診においても延期変更があっても、それにも負けずに我々にむけられる児童生徒の笑顔を見るにつけ彼らの健康で健全な成長を実感させられます。

私の担当する中学校の生徒の口腔内の状態を見ると、カリエスの罹患率が減少すると同時に、治療された歯牙の割合も上がってきていることが見られます、このことは家庭における予防に加えかかりつけ歯科医への受診と医療機関での治療・予防処置といった、我々学校歯科医と保護者とかかりつけ歯科医との連携がうまくいっていることの現れであり、この関係が続くようにしてゆくことが児童生徒の笑顔が続いてゆく源だと考えます。

コロナ禍での活動に非常に制約を受ける中でも、数々の知恵を出し合い指導に当たられている本会の役員、委員の先生方には頭の下がる思いです。

10年後の100周年が名古屋市学校歯科医会として執り行われることを、さらにはその後も末永く続くことを祈念しています。



名学歯における「100へ」の想念

第10代会長 高村 秀平

平成29年～令和2年

名古屋市学校歯科医会（以降「名学歯」）は、有史以来、会員お一人一人のたゆみないご尽力により90周年を迎え、いよいよ「100」周年も見えてきました。

また、近代医学の水準は、我々をはじめ医療関係者の総力により躍進を続け、ついに12歳児予想平均寿命は、「100」歳を超えるに至っております。おのずと永久歯も「100」年使い続けるといった時代も到来することでしょう。学校歯科保健はその基礎であり、今後ますます学校歯科医の活躍が期待されるところであります。

さて、現在の学校歯科保健の本質は、文部科学省が推奨する「生きる力を育む、学校での歯・口の健康づくり」の推進であり、これは分け隔の無い教育機関において口腔保健を基礎学習教材として、口腔のみならず生涯にわたる全身の健康づくりや生活習慣の樹立といった、自己管理能力の育成を支援していくことにあります。

しかし、昨今の全国の学校歯科医会組織の状況に目を向けると、う蝕洪水時代を克服した功績とは裏腹に、組織の合理化・予算削減による人員削減・上層組織に合併吸収される事例が数多く見受けられ、今後の学校歯科保健活動の低迷化が懸念されます。

こうした状況下でも名学歯は、従来と変わらぬ組織体制で活動を展開し続け、例えば25～65年の歴史ある行政委託3大事業の継続をはじめ、多種多様の事業に取り組み、その結果、12歳児DMFTや「歯科健康診断の結果のお知らせ」の回収率（上述の「生きる力」の達成指標と考えられる）は、全国的にも注目される程のトップレベルにあります。

今後も、他の地域では比類ない教育委員会など行政との強固な連携を保ち、名古屋市が全国に誇れる模範団体として、日本の学校保健を牽引し、歯科衛生士会など関連団体と共に、学校歯科保健の推進は「三方良し」に繋がる理念のもと、各会員が名学歯の1人として自信と誇りを持ち、多岐にわたる業務をまい進し、永久歯「100」年目標！に、健康格差なく将来を担う児童・生徒そして保護者・地域のために、「100」周年以降も未来永劫、名古屋市学校歯科医会の益々の発展を祈念しております。

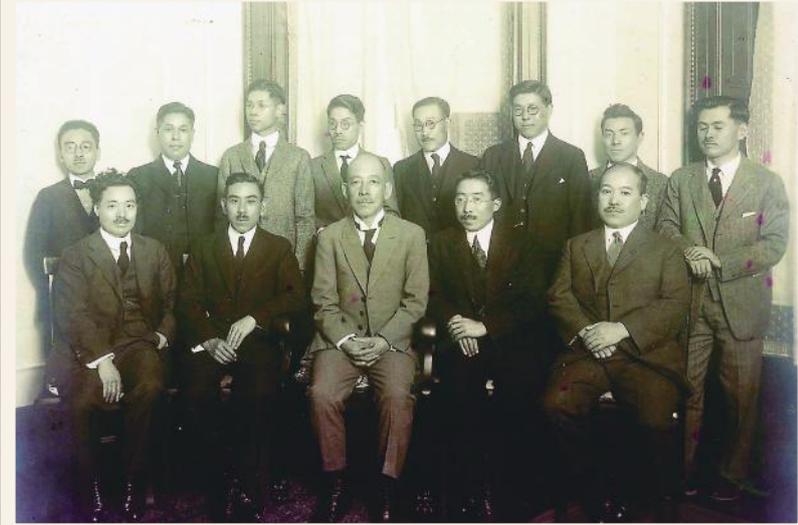
名古屋市学校歯科医会
90年のあゆみ

90年のあゆみ

写真で見るあゆみ



写真で見ると
90年の歩み



若き日の長屋 弘先生
大正11年当時ロックフェラー財団、
細菌学研究所に在籍していた野口英
世博士に招かれ日本連合歯科医会初
代会長血脇守之助先生の欧米視察に
遠藤至六郎氏と共に随員として渡米
した折の記念写真

資料提供：北区 長屋和夫先生

前列左より、野口英世、名学歯会長 長屋弘、日本連合歯科医会長 血脇守之助、
東京歯科医学専門学校教授 遠藤至六郎（敬称略）

ハーディング大統領を招いての晩
餐会、ニューヨーク歯科医師会の
役員との記念写真

資料提供：北区 長屋和夫先生



資料参照：

- ・野口英世 めぐる人々 福島民報 2004年
<http://www.minpo.jp/pub/former/topics/0410noguti/000004.html>
- ・血脇守之助伝 東京歯科大学 IRUCA
<http://ir.tdc.ac.jp/irucan/bitstream/10130/917/42/15.pdf>
- ・血脇守之助 ウィキペディア フリー百科事典
- ・野口英世伝記小説「遠き落日」 渡辺淳一著（1992年映画化）



学校内において初期充填（主にアマルガム）および予防的
治療が昭和40年頃まで続けられた

資料提供：愛知学院大学 中垣晴男名誉教授

愛知縣知事

富田慶一郎
愛知縣名古屋市丸田尋常小
學校齒科醫嘱託
昭和八年八月九日
愛知縣

資料提供：昭和三十二年 富田真仁先生

歯をまもるよ子の会



第61回歯をまもるよ子の会（2013年6月8日）前年度よりスポンサーがサンスターに変わりました。名古屋市公会堂での開催は平成28年度第64回までになります。



平成29年度歯をまもるよい子の会（第65回）会場が金山の日本特殊陶業市民会館に変わりました。



まもるくん

よいこちゃん



令和元年度歯をまもるよい子の会（第67回）名学歯マスコットキャラクター「まもるくん よいこちゃん」が児童生徒のネーミング投票で選ばれました。

近年の活動から

2013年（平成25年）



平成25年度全体役員会 晴快荘 5月23日



第64回指定都市学校保健協議会 前日歯科保健協議会 神戸市 5月25・26日

2014年（平成26年）



後期定時代議員会 名古屋国際会議場 会議室 3月27日



第1回支部長会 県歯会館 5月22日



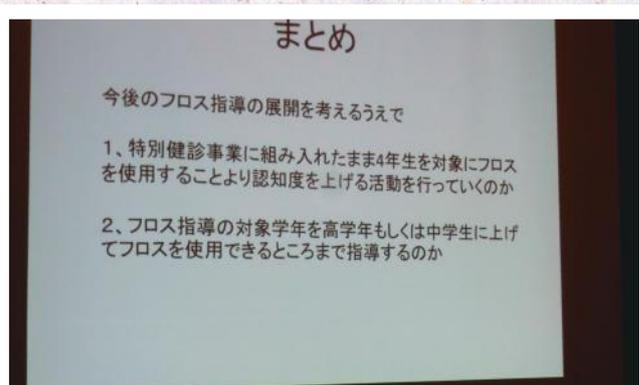
図画・ポスター・標語審査会 名古屋市教育館 8月7日



第9回持ち出し理事会 大阪 相生楼 1月31日・2月1日



第65回指定都市学校保健協議会 前日歯科保健協議会 横浜市
(名古屋市主幹代行開催) 5月24・25日



2015年（平成27年）



第6回学校歯科医生涯研修制度 基礎研修会 県歯会館 4月16日



第66回指定都市学校保健協議会 前日歯科保健協議会 名古屋市（名古屋市主幹開催）
名古屋栄 東急REIホテル 5月16日・17日



平成27年度総会、研修会、祝賀会 名古屋国際ホテル 8月6日



忘年会 桃花林 12月10日

2016年（平成28年）



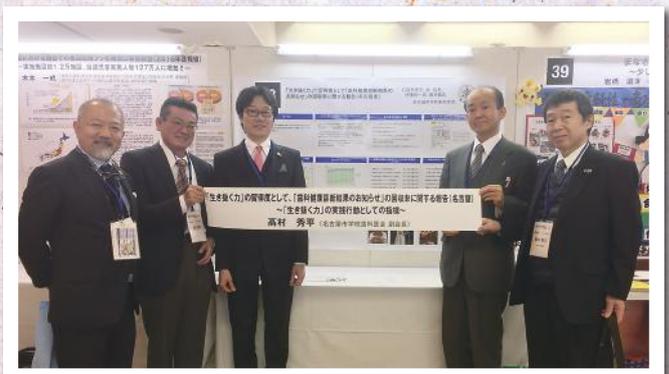
第67回指定都市学校保健協議会 前日歯科保健協議会 静岡市 5月28・29日



総会、研修会、祝賀・慰労会 名古屋国際ホテル 8月4日



なごや8020フェスティバル ナディアパーク 11月6日



第80回全国学校歯科保健研究大会 東京都 11月16・17日

2017年（平成29年）



120運動 南区 菊住小学校 7月6日



第60回東海学校保健学会 豊田市 日本赤十字豊田看護大学 9月2日



120運動 瑞穂区 中根小学校 9月14日



なごや8020フェスティバル ナディアパーク 11月5日





第81回全国学校歯科保健研究大会 青森市 10月26・27日

2018年 (平成30年)

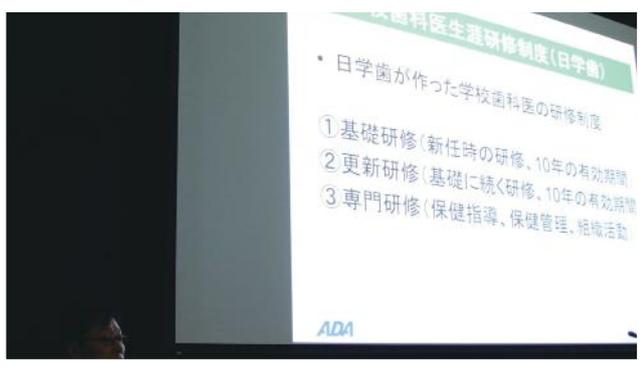


第69回指定都市学校保健協議会 前日歯科保健協議会 浜松市
(名古屋市主幹代行開催) 5月27・28日



前期定時代議員会 名古屋市教育館(旧) 10月4日

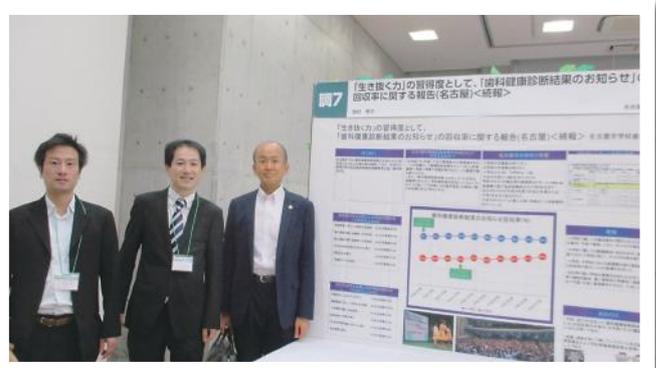
2019年（令和元年）



第1回学校歯科医生涯研修制度 更新研修会 県歯会館 4月11日



第62回東海学校保健学会 名古屋市 東海学園大学 9月7日



第83回全国学校歯科保健研究大会 山口市 10月17・18日

2020年（令和2年）



第2回支部長会 名古屋市教育館(新) 5月22日

コロナ禍での名学歯の活動

120運動



天白区 平針南小学校
2021年7月8日



中区 名城小学校
2021年10月7日



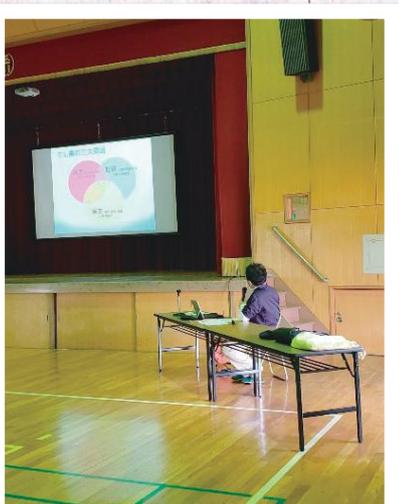
熱田区 野立小学校
2021年12月2日



中村区 千成小学校 2021年10月14日



守山区 二城小学校
2021年11月11日



中川区 玉川小学校
2021年11月18日



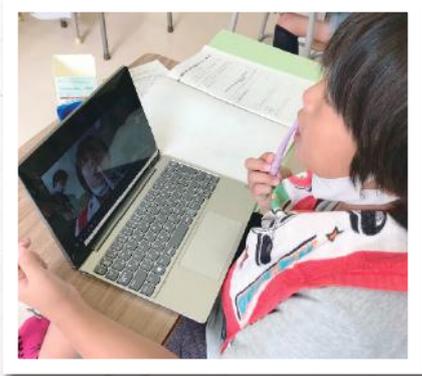
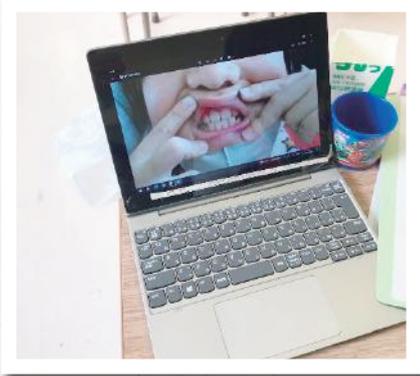
図画・ポスター・標語審査委員会 名古屋市役所西庁舎 2021年7月29日



養護教諭会役員と学校歯科医会役員との協議会 名古屋市役所西庁舎 2021年7月29日



令和3年度会員研修会 (Web) 撮影会 2021年7月29日
講師：朝日大学歯学部 口腔構造機能発育学講座 小児歯科学分野教授 齊藤一誠先生



コロナ禍での特別健診 鏡の代わりにタブレットPCで撮影して観察
中川区 赤星小学校 2021年10月7日



歯肉があぶないDVD作成委員会
東生涯学習センター 2021年7月8日



歯肉があぶないDVD作成委員会
教育産業 2021年10月28日



歯肉があぶないDVD作成委員会
愛知学院大学歯学部口腔衛生学講座
2021年11月11日



文部科学大臣表彰、市長表彰、感謝状贈呈式
2020年（令和2年）11月23日



市長表彰、感謝状贈呈式 2021年（令和3年）11月11日

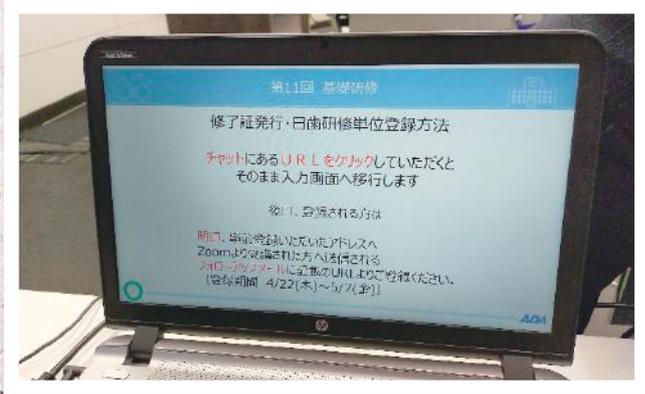




なごや8020フェスティバル ナディアパーク 3Fデザインホール 2021年12月5日



時刻	内容	講師	備考
13:00	PCOS (ウェブセミナー)	山本 浩二	講師用
13:15	Zoom2.0の使い方	山本 浩二	講師用
13:30	レコーディング開始	山本 浩二	講師用
13:45	質疑応答	山本 浩二	講師用
14:00	研修終了	山本 浩二	講師用





第2回学校歯科医生涯研修制度 更新研修会(Web)
 2021.12.23 県歯会館402会議室より配信



歯肉があぶないDVD 撮影会 (村田こども歯科にて) 2021年12月26日



Zoom理事会（ハイブリッド）県歯会館より配信 2022年1月20日



Zoom支部長会、研修会（ハイブリッド）都市センター会議室より配信 2022年2月3日

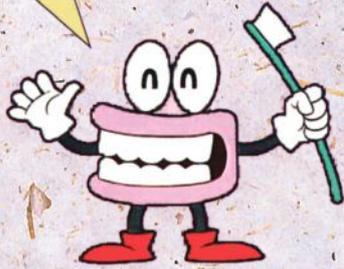
・第83回全国学校歯科保健研究大会ポスター発表 山口市 高橋拓史、宮原隆史ほか
 歯並びや顎の発育阻害となる悪習癖について～その具体的対策法の紹介～ 2019年（令和元年）

歯並びや顎の発育阻害となる悪習癖について
 ～その具体的対策法の紹介～

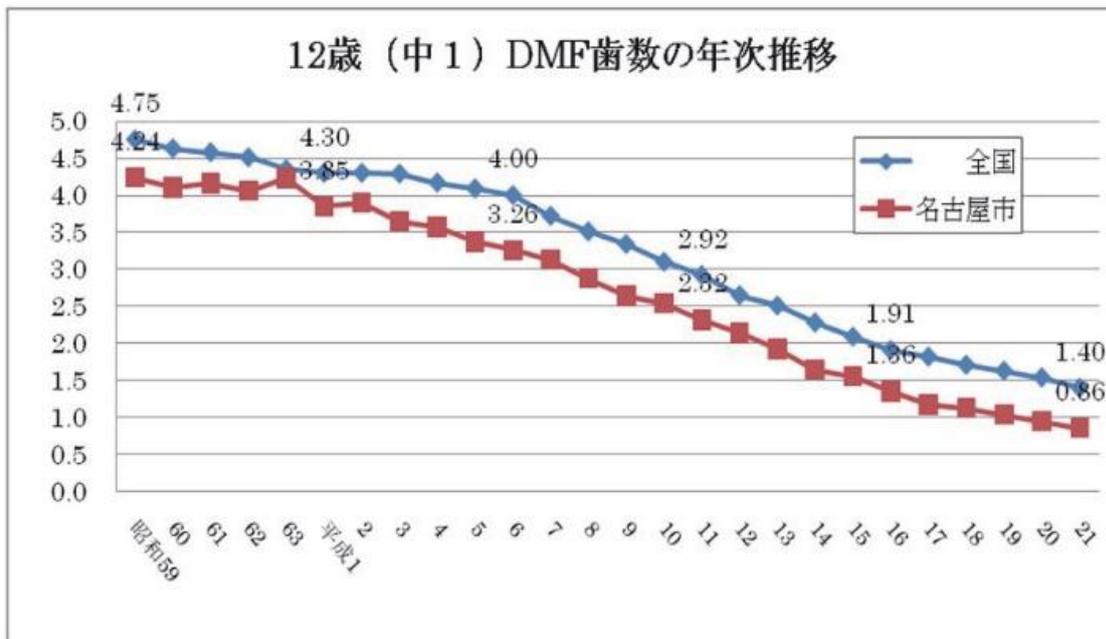
名古屋市学校歯科医会

<p>はじめに</p> <p>無意識に行っている「癖」の中には、歯並びや顎の発育に影響を及ぼすものがあります。特に成長期の児童・生徒の場合、そのような日常の「癖」が歯並びや顎の発達に大きく関係し、それに伴い姿勢や発音などにも悪影響を及ぼすことがあります。こうした「癖」を「悪習癖」と言います。</p>	<p>歯並びが悪いことによる将来の不利益は？</p> <p>むし歯や歯周病にかかりやすくなる 歯を失うリスクが上がる</p> <p>残った歯の数が少ない人ほど寿命が短くなる事が明らかになってきました。死亡率は、20歳以上の大人に比べて、10・19歳の大人で9倍、79歳の大人で17倍に上昇します。</p> <p>歯並びが悪っている方は健康寿命が長くなる!</p>	<p>口唇・頬と舌の筋肉バランス</p> <p>歯は口唇・頬(外面)と舌(内側)の両方の筋力バランスにより正しい位置に維持されています。</p> <p>歯は口唇・頬(外面)と舌(内側)の筋力バランスにより正しい位置に維持されています。しかし、悪習癖があると歯を取り囲む口唇や頬と舌の筋力バランスが崩れ、結果として歯並びや顎の発育阻害を誘発します。</p>	<p>発育への影響</p> <p>上顎は真ん中を境にして2つの骨で成り立っています。上顎の骨の正しく成長することで、上顎の骨の正しく成長し、歯の骨が育ちます。成長期にはこれらの骨が育ちます。上顎に舌があることにより前方への成長を促し、歯の並ぶ領域と鼻呼吸しやすいように十分な空間を拓きます。</p>
<p>鼻呼吸と口呼吸</p> <p>人は鼻で呼吸することで、空気中のホコリや細菌を、鼻の中のフィルター機能により除去しています。それと同時に鼻の中において温められ加湿された空気は、肺で酸素が最も吸収しやすい状態になります。しかし、口呼吸を続けていると、ホコリや細菌が気道の下や肺に戻りまわって風邪のひきやすくなり、免疫機能のバランスが崩れていきます。</p>	<p>口呼吸による姿勢の悪化</p> <p>下顎が後退するために呼吸が苦しくなるので気道を広げるために、自然に頭は後ろに反ってかつ首は前に傾斜、猫背になる。</p> <p>口を開ける習慣がついているので、口唇を閉じる力が弱くなり、口が開いたままになる。(口唇閉鎖不全)</p> <p>また、下顎と一緒に舌も下がるため舌が上顎につかなくなる。(低舌舌)</p>	<p>口呼吸の原因</p> <p>①痛風線が大きいなど喉や鼻の病気・耳鼻咽喉科医へ ②喉が合わせ不正 → 歯科医へ ③気道などに異常がない習慣性のもので → 筋機能療法 (MFT: Myofunctional Therapy)</p>	<p>筋機能療法 (MFT)</p> <p>MFTとは口唇や舌、舌などの筋肉の不調をトレーニングをおして整えていく療法で、50種類以上の方法があります。(あいっべ体操等) 猫背時、肩下時、発音時、安静時の舌や唇の位置の改善、および呼吸をはじめとした口腔機能の改善効果が期待できます。</p> <p>今回は筋機能療法の1つの方法で舌の正しい位置を整えたと同時に、口唇の周りの筋肉をストレッチして口唇を閉じやすく、口呼吸や舌癖を改善または軽減させる「モンキーバブル」をご紹介します。</p>
<p>モンキーバブル (モンキー 下口唇トレ)</p> <p>写真モデル：高橋拓史さん</p> <p>①下の前歯と下唇の間に舌の先を入れて下唇を強めに1秒ほど押します。 ②そのあと舌の内側に舌を移動させてから再度、下唇に移動させ強めに1秒ほど押します。 ③次に先ほどとは逆の内側に舌を移動させてからまた下唇に移動し、強めに1秒ほど押します。 ④これを1セットとして10セットを朝晩各3回行います。</p>	<p>モンキーバブル (バブル 上口唇トレ)</p> <p>写真モデル：高橋拓史さん</p> <p>①上の前歯と上唇の間に舌を入れて上唇を強めに1秒ほど押します。(この時、舌は正しい位置にあるのが分かります) ②そのあと舌の内側に舌を移動させてから再度、上唇に移動させ強めに1秒ほど押します。 ③次に先ほどとは逆の内側に舌を移動させてからまた上唇に移動し、強めに1秒ほど押します。 ④これを1セットとして10セットを朝晩各3回行います。</p>	<p>改善症例</p> <p>トレーニング前 → トレーニング後</p>	<p>おわりに</p> <p>発育期の悪習癖は歯並びや顎の発育に大きな影響を与えることを示しました。</p> <p>鼻の病気や歯並びの不正が顕著であれば専門医への受診が必要ですが、そうでない場合は筋機能療法による自宅でのトレーニング(今回はモンキーバブル)で改善できようことを紹介しました。</p> <p>名古屋市学校歯科医会 事務局 名古屋市学校歯科医会 〒460-0001 名古屋市東区東桜1-1-1 TEL:052-931-2200</p>

80才で20本の歯を残そう!
 (8020ハチマルニイマル運動)

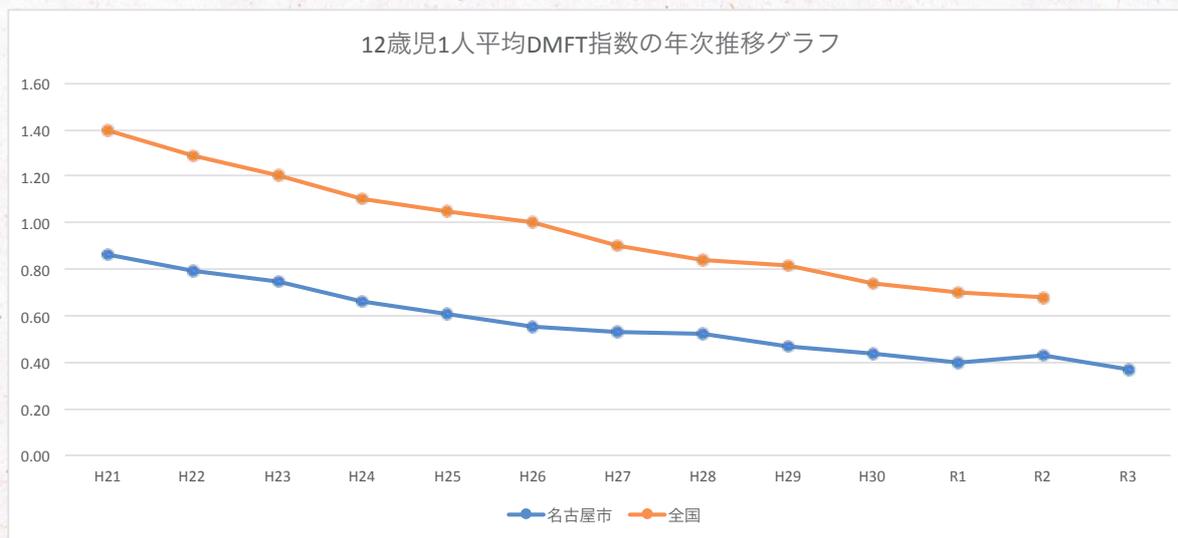


12歳児 DMFT 指数の年次推移



名古屋市学校歯科実務セミナー要項調べ

年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
名古屋市	0.86	0.79	0.75	0.66	0.61	0.55	0.53	0.52	0.47	0.44	0.4	0.43	0.37
全国	1.40	1.29	1.20	1.10	1.05	1.00	0.90	0.84	0.82	0.74	0.7	0.68	



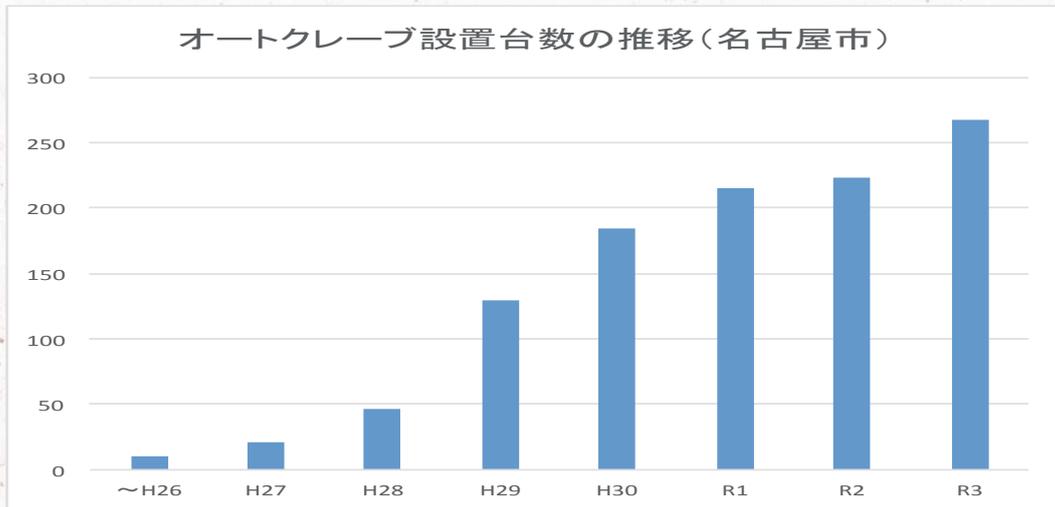
名古屋市学校歯科実務セミナー要項調べ

名古屋市の12歳児DMFT指数は減少し続け、他の指定都市に先駆けて1歯以下をH20年に達成した。さらにH21年からH26年にかけて緩やかに減少し、それ以降はフラット化している。このような傾向を示す中、最近10年間の名古屋市の値はすべての年において全国の値を下回っている。しかしながら、市内12歳児のう歯が1歯以上の小学校が未だにある現状をふまえ、底上げの対策が必至である。公衆衛生的に優れたフッ化物洗口をはじめとする対策が必要であると考えられ、学校教育の場でフッ化物応用についての学習的アプローチが重要となる。

オートクレーブ設置台数の推移

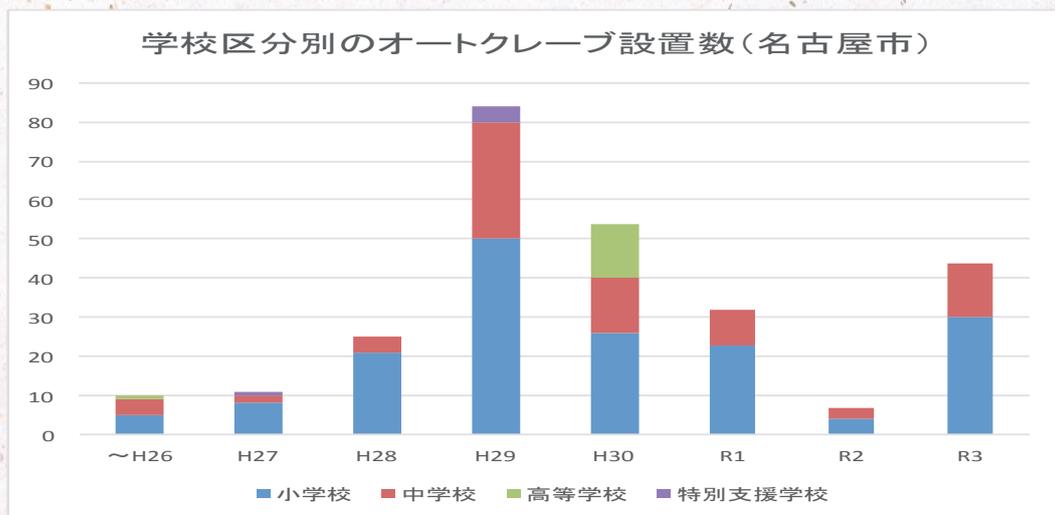
	～ H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
設置台数計	10	21	46	130	184	216	223	267
(新規設置台数)		11	25	84	54	32	7	44

※自校調達を含む
(名古屋市教育委員会 学校保健課調べ)



	～ H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
小学校	5	8	21	50	26	23	4	30
中学校	4	2	4	30	14	9	3	14
高等学校	1	0	0	0	14	0	0	0
特別支援学校	0	1	0	4	0	0	0	0

※自校調達を含む
(名古屋市教育委員会 学校保健課調べ)



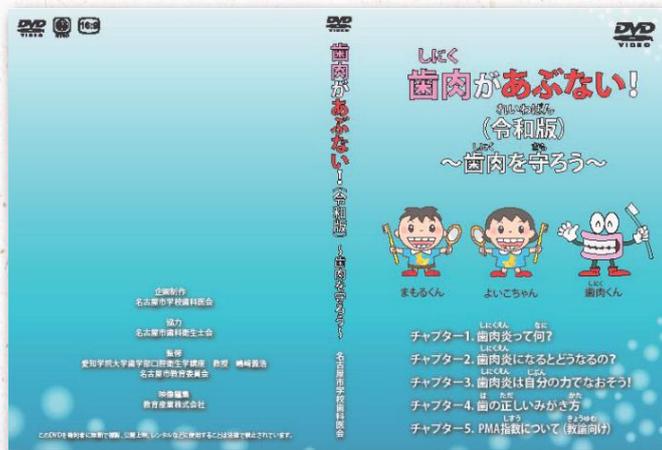
H27年度からオートクレーブの設置が小学校、中学校より始まった。H29年度からは特別支援学校にも設置されH30年度からは高等学校にも設置が始まった。今後は財政状況を鑑み順次配置をすすめる予定である。



これまで発行された特別健診報告書とマニュアル類



口の中は「生活習慣のパロメータ」だよ!



DVD「歯肉があぶない! (令和版) ~歯肉を守ろう~」刊行

名古屋市学校歯科医会では委託事業として歯科疾患特別健診を実施し、小学生の歯肉炎予防を目的に口腔衛生指導、歯肉炎のPMA指数を用いた評価などを行なっております。その過程で教材として1994年にVHS「歯肉が危ない!」、2010年にDVD「歯肉が危ない!」などを制作、市内の学校に配布、活用してきました。

「平成29年告示 中学校学習指導要領解説 保健体育編」の中で、歯肉炎が予防すべき生活習慣病の一つとして明記され、令和元年度より特別健診のモデル校に中学校を加え、事業の対象を拡大してきました。その中でDVDも内容の見直し、追加等が必要となり、令和2年度より新規作成を計画し、この度刊行となりました。(令和4年度配布予定)

特別健診モデル校だけでなく、すべての児童生徒に歯肉炎に対する理解を深めていただき、自分の歯・歯肉に関心を持ち、観察を行うことにより、自分の健康は自分で守るという健康教育の教材の一つとして御活用いただければ幸いです。

名古屋市学校歯科医会 HP リニューアルのお知らせ R4 年度



名古屋市学校歯科医会ホームページ
(meigakushi.com)
会員ページ→ ID : meigakushi
PW : hkh481 (白鵬よわい)

- 今回HPリニューアルについて 変更のポイント
- ・会員ページの変更と使いやすいように整理
 - ・各ページを見やすい物に整理
 - ・デザインを一新して時代に則したイメージに変更
 - ・スマートフォンをはじめとした各種端末の対応
 - ・通信時のセキュリティー対応
- など分かりやすくなります。

主な活動紹介

「名古屋市学校歯科120運動」について

「名古屋市歯科疾患特別健診」の歩み



いちにいまる
「名古屋市学校歯科 120運動」について

1. 正しくそして効果的な歯みがきや仕上げみがき
2. 自分の事は自分でする、自己管理能力の育成（生きる力をはぐくむ）
3. 保護者の知識を更に深めて行く

小学1年生及び保護者を対象に、これら3つのテーマを軸に活動を行っています。小学1年生では、自分の歯みがきのみでは完全にプラークを取りきることは難しいにもかかわらず、仕上げみがきを行っていない保護者も見受けられます。又、仕上げみがきを行っていても、満足な結果が得られていない場合もあります。「みがいている」と「みがけている」とでは大きな違いがあることを理解していただくことがたいへん重要です。保護者には、児童が歯みがきの自己管理ができるようになることを期待して仕上げみがきをしなければ、新たなう蝕菌が発生してしまう可能性があることを理解していただかねばなりません。

1年生のこの時期は第一大臼歯（6歳臼歯）の萌出、前歯部の交換の時期であり、自らの体の変化成長に気づき、「生きる力をはぐくむ」良い機会です。そのときに、保護者が歯、健康と食べ物大切さを子供と話し合うことができるように、知識を深めることが重要です。歯みがき以外にも子供たちの大切な歯を守るために知っておくとよい知識はたくさんあります。子供たちの大切な歯を守るためには、「子供たち自らが自分の歯を守る」という意識をはぐくむことが大切です。そのことを保護者に理解していただければ、保護者の知識や興味も更に深まっていくのではないだろうかと思われれます。

みがけていますか？お子さまの歯！

めざそう120!!

名古屋市学校歯科120運動

お子さまの歯がしよすに
みがけていない時は、
仕上げみがきをするがら、
みがき方を教えて
あげてください。

●仕上げみがきのコツ

歯ブラシは、エンピツを持つようにして、両脇をしめて
軽く細かく動かすようにみがきましょう。ポイントには、
図のように歯ブラシを持っていない側の手の使い方
があります。よく見えるように、「はま」や「くちむ」を
引き上げたり下げたりをするとよいでしょう。

●生えはじめた、永久歯のみがき方

歯ぐき（歯肉）を立上げてみがきましょう。
（内側の歯肉を押し上げてください。）

歯の力が一番強く、8020運動を達成するために欠かせない歯です。永久歯の中で、最初に生えます。（前歯が先に生える人もいます。）乳歯の間に生えるため、生え始めは舌くき歯の上に突っ込んでいて気が付きにくく、みがきづらいので、むし歯になりやすい歯です。

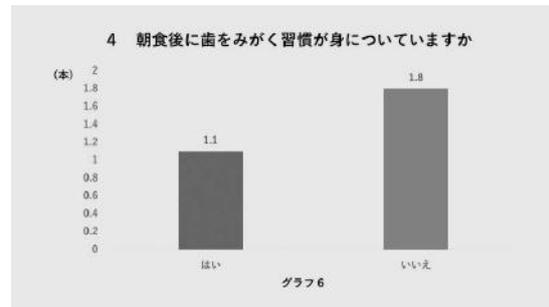
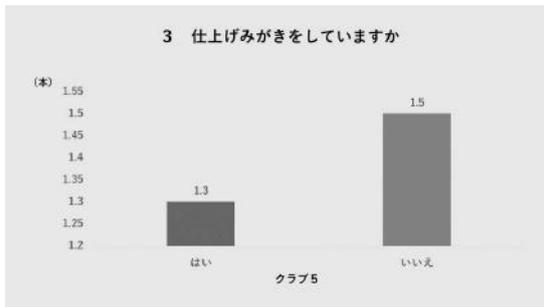
120運動とは12歳児のむし歯を0本にすることを目標に、
歯・口の健康が○の状態になることをめざす運動です。
8020運動（80歳で自分の歯を20本残す）のスタートです！



子供たちにとっては、「自分のことは自分です」「歯みがきは自分です」「机の上を自分で片付ける」「料理のお手伝いをする」「掃除のお手伝いをする」など、小さな経験・成功体験が自信につながり、物ごとに対して積極的に取り組む姿勢が確立されると思われます。こんな思いと共に活動を行っています。

歯科セミナー

名古屋市からの委託事業として毎年実施されているこの運動は12〇運動実施日までに、歯みがきや生活習慣に関する事前アンケートを行い、その年度の1年生の歯科健診結果（dmft）とアンケート項目の関係をグラフに示し、セミナーで説明します。



名古屋市の12歳児のDMF Tは年々減少（令和2年から3年にかけてはわずかな増加）傾向にありますが、その一方で、歯肉炎や口腔機能発達不全といった問題がクローズアップされ、歯並びやかみ合わせが保護者の興味や質問の過半数を示しています。12〇（マル）を目指すためには、ここを見逃すわけには行きません。

う蝕の原因や、歯みがきの説明だけでなく、唾液、飲食回数、睡眠をはじめとする生活習慣の重要性、食事を摂る姿勢、舌や口腔周囲筋の重要性、鼻呼吸の重要性、摂食の仕方等も踏まえて、更に詳しく解説を加えていきます。時代の流れと共に、セミナーでお話しする内容も徐々に変化してきています。

親子歯みがき教室

名古屋市衛生士会が主になり、「RDテスト・歯垢の染め出し・口腔内の観察・児童自身による歯みがき・保護者による仕上げみがき」が行われます。RDテストや染め出しは、初めての経験の方が多く、RDテストの色の変化や、染め出しによる歯の色の変化にみなさん興味深々です。視覚に訴えるものの効果は絶大だと感じさせられます。又仕上げみがきのコーナーでは、正しく、効果的な仕上げみがきの方法をお伝えするのは勿論ですが、衛生士会が最重要テーマと捉えている「スキンシップの重要性」についても説明を加えています。

令和2年度、3年度は新型コロナウイルスの影響により従来の12〇運動とは形を変え、3密及び唾液の飛沫を避ける対策を行ったうえでの実施となりました。このような状況下でも、日常生活習慣や口腔環境を整え、児童が健やかに成長して行くために、この12〇運動が少しでもお役に立てることを願いながら活動を継続しております。

「名古屋市歯科疾患特別健診」の歩み

近年、児童生徒を取り巻く社会環境・生活様式の急激な変化により、学校保健活動は、むし歯予防に重点を置いた保健管理中心のものから、望ましい生活習慣の形成や健康志向の重視を目指すようになってきた。

名古屋市教育委員会と名古屋市学校歯科医会は、高齢化社会における学校保健のあり方を検討するために、1988（昭和63）年度より歯科疾患特別健診（略称「特健事業」）を他都市に先駆けて実施してきた。

歯周疾患は生活習慣と深く関わり合っており、8020運動（80歳で20歯以上の自分の歯を保有する）のスタートとも言うべき学校歯科保健において、児童・生徒が生涯を通して自らの歯の健康を維持できるように指導することは非常に大切である。

「歯垢の除去で歯肉炎が改善する過程」を学ぶことは、

- ①鏡を使って自ら疾病の有無が観察できる（スケッチ、記録することで比較評価も可能）
- ②努力して改善、治癒した結果を自己評価できる（2～3週間で達成感、喜びが得られる）

などの点で、「生きる力」を育む教材となり、食育に関わる「好ましい生活習慣」を身につけるために適した題材である。

口腔領域は、生活習慣や食生活の乱れがむし歯や歯肉炎として児童生徒の身体にいち早く反映される「生活習慣のバロメータ」といえる場所である。そのため、本事業は、「食習慣に問題のある児童生徒」をスクリーニングするための手段として有効であると考えている。

歯肉炎は小学校の高学年になるにつれ被患率が上昇することから、従来より小学校4年生を対象に事業をおこなってきた。

その後、文科省が編纂した「平成29年告示 中学校学習指導要領解説 保健体育編」の中で、歯肉炎が予防すべき生活習慣病の一つとして明記された。これをうけ、令和元年度よりモデル校に中学校を加え、事業の対象を拡大している。

さらに効果的な歯科保健指導を行うための新たなステップとして、平成20年度からPMA検診を取り入れ、春期から秋期への変化を調査している。PMA検診により歯肉炎の部位や数値を把握できるようになり、歯肉炎の春期から秋期への改善状況を「児童生徒自身」で確認・評価することが可能となる。また、従来のGO、Gの評価のみでは困難であった広範囲に歯肉炎を持つ「特に指導を要する児童」を「数値」によって検出することも可能となる。

本事業はモデル事業としてスタートしてから34年が経過しているが、今後は名古屋市全域に事業を拡大し、将来的にはモデル事業からの脱却を目指す必要がある。

そのためには、事業形態の改善を目的に、PMA指数を用いた健診を必須化するとともに歯肉炎の初発部位である歯間乳頭部の歯肉炎予防対策としてデンタルフロスを導入普及させ、児童生徒に自らの歯肉の状態を正しく認識させることで、自ら口腔環境を保持していく能力を身に付けさせることが重要である。

対象および方法

令和2年度歯科疾患特別健診対象校（35校）

内山小学校（千種）*	自由ヶ丘小学校（千種）*	東桜小学校（東）	金城小学校（北）*
西味鏡小学校（北）	なごや小学校（西）	栄生小学校（西）	山田小学校（西）
中村小学校（中村）	牧野小学校（中村）	日比津小学校（中村）*	諏訪小学校（中村）*
八社小学校（中村）*	御園小学校（中）	正木小学校（中）*	鶴舞小学校（昭和）*
八事小学校（昭和）*	御劔小学校（瑞穂）*	船方小学校（熱田）	白鳥小学校（熱田）
大宝小学校（熱田）	赤星小学校（中川）*	西中島小学校（中川）	正保小学校（港）
宝小学校（南）	白沢小学校（守山）*	小幡北小学校（守山）	鳴子小学校（緑）
緑小学校（緑）	桶狭間小学校（緑）	香流小学校（名東）	高針小学校（名東）*
平針小学校（天白）*	植田北小学校（天白）	港明中学校（港）	

男子1,071名 女子1,083名 計2,154名
 ※PMA検診実施校 14校

1) 第1次（春期）健診・第2次（秋期）健診

第1次健診は「児童生徒健康診断票（歯・口腔）」を用いて春の定期健康診断に併行して歯周疾患要観察者の検査を実施し、第2次健診は「第2次健診検査票」を用いて歯周疾患について検査を行う。

2) 指導および治療の指示（事後措置）

学校は、第1次健診の結果、歯周疾患有り（G・GO）の診断を受けた者に対して治療勧告及び予防処置の指導を行う

それに続く第2次健診の結果、歯周疾患有り（G・GO）の診断を受けた者に対しても治療勧告及び予防処置の指導を行い、必要に応じて集団指導および個別指導を行う。

3) 歯科疾患特別健診報告書の作成

各学校にて「歯科疾患特別健診報告書」を作成し提出、名古屋市学校歯科医会が集計し、「名古屋市歯科疾患（歯周病）特別健診報告書」の作成を行う

本事業においては、これまでに次のような教材を作成してきた。

- ・1991年（平成3年）「GO個別指導マニュアル」
- ・1993年（平成5年）「歯に強くなるマニュアル」
- ・1994年（平成6年）「歯肉が危ない」（ビデオテープVHS版）
- ・1996年（平成8年）「歯肉が危ない」（OHPシート：裏表紙参照）
- ・2008年（平成20年）「歯周疾患要観察（GO・G）ガイド」（教諭向け歯肉炎カラー写真）
- ・2009年（平成21年）「歯肉が危ない！めぞう健康歯肉」（児童向け歯肉炎カラー写真）
- ・2010年（平成22年）指導用ビデオ「歯肉が危ない！」（DVD改訂版）
- ・指導用ビデオ「歯肉が危ない！」の内容を刷新したDVDの完成を令和3年度中に予定。

各部の紹介

総 務

学 術

特別健診・広報

12〇運動

企 画

会 計

三 役

監事・参与



各部の 紹介

総務

総務は、各会議の開催、運営を担当します。主な事業内容として、以下のものがあります。



福与理事

梶田常務

矢澤理事

1. 理事会の開催

理事会は、本会の運営、事業の推進、発展、向上のための協議会です。8月と10月以外の月1回、年間10回開催します。

2. 常務理事会の開催

理事会の準備協議機関で、年度初めと秋の2回開催します。

3. 支部長会の開催

本会と支部の間で各種報告、協議を行い、意見交換をする会議です。年2回開催します。

4. 総会の開催

本会会員に対して、事業の報告、研修、顕彰を行います。通常は毎年7月に開催します。

5. 代議員会の開催

本会の事業計画、予算・決算等の議決機関として9月（もしくは10月）・3月の年2回開催します。

6. 総務会の開催

会議の開催に先立ち、資料の収集・作成、予算の計上、各種連絡等の業務を行う。

7. 理事会ネットワークの構築・運用 会員管理ソフトの運用と会員動静の把握

8. ホームページの管理運用

以前より、本会役員間で電子メールによる連絡、資料の配信を行うようになってきていましたが、2020年～2021年のコロナ禍で世界的に急速にIT化が進み、その流れの中、名古屋市学校歯科医会もオンラインでの会議の開催なども行うようになりました。

今後、総務の業務についても、ITをさらに活用した事業展開を目指すとともに、(80周年記念誌での総務の紹介にもあります通り)名古屋市学校歯科医会を本会会員に限らずさらに開かれた会に発展できればと思います。

学 術

学術部は今期、常務と3人の理事、1人の委員の5人で構成されています。

学術の事業は毎年4月に行われる新任学校歯科医研修会、学校歯科医生涯研修制度基礎研修会の開催、養護教諭講習会などの各種講習会の開催、教育医学（名古屋）、学校歯科実務セミナー要項、学校歯科医必携の発行や改訂、各種リーフレットの発行などがあります。

学校歯科医生涯研修制度では基礎研修会を受講して10年以内に更新する必要があるため、令和元年度より更新研修会も開催しています。平成28年度より学校歯科健康診断の検査及び判定基準が変更されました。CO要相談の新設や下顎前突の基準見直しなどが行われ、名学歯の判定基準も日学歯基準に統一され、基礎・更新研修会で情報のアップデートを行っています。また令和3年度からはコロナ禍における対応として、Zoomによるオンライン生配信も行っています。名古屋市12歳児のDMFTは全国トップレベルですが、市内でも未だに1.0以上の学校もあり、地域格差があります。また学校歯科医によってCO、GOなどの検出基準の差もあるため、研修会を通してキャリブレーション（平準化）を進めて参ります。教育医学（名古屋）の発行では、平成30年度より役員外の先生方、会員の先生方にも執筆の幅を広げており、広い視野に立った学校歯科保健活動の情報を提供しています。リーフレットについては、名古屋市でも年々増加する児童虐待に対して「児童虐待予防チェックシート」を発行したり、年々関心度が高まる歯列・咬合への対応として「なるほど簡単！ M. MOガイド」を発行したりしています。名学歯のHPよりダウンロードが可能です。ぜひご活用下さい。



今井委員 宮原常務 大橋理事
石田理事 高橋理事

特別健診・広報

名古屋市学校歯科医会では名古屋市からの委託をうけ、昭和63年度より歯科疾患特別健診（略称「特健事業」）を実施しております。（事業に関しては活動報告にて詳述）

モデル事業としての特健事業が名古屋市全体の歯科保健活動へと拡がり、児童生徒の健康づくりに活用されるよう、事業を継続、発展させていきたいと考えております

今年度特別健診部は、常務、理事2名、委員2名で構成しております。

現在の業務としては

1. 特健事業関連説明会、講習会の開催

- ・ 歯科疾患特別健診養護教諭説明会

対象校（令和3年度は34校）の養護教諭への事業説明、意見交換等

- ・ 歯科疾患特別健診学校歯科医講習会

例年、対象校の学校歯科医への事業説明とともに名学歯顧問の先生に講演を行っていただいています。令和3年度は愛知学院大学歯学部口腔衛生学教室教授、嶋崎義浩先生より「中学校での歯科疾患特別健診の試み」との演題で御講演いただきました。

2. 名古屋市歯科疾患（歯周病）特別健診報告書の作成等

- ・ 年度末に各学校より提出いただく報告書を集計し、作成しています。

3. フロスの普及

- ・ 特健事業対象校に企業の協力のもと指導用フロスを提供いただいています。

歯肉炎のコントロールのため、歯間部の清掃の重要性を啓蒙しています。

4. DVD教材の作成

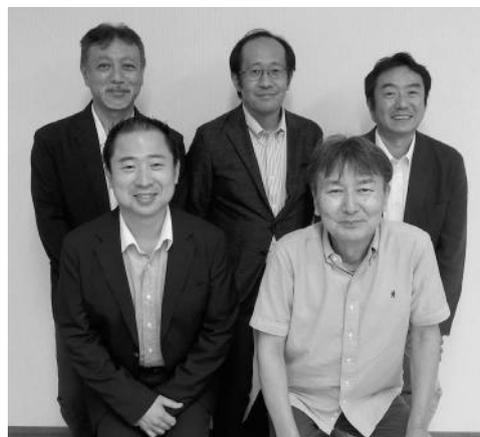
- ・ 特健事業にて作成してきたDVD教材の改訂作業を他部署にも協力いただきながらすすめています。

特別健診部における過去10年間のトピックス

愛知学院大学歯学部口腔衛生学講座嶋崎教授、野々山助教の御指導の下、2017年と2018年にモデル校数校にてSMTを用い児童の口腔衛生に関する行動変容の調査を行いました。その結果を第82回全国学校歯科保健研究大会にて「児童に対する口腔保健指導における唾液検査の有用性の検討」と題し、ポスター発表を行いました。

広報（担当：嶋理事）

広報部は、名学歯の活動を広く県歯、名歯の各会員に周知する事を目的に、各事業、講習会、審査会の内容を愛歯月報、名歯会報に投稿しています。



横山委員 酒井常務 村田委員
水野理事 嶋理事

いちにいまる
120 運動



飯田常務



伊藤理事



師田理事



早野理事



伊藤委員



野崎委員



河合委員



近藤委員



岡村委員

名古屋市からの委託により名古屋市学校歯科医会は平成10年「名古屋市学校歯科123運動」をスタートさせました。123運動とは、12歳児のDMFTを3歯以下にする目的の運動です。達成後は、121運動（DMFTを1歯以下に）、120運動（DMFTを0に）を経て現在は120運動として活動を行っています。その間時代の移り変わりと共に実施内容も少しずつ変化していますが、いつの時代も「むし歯予防だけでなく、児童の生きる力をはぐくみ、自己管理能力を育成する」事が共通の目標です。「口腔を含め、心身共に健康な〇（マル）の状態になって欲しい」という思いから現在の120運動に至っています。

現在の活動内容としましては、名古屋市教育委員会により選定された9校の小学校（実施校）の1年生児童及びその保護者を対象に授業の2限を使用し、

1 限目：保護者対象の歯科セミナー

2 限目：保護者と児童を対象とした親子歯みがき教室

の内容で行われます。1限目の歯科セミナーは、歯みがきや生活習慣に関するアンケートとその年度の1年生の健診結果のdmftとの相関関係を調べ、その結果を基に、むし歯及び歯肉炎予防や児童の健全な発育に必要な事柄をスライドを用いて説明します。

2限目の親子歯みがき教室では、RDテスト、染め出し、歯みがき、仕上げみがきを行ってもらいながら、むし歯や歯肉炎予防、スキンシップの重要性についてお話ししています。

できるだけ多くの学校に120運動を経験していただくため、実施校を終えた後も学校独自で120運動を行っていただけるよう実施用資料の提供や、衛生士の出動等の支援も行っています。

追記

令和2年度及び3年度は新型コロナの影響により、三密と唾沫の飛沫を回避するため、実施場所・実施内容を変え、感染対策を講じた上での実施となりました。

企 画

企画の事業一覧

- 1) 歯科衛生優良校審査会
- 2) 歯をまもるよい子の会
- 3) 養護教諭役員との協議会
- 4) 図画・ポスター・標語審査会
- 5) なごや8020フェスティバル



野村理事

丹羽常務

出口理事

「歯科衛生優良校審査会」では毎年児童生徒の歯や口の健康増進に関する取り組みが優れている学校を歯科衛生優良校として表彰しております。対象は名古屋市立小中学校、特別支援学校の全校で、審査委員は名古屋市学校歯科医会役員、校長会、名古屋市教育委員会から構成されており審査内容は保健管理・保健指導・組織活動の状況において、優秀な成果のあった学校を厳選に審査をいたします。また10年連続して歯科衛生優良校に選出された学校は歯科衛生永年優良校として表彰を行っております。

「歯をまもるよい子の会」は毎年6月の第一土曜日に金山の日本特殊陶業市民会館にて名古屋市教育委員会と共同で実施しております。例年名古屋市立小学校から各学校3組程度の児童、保護者約1500人程度参加いたします。内容は2部構成になっており、1部では上記の歯科衛生優良校の表彰を行い、2部では協賛のサンスターと共にオーラルケアの啓発に特化したクイズや歯みがき教室、コンサートを行っています。

「養護教諭役員との協議会」は隔年実施されており各区の養護教諭と学校歯科医が歯科保健活動の今後の在り方についてグループディスカッションを行い活発な意見交換を行っております。

「図画・ポスター・標語審査会」は毎年8月ごろに行われ、小学校、中学校、特別支援学校、幼稚園から募集し特選の選出を行い、日学歯へ応募、名学歯会長表彰、学校歯科実務セミナー要項表紙の作品を審査しています。入賞作品はセントラルパーク・なごや8020フェスティバルで掲示されます。

「なごや8020フェスティバル」は毎年11月ころナディアパークにて開催されています。なごや8020フェスティバルは！スマイルは健康なごやプラン21が平成15年3月に公表され、歯の健康目標として「正しくお口の手入れをして8020を目指しましょう」のローガンが掲げられ、市民の健康づくりの一環として名古屋市歯科医師会が中心となり、口腔衛生の啓発活動を行っています。名学歯としては図画・ポスターの展示、担当ブースにおいて歯のクイズを行っています。

「なごや8020フェスティバル」は毎年11月ころナディアパークにて開催されています。なごや8020フェスティバルは！スマイルは健康なごやプラン21が平成15年3月に公表され、歯の健康目標として「正しくお口の手入れをして8020を目指しましょう」のローガンが掲げられ、市民の健康づくりの一環として名古屋市歯科医師会が中心となり、口腔衛生の啓発活動を行っています。名学歯としては図画・ポスターの展示、担当ブースにおいて歯のクイズを行っています。

会 計

会計の業務といたしましては、各事業における経費の支払い、業者への振り込み、領収書の管理を主としています。また毎年9月末日には名古屋市学校歯科医会、学校保健会、日本学校歯科医会の年会費の徴収、その後領収書の発行、会員への郵送を行っています。

代議員会等においては、会計現況報告、決算報告、特別積立金現況報告や事業運営基金出納報告を行っています。

次年度事業計画案に基づき予算を立案した際には、代議員会での審議、承認もお願いしています。



水谷理事

勝瀬常務

委託事業費の管理としまして、12〇運動や特別健診の予算、請求書、報告書を教育委員会へ提出しています。

ほか、2019年より全会員向け配布資料「名学歯通信」の編集も担当しています。

年2回の監事会では、会員の先生がたの代表である監事の先生に監査をして頂き、ご指導を受けています。貴重な会費ですので、今後も常務と理事でしっかり管理し、無駄のないよう使用させていただきます。

三 役



伊藤会長



向田副会長



青木副会長



山田専務理事

監 事・参 与



柳瀬監事



竹内監事



藤井参与



高村参与

各支部活動報告

千種区支部

北 区支部

中村区支部

昭和区支部

熱田区支部

港 区支部

守山区支部

名東区支部

東 区支部

西 区支部

中 区支部

瑞穂区支部

中川区支部

南 区支部

緑 区支部

天白区支部

各支部会員数・各支部事業



各支部活動報告

千種区

支部

90周年誌に向けて

支部長 伊藤 隆子

名古屋市学校歯科医会創立90周年おめでとうございます。

千種区は住みたい行政市区1位に輝いております。面積は18.23km²で、名古屋市内16区中8番目。16万3638人が住み、人口密度は市内5番目となっています。通勤族が集まることから毎年転入出が多いのが特徴です。

区内には学校が多いことでも知られる文教地区です。千種区学校歯科医会は会員数25名で、小学校15校・中学校7校・高等学校2校・幼稚園1園から構成されております。

支部活動としましては、年1回の総会・講習会・懇親会、また新しい事業としましては、平成30年より始めました学校歯科医と養護教諭との連絡協議会を年1回開催しております。

デンタルフロスの有用性について・学校歯科医の先生から、小学校と中学校とを見通した歯科指導の在り方について・学校歯科健診における歯列・咬合の見かたについて等、多岐にわたって活躍されていらっしゃる講師の先生方をお招きしてのご講演を頂いております。

また、学校歯科保健の現場をあずかる養護教諭とのディスカッションも好評を頂いております。

昨今はコロナ禍で千種区の全体的な活動は残念ながら中止となっておりますが、各校での健診事業・保健事業につきましては各学校歯科医の先生方が工夫とご苦勞で進められております。

一日でも早いコロナの終息と名古屋市学校歯科医会のますますのご活躍を祈念いたします。

東区

支部

この10年と未来

支部長代理 竹内 紀雄

東区支部の10年間は安東孝治、竹内紀雄、松浦宏昭、清水つかさの順で支部長を務め、80周年に続き筆をとります。東区では新任学校歯科医の選出と定年に関して、2005年6月以降は歯科医師会が規約を定め、新任の定年は70歳となっておりますが、2015年度に改定され入会順厳守で新任の任期は4年間となりました。これはそもそも、私や清水支部長の前任も他区の歯科医であり、現在も愛教大附属や私立学校・幼稚園の大半は他区の歯科医が健診されている地区事情に起因しています。そしてこの度、2005年以前からの学校歯科医も70歳定年と歯科医師会の規約が改定されました。10年前に私が唱えた案がやっと議決された一方、4年で退任の先生もありナンセンスです。

学術活動に関しては、食育や姿勢の問題などに先進的に学校現場で取り組んできた先生、フッ化物応用の啓発に取り組む学校、PMAやデンタルフロスについては本会の派遣講師が嫌になる

ほど忌憚のない意見が交わされる事もありました。しかし、昨今は学校の特性・事情が把握できた頃に4年で退任となり、更に医院と地域の離れた学校を担当する場合もあり、学校保健活動・教育への参画が難しい状況です。そこで「学校歯科医の職務を理解して欲しい！」松浦前支部長の熱い意向で、今期あえて新任の大橋先生と早野先生を本会理事に就任させて頂きました。学校歯科医は健診だけでなく学校保健活動・教育に参画して地域貢献する姿勢を会得し、支部歯科医師会へフィードバックされる事を期待しています。そして、10年後には各々の学校歯科医の啓発活動が実り、家庭と同様に食後の歯みがきが普通に学校でも行えるようになり、中学生の歯肉炎も珍しくなる未来を期待します。

北区

支部

90周年に寄せて

支部長 河添克明

今年度から北区の支部長を務めさせて頂いております河添です。この度は90周年を迎えられた事を、お祝い申し上げます。

ひと口に90年と考えると凄いことだと思いました。自分の物心付いた時から、学校で歯科検診が行われるのは当たり前だと思っていました。更に歯科学士の頃に公衆衛生にてDMF指数の勉強しその数値の推移を目の当たりにして、先人の先生方の努力の賜物だと思いました。90年前と比較して、現在の口腔内環境は劇的に改善されたと思います。

ただ、子ども達の成長発育を考えると、う蝕以外の問題が目につく様になっていると思います。今後の我々学校歯科医師は子ども達のより良い口腔内環境の提供に寄与していくべき、更なる努力が必要だと思えます。

90年の長きにわたり子ども達の健康管理をし続けた事を感謝し、後世に受け継ぐべき事業だと改めて感じました。

支部の活動報告とは趣旨が異なりましたが、ご容赦願います。

今後100年150年と継続されていく事を祈念いたしまして寄稿させて頂きます。

80周年記念誌に寄稿して瞬く間に10年が経ちました。当会は今までと同様、毎年10月に研修会・臨時総会、3月に総会を開き役員会も数回行っていきます。しかし、この2年近くはコロナ感染症のため開催できず書面決議となりました。

大きな変化は会員の世代交代が進むと共に二つの幼稚園が閉園し、学校の統廃合があり会員数は32名から28名になった事です。

「なごや小学校」は江西、那古野、幅下の各小学校を統合し、平成27年度よりスタートしました。児童数の増加が望めない市内の小規模校44校の統合計画を市教委が策定し、3校は最優先対象とされていました。

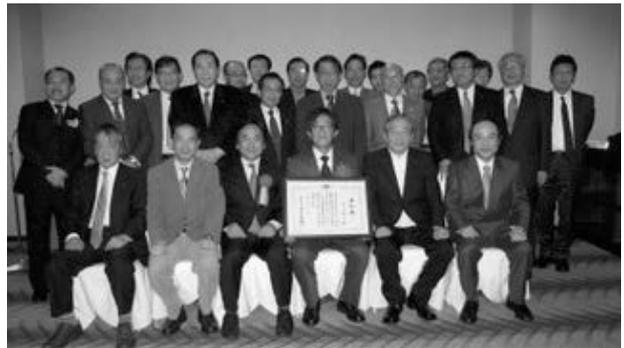
支部長は鈴木一郎から芦刈司郎先生、橋本康夫先生へ引き継がれ現在に至っています。また若い先生方が名学歯役員、委員として活躍しておられます。

西区の特徴である保健会活動はやや停滞しており役員だけではなく一般会員の参画をいかに増やしていくかが課題となっています。

過去には文部科学大臣表彰者が多数おられ80周年記念誌に記載しましたが、平成23年度以降は受賞者が出ていないのは寂しいです。

写真は、大口賢司先生文部科学大臣表彰祝賀会の時で懐かしい顔が見られます。

その他の主な表彰者をご紹介します。



日本学校歯科医会会長表彰

加藤直彦先生（平成24年度）

長谷川幸洋先生（平成25年度）

石田孝雄先生（平成31年度）

芦刈司郎先生（令和2年度）

駒田満先生（令和3年度）

日本学校歯科医会会長感謝状

幸島幸敏先生（平成24年度）

次はいよいよ100周年ですね。それまで名古屋市学校歯科医会とともに発展するよう頑張っていきたいと思います。

中村区

支部

活動状況

支部長 松岡重樹

中村区学校歯科医会では5月に理事会、7月または12月に養護との研修会及び懇親会、そして3月に総会及び研修会を行っております。特に2番目の養護との研修会及び懇親会は中村区の名物として平成10年より開催されております。

研修会は区内の小学校の教室をお借りして講師は中村区の歯科医や名学歯の先生、養護の先生などをお願いし養護の先生の疑問や興味のある演題をピックアップして行っており我々歯科医にも有益な内容になるよう努めております。

その後ホテルに場所を移動して養護と歯科医が普段言えないことやほかの学校の取り組み現状などいろいろ話題が出て我々歯科医としても養護の先生にとってもためになる会と自負しております。

現状はコロナの影響で開催が中止になっておりますが来年こそは開催したいと思っております。その他会の運営では総会の出席が低調でいかに多くの先生に来ていただけるか思案しております。

中区

支部

90周年によせて

支部長 高瀬俊勝

90周年誠におめでとうございます。私は中区丸の内中学校を担当させていただきようやく9年目となりました。丸の内中学校は以前から名古屋市歯科優良校、特別表彰を何度も受賞をしております、身の引き締まる思いで担当させていただいた事を思い出します。先代の先生が築き上げてこられたよき伝統を今も不器用ながらに引き継がせていただいております。90周年の重みをひしひしと感じております。

この度、コロナ禍という身動きの取りづらい中で支部長を担当させていただくこととなりましたが、以前のように総会、勉強会等が開催できていないのが現状であります。生活パターンの変化がもたらす生徒さん達への影響は少なからず出てくるものと考えております。学校歯科医として状況を把握し対応していくためには情報交換は不可欠となります。インターネット等を駆使して中区学校歯科医会として対応していくことを進めてまいります。

伝統、継承ということばは進化、発展とは切り離せないものであると思います。自分はまだ47歳の若輩者であります。90周年から100周年へ、我々世代も後世に引き継がれるような活動ができればと思います。

名古屋市学校歯科医会90周年おめでとうございます。昭和区学校歯科医会は会員18名うち役員8名の小さな会です。当会では元名学歯会長や監事、役員、文部科学大臣表彰、毎年優良校に選定された会員も多く、私は3期5年目支部長を務めていますが、役員、会員の先生方に助けられ、会を運営しています。



活動は、年一回総会&学術講演会、歯科衛生優良校選考などの役員会があります。ここ数年、学術講演会演者を当会員で行っています。

新型コロナウイルス感染によるパンデミックにより、2020年の様々な会合は延期や中止に。春からの学校健診も延期で、私たち学校医も教育現場に翻弄されました。どのような感染対策をすべきかなどの会員間の情報交換ができない不安の中、私が考えたのがLINEというSNSでした。すぐに全会員を招待し、昭学歯メンバーと役員との二つのグループLINEを作り、日学歯や名学歯からの情報を共有しました。また私一人ではまとまらなかった事項や学校健診が済んだ先生の報告や提案などLINEで意見交換、ディスカッションが簡単にできたことは、年一回の総会だけでは違いとても有意義でした。またオンライン理事会を試しましたが、小さな会なので感染対策などの合意をLINEで得、リアル総会を開催しました。コロナ禍ですが、皆さんの協力で交流もでき、学校の状況も知ることができました。

さて昭和区は文教地区で、交通の便もよい中心区の一つのため住みやすい街として上位にあげられる地域です。ここ数年あちこちにマンションや戸建てが建ち、学区によっては2クラスが3～4クラスになり児童数も増えています。生徒のDMFTは毎年非常に少ない地域ですが、人の転入転出が多く、コロナ禍も影響しているのか？最近、乳幼児の初期う蝕が増加傾向です。これからは地域を担う会としてwith and afterコロナの学校歯科の取り組みを話しあいたいです。



瑞穂区

支部

90周年記念誌に寄せて

支部長 磯貝厚典

名古屋市学校歯科医会創立90周年および記念誌発行に、心からお慶び申し上げます。

名古屋市が全国に先駆け、学校歯科医の創設に尽力され、90年という歳月が流れましたが、歴代会長先生の生徒、児童の口腔を守る熱い思いが、今日まで途切れることなく続いたからこそ、執行部役員の先生始め、我々支部も心を一つに、各担当校での歯と口の健康づくりに取り組むことができ、また、名古屋の子供たちの生きる力を育むことができたのではと確信しています。

当支部は、小学校11校、中学校5校、幼稚園1園から成り、17名の学校歯科医が各校で歯科健診はもとより、健康教育現場に携わっています。

また、今期の執行部には、当支部から3名の理事、1名の委員が出向し、名学歯の多くの事業活動に参画し活躍の場をいただいております。

支部活動としては、年1回、名学歯会長、学術担当講師の先生にお越しいただき、支部総会と研修会を行なっています。

これからも、名学歯と支部が一体となって活動を広め、さらに輝かしい歴史を刻んで行くことをご祈念申し上げます。

熱田区

支部

学校歯科医会の活動を振り返って

支部長 玉木大介

まずもって名古屋市学校歯科医会の創立90周年に心よりお祝い申し上げます。

継続は力なりと申しますが、90年の長きに渡る諸先生方の歯科保健活動の取り組み、ご尽力の積み重ねの素晴らしい賜物であります。私事ではありますが、振り返ってみますと、昭和60年に学校歯科医の職務についてから早や36年過ぎました。



当時の歯科健診はう歯の罹患率が高く、う歯の判別が主で体育館とか講堂に児童生徒が一列に並んで、男子、女子、1年生から6年生までを、児童数も現在の倍以上でありましたが一気にぶっ通しての健診を行っていたと記憶しています。

現在は健診はG、GO、CO、顎関節、咬合等の項目が増え、当時に比べると健診に時間を要するようになりました。また男女平等、プライバシーの観点からも、あいうえお順で男子と女子の区別なく診るようになりました。何よりもDMFTの良好な変遷には敬服いたします。

熱田区学校歯科医会の主な活動については、従前より12校（小学校7、中学校4、養護学校1）

の学校歯科医、養護教諭、保健主事、校長らとの「学校歯科医・養護教諭・保健主事合同学習会」を隔年ごとに開催しています。これはフォーラム形式で意見、質疑応答等を交わすといった内容で、同時に各学校間との交流ができる唯一の機会ということで経年実施しています。

今年度は新型コロナ禍の影響で生憎中止となりますが、今後も継続していきたいと考えています。

名古屋市学校歯科医会が今後もさらに発展されますことを祈念いたします。



中川区
支部

最近の活動報告

支部長 早瀬 浩一

最近10年程の中川区学校歯科医会は組織に改正がありました。平成25年度から中川区歯科医師会の会長と学校歯科医の会長が兼務になりました。それに伴い名学歯中川区の支部長は会長ではなく会長代行となりました。利点としては地区と学校歯科医会の連携がスムーズになり合同事業が開催しやすくなりました。欠点もあると思うので名学歯に迷惑をおかけしないように改善していきたいと思います。行事としては従来通り例年2月に総会、研修会、懇親会を行っておりますが研修会と懇親会は前記改正に伴い地区歯科医師会との共催となりました。研修会、懇親会にはほとんどの養護教諭の先生や学校保健顧問校長にも御参加いただき多人数で騒然とした中で開催しており中川区の伝統行事となっており今後も続けていきたいと思います。以前は名古屋駅周辺のホテルを利用していましたが、最近では中川区内の会議室でリーズナブルに開催しております。もちろんコロナ禍以降には飲食を伴う懇親会は開催しておりません。早期の通常開催を願っています。



さて名学歯90周年おめでとうございます。90年というのは想像し難いほどの伝統の重みを感じます。その間中川支部としても元会長の江場弘和先生、現会長の伊藤裕一郎先生、前専務理事の鬼頭昭夫先生、現顧問の岡本義博先生、等々多数の役員を輩出させていただき心より感謝申し上げます。

今後の名古屋市学校歯科医会の益々のご発展を祈願しております。

港区

支部

港区支部活動報告

支部長 古橋 剛 / 副支部長 加藤 久喜

名古屋市学校歯科医会創立90周年、おめでとうございます。一つの節目を迎えられたわけですが、その一員として港区支部活動について80周年からの10年を振り返り、来るべき100周年にむけて、さらなる躍進の願いも込めて活動報告を綴らせていただきたいと思います。

この10年、港区では、毎年行われている（令和2,3年度はコロナで残念ながら中止となってしまいましたが）名学歯の大きなイベントの一つである「歯をまもるよ子の会」が、地区の総会と重なってしまい、参加者は、理事のみとなる年が多く、少し残念に思っておりましたが、令和元年には、当時、副支部長の出席がかないました。これからも、多様な役職の学校歯科医が参加できるようになって欲しいと思っています。

また、私事ではありますが、担当校での「歯みがき教室」において、従来は養護教諭と歯科医師のみでしたが、歯科衛生士も参加して下さることになり、内容が以前より充実したことが良かったと思います。

さて、本題の支部活動ですが、ここ十年、歴代の支部長が、優良校選定など公的行事を単独で行っていましたが、先代から学び、次代に受け継ぐ意味でも複数で協議して決めていければ、少しは支部活動の向上につながるのではと、役員会を開催しました。残念ながら、昨年はコロナのため中断してしまいましたが、今年度からは、優良校選定委員会を開催する運びとなり、これからの10年に繋げていくためのひとつの道しるべに、なっていくことを期待しています。

今年度から、支部長は古橋になりました。そして支部会員に、メール等ネット環境を使った情報伝達を始めることになりました。これは、コロナが招いた一つの副反応ですが、従来よりも充実した内容を発信できるため、この企画が双方向に発展していけば、今後、さらなる充実した支部活動が可能になると思います。

最後に、会員一同、学校歯科医として、児童・生徒の健康づくりに寄与していくことが本来の目的ですので、それにつながる取り組みを模索し、これからのより良い支部活動に向けて、役員ともども努力していくつもりです。



南区

支部

活動報告

支部長 橋本雅範

このたびは名古屋市学校歯科医会の創立90周年と記念誌の発刊を心よりお祝い申し上げます。
また、日頃より児童生徒の歯・口の健康を守るため、ご尽力いただいている名古屋市学校歯科医会の役員の皆様へ心より感謝申し上げます。

南区支部は小学校18、中学校7、高校1、特別支援学校1の会員数26名で構成されています。近年の急激な少子化に伴い小規模校の割合も増えていますが、会員全員が児童・生徒の歯・口の健康保持と健康教育とその啓発を目的として学校歯科保健活動に取り組んでいます。

令和2年度には歯科衛生優良校に大磯小学校、春日野小学校、菊住小学校、桜田中学校および南養護学校の計5校が選出されるなど、各校で活発な学校歯科保健活動が実践されています。また、歯科疾患特別健診対象校として宝小学校と12〇運動対象校として菊住小学校が、それぞれ学校歯科保健の更なる充実を目指して活動し、その成果を上げています。

なお、令和2年初頭からのコロナ禍により現在休止されていますが、南区支部独自の「歯科保健に関する児童、生徒の標語コンクール」を実施しています。選出された優秀作品は歯の衛生週間に南保健センターに展示し、秋の「南区民祭り」にて表彰式を行い、同時に行われる8020表彰式と共に地域における歯科保健啓発活動として高い成果を上げています。

また、令和3年3月には名古屋市学校歯科医会前会長の高村秀平先生をお招きして、支部会員および南区歯科医師会会員を対象に「これからの学校歯科保健と学校歯科健康診断の際の注意点」をテーマとして南区学校歯科保健研修会を開催しましたが、次年度も継続することになっています。

終わりに南区支部では児童生徒が歯・口の健康を守ることの大切さを学ぶことを通して、生涯にわたり健康な生活を送ることができるよう支援していきたいと考えています。

守山区

支部

活動状況

支部長 近藤 隆

名古屋市学校歯科医会創立90周年を迎えられおめでとうございます。

当守山地区では、支部全体としての活動はありませんが、学校歯科保健に関し会員個々が担当校で特色ある活動をしています。支部長として、学校歯科に関する各種事業、情報等を、従来通り地区例会やE-mailで会員に周知し、また、適切な新任学校歯科医の推薦をしていく所存です。

緑区

支部

活動紹介

支部長 小島元康

緑区では緑区歯科医師会から独立した緑区学校歯科医会として、学校歯科活動を行っています。平成30年10月に10周年を迎え、会員も増え、ますます大所帯となっております。

活動としましては、基本、毎月第3週の金曜日に役員会議を行い（年10回程度）、6月には臨時総会、3月には総会を開催しています。

また、年2回の保健所との打ち合わせ会、年1回の幼稚園、保育所歯科講習会には会長及び役員が参加し、地域の保健活動に協力させて頂いております。

毎年7月には緑区の小中学校の保健主事、養護教諭および担当校長の先生方を対象に、緑区学校歯科保健研修会を行っています。

研修会はその時世に合わせた話題をチョイスし、主に外部講師を招へいし、行っています。研修会後には懇親会を開き、先生方の生の声を聞くことができ、参考にさせていただいております。

近年、緑区では人口の増加に伴い、保育園や小規模保育園が急増しており、学校歯科医の先生方には複数の校医、園医を担当していただいている状態です。

今後も各自がより一層、学校歯科について理解・研鑽し、スムーズに学校歯科保健活動ができるよう、緑区学校歯科医会役員一同、力を合わせて頑張っていきたいと思っております。

名東区

支部

活動紹介

支部長 西村助吉

名古屋市学校歯科医会創立90周年記念誌発刊おめでとうございます。

名東区は昭和50年（1975年）2月に千種区から分区独立して誕生し早くも45年が経ちました。かつてはのどかな田園地帯でしたが大規模な土地区画整理、地下鉄路線、また高速道路の整備により市内屈指のベッドタウンとして、また名古屋の東玄関口にふさわしい街として発展してきました。

会員は31名で小学校19校、中学校8校、高校1校、幼稚園3校からなっており、その中で児童、生徒数1000人以上のマンモス校が小学校2校、中学校1校ありますが逆に児童、生徒数が300人以下の小学校4校、中学校1校あり学区の差が大きいのも特徴です。

名東区学校歯科医会の支部長は初代が松岡昭二先生に始まり栗崎幸治先生、大谷強先生、松岡広司先生、川瀬光一先生、都島誠一先生が歴任され現在は西村が勤めさせていただいております。

名東区学校歯科医会は発足当時には懇親会等も盛んに行っていたようですが、近年は積極さが低下し集まる機会も少なくなりました。まずは総会の開催をと模索しましたがちょうどコロナ禍にあたりなかなか実行できずしております。

10年ほど前に県歯の警察歯科医科会に在籍中「子どもの虐待防止マニュアル」作成に加わる事ができました。その際の経験から学校検診の場でも「虐待の兆し」特に“ネグレクト”を経験することがあります。私の担当小学校も大規模校ですがCはなかなかありません、特に永久歯のCは高学年でも一学年で合計5～6本しかないのに、毎年一人か二人は永久歯に2～3本のCのある児童がおります。検診が終わってから養護教諭に必ずその児童の学校での様子や家庭環境について聞くようにしています。“ネグレクト”の原因には“貧困”というキーワードが隠れていることが多くなっています。担任の先生に家庭訪問の際はそのことを頭の中に入れて指導をするようお願いしています。

学校歯科医は検診だけして他は何もせずにお金をもらっていると思っている会員の先生もいるようですが、お口の状態からその子の生活環境も推察し生活指導の一助となることができます。今後も真摯に検診に向き合っていきたいと思っております。

天白区

支部

天白支部活動報告

支部長 久野正博

名古屋市学校歯科医会創立90周年おめでとうございます。

天白支部は会員数27名で、高校1校、中学校7校、小学校17校、幼稚園1校、養護学校1校を担当しています。毎年各先生方が、健診、学校保健委員会にて活躍しております。学術研修会は、名古屋市学校歯科医会に講師を依頼し講演会を行っています。

昨年度は、コロナ禍で、健診が、昨年緊急事態宣言により、感染予防のため、日程変更が、数度あり各先生方は、大変だったと思います。ただ、健診に関しては、ソーシャルディスタンス、換気、Wミラー、アルコール消毒により、感染リスクの少ない健診になり良かったのではないかと思います。また会合に関しては、すべて中止となり、総会も、書面議決を行うこととなりました。今年に関しては、ワクチン接種により、会員集合し講演会を行いたいと思っています。

コロナを乗り越えて名古屋市学校歯科医会が、名古屋市の学生に貢献する事を祈念いたします。

平成 23 年度
各支部会員数・学校数

	会員数	学校数				
		幼稚園	小学校	中学校	高 校	特別支援学校
千 種	25	1	15	7	2	0
名 東	31	3	19	8	1	0
東	16	2	9	4	1	0
北	30	3	19	7	1	0
守 山	27	1	19	7	0	1
西	30	2	19	7	2	0
中 村	20	0	15	7	0	0
中	16	0	11	4	1	0
港	28	0	20	8	0	0
昭 和	18	1	11	5	1	0
天 白	27	1	17	7	1	1
瑞 穂	17	1	11	5	0	0
熱 田	12	0	7	4	0	1
中 川	43	4	24	11	3	1
南	26	0	18	7	1	0
緑	46	4	28	12	1	0
合 計	412	23	262	110	15	4

(緑区会員数は、私学含まず、中区は中央高(昼) 1校とする)

各 支 部 会 議

	総 会	役員会	例 会	学校保健会	委員会	その他
千 種	1	3	0	0	0	0
名 東	1	6	2	0	0	0
東	1	3	0	0	0	0
北	1	0	0	0	0	0
守 山	0	0	0	0	0	0
西	1	3	0	2	3	1
中 村	1	1	0	1	0	1
中	1	0	0	0	0	0
港	2	0	8	1	0	0
昭 和	1	1	0	2	0	0
天 白	1	1	0	2	0	0
瑞 穂	1	1	0	1	0	0
熱 田	1	2	0	0	0	0
中 川	1	4	0	0	0	2
南	1	3	0	1	0	0
緑	2	10	0	1	0	2
合 計	17	38	10	11	3	6

各 支 部 会 計

	前年度繰越金	会 費	名学歯交付金	地区歯科医師会交付金	その他	支部規定
千 種	689,185	125,000	50,000	0	129	○
名 東	277,995	93,000	62,000	0	229,620	○
東	83,511	16,000	32,000	0	0	○
北	609,419	150,000	60,000	0	0	○
守 山	0	0	56,000	0	0	×
西	3,209,987	720,000	60,000	0	20,842	○
中 村	1,716,618	230,000	44,000	0	114,642	○
中	307,318	80,000	34,000	0	131	○
港	822,468	70,000	56,000	0	111	○
昭 和	172,606	180,000	36,000	0	0	×
天 白	565,017	135,000	54,000	0	0	○
瑞 穂	394,056	51,000	34,000	50,000	72,000	×
熱 田	0	0	24,000	0	0	○
中 川	439,045	215,000	86,000	100,000	27,064	○
南	345,590	260,000	52,000	20,000	98	○
緑	113,800	360,000	90,000	0	0	○
合 計	9,746,615	2,685,000	830,000	170,000	464,637	

各 支 部 事 業

	研修会・講習会等	養護教諭・保健主事等との懇談会	その他	日付	参加者数	内 容	場 所
千種	○			7月28日	20	名学歯研修会 久保金弥教授	名古屋国際ホテル
名東	○			8月18日	12	「これからの歯科会と考える」 須賀康夫先生	太湖飯店
	○			12月17日	15	「名学歯の事業報告、執行についての考え方、質疑応答」 名学歯 松浦和典会長	太湖飯店
東							
北	○			2月15日	40	「学校歯科保健向上対策」 講師 名古屋市学校歯科医会 高村 秀平	北生涯学習センター
		○		同 上	40	同 上	同 上
守山							
西	○			10月15日	25	22年度決算報告、各種報告 「不正咬合を予防する」 講師 「子どもの咬合を考える会」 前会長 京都市開業 堀口 靖史先生	百楽
	○			11月16日	38	西区学校三師会総会 決算及び各種報告 「学校安全の現状と問題点」 講師 名古屋市教育委員会 指導主事 伊藤 正男先生	ウエスティンナゴヤ キャッスルホテル
	○			1月27日	48	西区学校保健会研修会 「教育現場における感染症対策のあり方」 講師 名古屋市健康福祉局健康部主幹 稲葉 静代先生	西区休日診療所
		○				学校保健会委員会に、養護・保健主事の世話役・副世話役がそれぞれ3名ずつ参加しているの、役員会のときに話し合いを行っている。(学校保健会参照) 学校保健会研修会には、ほぼ全養護が参加している。	
中村	○			9月1日	8	「名学歯の現状」 講師 名古屋市学校歯科医会会長 松浦 和典先生	ウインク愛知
	○			11月24日	25	「▼」名学歯前会長 江場 弘和先生	笹島小中学校
		○		11月24日	20	第14回中村区養護教諭との懇談会	名鉄グランドホテル
中港							
昭和	○			6月16日	14	「八事小学校の健診を紹介」 講師 八事小学校医 鍋谷先生	ルブラ王山
	○			6月8日	1	「喫煙防止教育に必要な基礎知識」 講師 伊藤 祐二先生	昭和保健所
	○			10月中旬	1	「子宮頸がんは治療から予防へ」 講師 ▼先生	同 上
	○			同 上	9		
天白	○			12月3日	20	「名古屋市学校歯科医会の今後の展開について」 講師 高村 副会長	吉野寿司
瑞穂							
熱田	○			1月17日	34	「学校歯科医・保険主事・養護教諭合同学習会」 各小中学校の学校歯科医・保険主事・養護教諭がフォーラム形式で質疑応答、意見交換 同時に 藤井 宏次先生による「学校保健委員会の活性化」と題した講演実施	白鳥小学校
		○		同 上	34	上記研修会(学習会)に併せて実施	同 上
中川	○	○		2月16日	参加総数 63	「コーチング」講師 平井 克典氏 引き続き、学校歯科医と養護教諭の意見交換を兼ねた交流会を開催	ホテルサンルートプラザ 名古屋
南			○	6月2日～ 8月31日	参加総数 574	参加学校から各10名審査選出し優秀作品とし、その中から各学校1名ずつ選出し、最優秀作品として歯の衛生週間期間を中心にして保健所に展示	南保健所
緑	○			7月14日	65	緑区養護教諭講習会 「小児期の口腔の発育と悪習癖との関係について」 講師 愛知学院小児歯科学講座 中野 崇先生	鳴海商工会館
	○			12月8日	35	緑区幼保育園指導者講習会 「幼児期の虫歯予防について」 講師 同 上	緑保健所
		○		6月16日		緑区養護教諭講習会の打ち合わせ	桶狭間小学校
			○	6月8日	60	緑区歯科医師会例会にて「学校歯科研修会」 講師 山下 理事	鳴海商工会館

名古屋市学校歯科医会への要望・提言

名東区	総会祝賀会会費の削減をお願いします。できれば支部交付金の枠に収まるようご配慮頂ければと考えます。宜しくをお願いします。
西 区	以前質問させていただきましたが、中学校の「健診結果」回収率は伸び悩んでいるようです。小学校は色々な活動が行われていますが、中学校は家庭環境の問題もあり難しいかもしれません。私の担当校は中学3年生の3分の2が母子家庭で、修学旅行でTDLはもちろん、新幹線に乗るのも初めてという生徒や、リストカットも少なくないと聞いて驚きました。校内暴力が吹き荒れた頃の生徒が今親となり、多動児も意に介しておらず、教員も困っているようです。こんな現状で学校歯科保健をどうしたらよいか、考える場・機会を設けてはどうでしょうか。
中 区	支部総会時の講習会があってもいいと思いますが？
緑 区	名古屋市学校歯科医会総会後の懇談会の動員割当てではできればなくしていただきたい。各支部2~3名程度にいただければ参加しやすいのでご検討いただきたい。※80周年などの特別な時は除く。

平成 24 年度
各支部会員数・学校数

	会員数	学校数				
		幼稚園	小学校	中学校	高 校	特別支援学校
千 種	25	1	15	7	2	0
名 東	31	3	19	8	1	0
東	16	2	9	4	1	0
北	30	3	19	7	1	0
守 山	28	1	20	7	0	1
西	30	2	19	7	2	0
中 村	20	0	15	7	0	0
中	16	0	11	4	1	0
港	28	0	20	8	0	0
昭 和	18	1	11	5	1	0
天 白	27	1	17	7	1	1
瑞 穂	17	1	11	5	0	0
熱 田	12	0	7	4	0	1
中 川	43	4	24	11	3	1
南	26	0	18	7	1	0
緑	46	4	28	12	1	0
合 計	413	23	263	110	15	4

(緑区会員数は、私学含まず、中区は中央高(昼) 1校とする)

各 支 部 会 議

	総 会	役員会	例 会	学校保健会	委員会	その他
千 種	1	3	0	0	0	0
名 東	1	2	0	1	0	0
東	1	1	0	0	1	0
北	1	1	0	0	0	0
守 山	0	0	0	0	0	0
西	1	3	1	13	0	1
中 村	1	1	0	1	0	1
中	1	1	0	0	0	0
港	2	0	8	1	0	0
昭 和	1	2	0	4	0	0
天 白	2	1	2	3	2	2
瑞 穂	1	1	0	1	0	0
熱 田	1	1	0	0	0	0
中 川	1	4	0	1	1	0
南	2	4	0	3	0	0
緑	2	11	0	2	0	2
合 計	19	36	11	30	4	6

各 支 部 会 計

	前年度繰越金	会 費	名学歯交付金	地区歯科医師会交付金	その他	支部規定
千 種	767,564	125,000	50,000	0	263	○
名 東	110,375	93,000	62,000	0	229,620	○
東	103,306	17,000	32,000	0	0	○
北	655,130	150,000	60,000	0	0	○
守 山	0	0	58,000	0	0	×
西	3,209,987	720,000	60,000	0	30,000	○
中 村	1,716,618	230,000	47,000	0	86,651	○
中	387,740	80,000	34,000	0	33,132	×
港	840,576	70,000	56,000	0	79,267	○
昭 和	271,013	180,000	36,000	0	0	×
天 白	524,612	135,000	54,000	30,000	10,094	○
瑞 穂	344,166	51,000	34,000	50,000	70,000	×
熱 田	0	0	24,000	0	0	○
中 川	446,226	215,000	30,000	86,000	36	○
南	481,220	260,000	52,000	20,000	137	○
緑	783,959	244,000	90,000	0	57,186	○
合 計	10,642,492	2,570,000	779,000	186,000	596,386	

各 支 部 事 業

	研修会・講習会等	養護教諭・保健主事等との懇談会	その他	日付	参加者数	内 容	場 所
千種							
名東							
東							
北	○			2月20日	40	「名古屋市歯科医師会の歯肉炎への取り組み」 講師 名学歯常務 山田 耕平先生	北生涯学習センター
		○		同上	40	同上	同上
守山							
西	○			10月20日	28	「学校歯科における児童虐待対応」 講師 愛知県警察歯科医会 大野 勝弘先生	百楽
	○			11月8日	10	幼稚園保育園歯科講習会 講師 西区学校歯科医会 鈴木 一郎先生	西保健所
		○		7月12日	15	西区学校保健会研修会 「学校保健会としての役割」	西区休日診療所
		○		3月2日	18	同上	柿安名古屋駅前店
中村	○			9月27日	30	「学校歯科について」 講師 名学歯副会長 高村 秀平先生	ウイंक愛知
	○			11月22日	25	「外傷について」 講師 中村日赤口腔外科副部長 藤原 成祥 先生	笹島小・中学校
					20	第15回中村区養護教諭との懇談会	名鉄グランドホテル
中							
港							
昭和	○			5月31日	12	「そうだったのかM. MO判断基準 ワンポイントアドバイス実践編」 講師 名学歯理事 宮原 隆史先生	ルブラ王山
	○			6月8日	1	「喫煙防止教育のための基礎知識」 講師 昭和区学校保健会支部長 伊藤 裕二先生	昭和保健所5階会議室
	○			10月	1	「子宮頸ガン予防の講話」	昭和区役所
天白							
瑞穂							
熱田							
中川	○	○		2月21日	67	「顎発育と矯正治療」 講師 中部矯正歯科クリニック 遠藤泰昭先生	ホテルサンルートプラザ名古屋
					71	引き継ぎ、学校歯科医と養護教諭の意見交換を兼ねた交流会を開催	
南	○			11月11日	11	「骨粗しょう症における医療連携」 講師 愛知県歯科医師会理事 橋本 雅憲先生	八事、八勝館
			○	6月2日～8月31日	852	参加学校から各10名を審査、選出し優秀作品とし、そのうち各学校1名ずつ最優秀作品とし選出し歯の衛生週間中心に保健所に展示	南保健所
			○	11月11日	23	南区民祭りにおいて、標語の優秀作品者を招待し、表彰	標語コンクール表彰式
緑	○			7月12日	61	緑区養護教諭講習会 「う蝕予防－生活習慣との関連－」 講師 愛知学院大学歯学部口腔衛生学講座 准教授 加藤 一夫先生	鳴海商工会館
	○			11月1日	45	緑区幼稚園指導者講習会 「フッ化物洗口の実践」 講師 同上	緑保健所
		○		6月14日	13	緑区養護教諭講習会の打ち合わせ	大清水小学校
		○		7月12日	11	緑区養護教諭講習会反省会	木曾路鴻仏日店

名古屋市学校歯科医会への要望・提言

東 区	①名学歯は4月から6月に主たる事業が多いので、役員任期を7月8月の総会迄と改めた方がよろしいのでは。
	②支部長は、地区で解決できない問題が生じた場合に支部長会・代議員会で執行部の意見や指導を求めているのに、「それぞれの支部事情があるので支部で解決してほしい」等の回答が近年目立つ。「この問題、○○副会長預かりにする」等、頼りになる執行をして欲しい。
	③支部長会・代議員会での発言を、愛歯月報に掲載する場合は、必ず投稿原稿を本人が確認し了承したうえでお願いしたい。
	④歯科医師会非会員を新任学校歯科医の対象としない理由を提示してほしい。
守山区	6月第1か第2木曜日に区の「歯の1日健康センター」が実施されることが多いと思います。 出勤する先生が多いのでできれば学校の健診を第1・2木曜日午後には予定しないように学校側に伝えてほしい。

平成 25 年度
各支部会員数・学校数

	会員数	学校数				
		幼稚園	小学校	中学校	高 校	特別支援学校
千 種	25	1	15	7	2	0
名 東	31	3	19	8	1	0
東	16	2	9	4	1	0
北	30	3	19	7	1	0
守 山	28	1	20	7	0	1
西	30	2	19	7	2	0
中 村	20	0	15	7	0	0
中	17	0	11	4	2	0
港	28	0	20	8	0	0
昭 和	18	1	11	5	1	0
天 白	27	1	17	7	1	1
瑞 穂	17	1	11	5	0	0
熱 田	12	0	7	4	0	1
中 川	43	4	24	11	3	1
南	26	0	18	7	1	0
緑	45	4	28	12	1	0
合 計	413	23	263	110	16	4

(緑区会員数は、私学含まず、中区は中央高(昼) 1校とする)

各 支 部 会 議

	総 会	役員会	例 会	学校保健会	委員会	その他
千 種	1	3	0	0	0	1
名 東	1	3	0	0	0	0
東	1	2	0	2	1	1
北	1	0	0	0	0	0
守 山	0	0	0	0	0	0
西	1	3	1	11	0	0
中 村	1	1	0	1	0	1
中	1	1	0	0	0	0
港	2	0	8	1	0	0
昭 和	1	1	0	3	0	0
天 白	2	1	2	2	2	1
瑞 穂	1	1	0	0	0	0
熱 田	1	2	0	0	0	0
中 川	1	4	0	0	0	0
南	1	2	0	1	0	0
緑	2	11	1	2	0	2
合 計	18	35	12	23	3	6

各 支 部 会 計

	前年度繰越金	会 費	名学歯交付金	地区歯科医師会交付金	その他	支部規定
千 種	704,394	125,000	50,000	0	126	○
名 東	130,875	93,000	62,000	0	229,620	○
東	125,586	16,000	32,000	0	-173,586	○
北	734,436	150,000	60,000	0	0	○
守 山	0	0	58,000	0	0	×
西	2,963,745	720,000	60,000	0	30,000	○
中 村	1,790,570	230,000	44,000	0	104,656	○
中	386,622	80,000	34,000	0	45,130	×
港	885,652	70,000	56,000	0	138	○
昭 和	353,868	180,000	36,000	0	0	×
天 白	477,540	135,000	54,000	0	20,038	○
瑞 穂	301,477	45,000	34,000	50,000	70,000	×
熱 田	0	0	24,000	0	0	○
中 川	446,226	215,000	116,000	0	0	○
南	363,942	260,000	52,000	20,000	159	○
緑	778,780	256,000	120,000	0	84,431	○
合 計	10,443,713	2,575,000	892,000	70,000	410,712	

各 支 部 事 業

	研修会・講習会等	養護教諭・保健主事等との懇談会	その他	日付	参加者数	内 容	場 所
千種	○			4月19日	18	「CO,GOについて」講師 名学歯常務 向田吉範先生	栄（いな葉）
名東							
東							
北	○			2月12日	36	「120運動について」講師 名学歯常務 鬼頭昭夫先生	北生涯学習センター
		○		同上	36	・健診で使用する器具の方法について ・健診時の手指の消毒や使い捨て手袋の取り替えについて ・「歯科健診結果のお知らせ」の項目についてなど	同上
守山							
西	○			10月26日	20	「学校眼科医にできる事とは」講師 松原弘樹先生	百楽
	○			3月1日	23	「名学歯の事業内容」講師 名学歯副会長 藤井義久先生	百楽
		○		1月24日	30	「食物アレルギーについて」講師 秋山志津子先生	西区休日診療所
		○		3月8日	20	「学校保健会の役割」	豆屋しびかま
			○	11月17日	30	西区学校三師会	ウエスティン名古屋キャッスルホテル
中村	○			9月10日	15	「多目的唾液検査システムについて」講師 中村区歯科医師会会員 松井 治先生	ウインク愛知
	○			11月7日	25	「中村区の歯科保健の現状」講師 中村保健所保健予防課、衛生士 金森いずみ先生	笹島小・中学校
					20	第15回中村区養護教諭との懇談会	
中							
港							
昭和	○			5月30日	12	「学校歯科保健におけるM.MOの扱いについて」講師 名学歯理事 宮原隆史先生	ルプラ玉山
	○			6月8日	1	「喫煙防止教育のための基礎知識」講師 昭和区学校保健会支部長 伊藤裕二先生	昭和保健所
	○			10月23日	1	「子宮頸ガン予防の講話」	
天白	○			11月30日	27	「名古屋市学校歯科医会の現況について」講師 名学歯会長 松浦和典先生	吉野寿司
瑞穂							
熱田	○	○		2月14日	32	「学校歯科医・保健主事・養護教諭合同学習会」	白鳥小学校
中川	○			2月6日	80	救命救急処置	
		○			80	同上	区休日救急診療所会議室
			○		19	年11回中川区歯科医師会理事会にて学校歯科医師会事業報告を 通達	
		○		70	年2～3回中川区歯科医師会総会にて学校歯科医師会事業報告 を通達とお願い	中川区役所講堂・賀城園	
南			○	6月8日～ 8月31日	912	参加学校から各10名を審査、選出し優秀作品とし、そのうち各 学校1名ずつ最優秀作品とし選出し、歯の衛生週間中心に保健 所に展示	南区学校歯科保健標語 コンクール
			○	11月27日	21	南区民祭りにおいて、標語の優秀作品者を招待し、表彰	南区学校歯科保健標語 コンクール表彰式
緑	○			7月18日	70	緑区養護教諭講習会「小児の歯の外傷」 講師 愛知学院大学歯学部小児歯科学講座准教授 小野敏郎先生	鳴海商工会館
	○			11月28日	17	緑区幼稚園指導者講習会「幼児の発声・発語機能について」 講師 愛知淑徳大学健康医療学部医療貢献学科 伊藤美知恵先生	緑保健所
		○		5月30日	12	緑区養護教諭講習会の打ち合わせ会年間の行事打ち合わせ	鎌倉台中学
		○		7月18日	14	緑区養護教諭講習会反省会講師を囲んでの意見交換会	木曽路鴻仏目店

名古屋市学校歯科医会への要望・提言

名東区	学校と学校歯科医との関係は一旦、こじれると修復が難しいケースもあります。地区で起こった様々のトラブルの相談窓口としてアドバイス頂けると非常に助かります。
東 区	次期役員選出の祭は、現職の去就と常務以上の人事を確定してから、支部の推薦を求めるようにして頂きたいです。

平成 26 年度
各支部会員数・学校数

	会員数	学校数				
		幼稚園	小学校	中学校	高 校	特別支援学校
千 種	25	1	15	7	2	0
名 東	31	3	19	8	1	0
東	16	2	9	4	1	0
北	30	3	19	7	1	0
守 山	28	1	20	7	0	1
西	30	2	19	7	2	0
中 村	21	0	15	7	1	0
中	16	0	11	4	1	0
港	28	0	20	8	0	0
昭 和	18	1	11	5	1	0
天 白	27	1	17	7	1	1
瑞 穂	17	1	11	5	0	0
熱 田	12	0	7	4	0	1
中 川	43	4	24	11	3	1
南	26	0	18	7	1	0
緑	45	4	28	12	1	0
合 計	413	23	263	110	16	4

(緑区会員数は、私学含まず、中区は中央高(昼) 1校とする)

各 支 部 会 議

	総 会	役員会	例 会	学校保健会	委員会	その他
千 種	1	3	0	0	0	0
名 東	1	3	0	0	0	0
東	1	1	0	1	2	0
北	1	1	0	0	0	0
守 山	0	0	0	0	0	0
西	2	3	3	10	0	19
中 村	1	1	0	1	0	1
中	1	0	0	0	0	0
港	2	0	8	0	0	0
昭 和	1	1	0	0	0	0
天 白	1	1	0	0	0	0
瑞 穂	1	1	0	0	0	0
熱 田	1	2	0	0	0	0
中 川	1	4	0	0	0	0
南	2	3	0	3	0	0
緑	2	10	0	2	0	0
合 計	19	34	11	17	2	20

各 支 部 会 計

	前年度繰越金	会 費	名学歯交付金	地区歯科医師会交付金	その他	支部規定
千 種	788,791	125,000	5,000	0	30,274	
名 東	162,075	93,000	62,000	0	0	○
東	148,927	16,000	32,000	0	21	○
北	837,713	150,000	60,000	0	0	○
守 山	0	0	58,000	0	0	×
西	3,186,831	720,000	60,000	0	30,344	○
中 村	1,876,359	230,000	44,000	0	82,625	○
中	423,282	80,000	34,000	0	56,143	○
港	885,652	70,000	56,000	0	138	○
昭 和	416,259	180,000	36,000	0	0	
天 白	439,962	135,000	54,000	0	43	○
瑞 穂	287,056	51,000	34,000	50,000	20,000	×
熱 田	0	0	24,000	0	0	○
中 川	264,406	215,000	116,000	0	10,076	○
南	497,751	260,000	52,000	20,000	197	○
緑	734,647	274,000	90,000	0	259,926	○
合 計	10,949,711	2,599,000	817,000	70,000	489,787	

各 支 部 事 業

	研修会・講習会等	養護教諭・保健主事等との懇談会	その他	日付	参加者数	内 容	場 所
千種	○			10月30日		ポスター表彰式、歯と口の健康週間ポスター表彰	ルブラ王山
名東							
東	○			2月28日		「特別健診の歩み」山田耕平常務 「小学生における歯肉炎予防でのデンタルフロスの取り組み」 大久保肇理事	県歯会館
北	○			2月18日	40	「CO・GOについて」 名古屋市学校歯科医会理事 竹内康人先生	北生涯学習センター
		○		同上	40	同上	同上
守山							
西	○			10月25日	24	「学校医に望む事」幅下小学校校長 鬼頭昌也	百楽
	○			3月7日	27	「名古屋市学校保健会の事業内容」 名古屋市学校保健会 会長 後藤正己	百楽
		○		3月14日	18	学校・安全保健について	しびかま別邸
			○	9月18日	4	監事会（会計監査）	県歯会館
中村	○			7月17日	25	講師：山田耕平先生（名古屋市学校歯科医会常務理事） 演題：養護教諭の疑問に答えて	笹島小学校 中学校
		○		7月17日	20	第17回中村区養護教諭との懇談会	名古屋グランドホテル (アイリス)
中							
港							
昭和							
天白	○			11月29日	（支部会員）27	支部会員同士の意見交換、相互研修など	木曾路（昭和区）
瑞穂	○			6月14日	17	高村秀平常務理事 120運動の現状と今後の展開について	かう楽
熱田							
中川	○			2月5日	学校歯科医27 養護教諭34 顧問校長	矯正歯科からの一言 永縄友紀子先生（中川区会員）	中川区休日診療所
		○		2月5日	学校歯科医27 養護教諭34 顧問校長	交流会 （軽食・立食バイキング形式）	中川区休日診療所
南	○			平成26年 6月4日～ 8月末	参加児童生徒数 492	毎年各中学ブロックごと応募依頼し10名ずつ選出南区にて優秀作品審査、展示（本年度は新郊中学ブロックにて参加者新郊中10名、呼続小245名、大磯小237名）	南保健所内展示
	○			11月11日	23	南区民祭りに於いて南区歯科啓蒙活動として南区歯科医師会より8020達成者表彰とともに、各校10名優秀者表彰する	南ガイシホール
緑	○			7月17日	会員8 校長3 養護・指導主事68	緑区養護教諭講習会「小児の歯の外傷について」 講師：愛知学院大学歯学部小児歯科学講座 准教授 小野敏郎先生	鳴海商工会館
	○			10月30日	会員8 幼・保育園 指導者16	緑区幼・保育園指導者講習会 「こどものこんな問題に出会ったら - 食事、外傷を中心に -」 豊橋キッズデンタルクリニック院長 中野 崇先生	緑保健所
		○		5月29日	役員2校長1養護6	緑区養護部会との打ち合わせ会 年間の行事打ち合わせ	小坂小学校
		○		7月17日	役員7校長3養護4	緑区養護講習会反省会 講師を囲んでの意見交換会	木曾路 鴻仏目店

名古屋市学校歯科医会への要望・提言

名東区	何時もお世話になっています。 藤井会長はじめ新執行部の皆様には今期も宜しくお願い致します。名東区からは布施先生、飯田先生のベテランと新人の水野先生3名がお世話になります。水野先生は地区でも学術担当でしたが口腔外科関連に強い先生です。それぞれ個性的な3名ですが宜しくお願いいたします。
中 区	メールは思うように使えず時間の浪費
緑 区	優良校審査会への参加 各支部3名以内

平成 27 年度 各支部会員数・学校数

	会員数	学校数				
		幼稚園	小学校	中学校	高 校	特別支援学校
千 種	25	1	15	7	2	0
名 東	31	3	19	8	1	0
東	16	2	9	4	1	0
北	30	3	19	7	1	0
守 山	29	1	20	8	0	1
西	29	2	18	7	2	0
中 村	22	0	15	7	1	0
中	16	0	11	4	1	0
港	43	0	20	8	0	0
昭 和	18	1	11	5	1	0
天 白	27	1	17	7	1	1
瑞 穂	17	1	11	5	0	0
熱 田	12	0	7	4	0	1
中 川	43	4	24	11	3	1
南	26	0	18	7	1	1
緑	45	4	28	12	1	0
合 計	429	23	262	111	16	5

(緑区会員数は、私学含まず、中区は中央高(昼) 1校とする)

各 支 部 会 議

	総 会	役員会	例 会	学校保健会	委員会	その他
千 種	1	3	0	0	0	0
名 東	1	3	0	0	0	0
東	1	0	0	0	0	0
北	1	1	0	0	0	0
守 山	0	0	0	0	0	0
西	2	3	3	11	0	18
中 村	1	1	0	1	0	1
中	1	0	0	0	0	0
港	2	0	8	0	0	0
昭 和	1	3	0	0	0	0
天 白	1	1	0	0	0	0
瑞 穂	1	1	0	0	0	0
熱 田	1	3	0	0	0	0
中 川	1	4	0	1	0	1
南	1	3	0	1	0	0
緑	2	10	0	2	0	0
合 計	18	36	11	16	0	20

各 支 部 会 計

	前年度繰越金	会 費	名学歯交付金	学術助成金の助成	地区歯科医師会交付金	その他	支部規定
千 種	747,706	125,000	70,000	あり	0	500	○
名 東	220,525	93,000	62,000	なし	0	0	○
東	124,308	16,000	32,000	なし	0	40	○
北	977,038	150,000	60,000	あり	0	0	○
守 山	0	0	60,000	なし	0	0	×
西	3,360,000	696,000	58,000	なし	0	10,502	○
中 村	1,876,359	230,000	44,000	あり	0	89,705	○
中	356,873	80,000	34,000	あり	0	56,060	○
港	944,607	42,000	56,000	なし	0	105	○
昭 和	481,616	170,000	66,000	あり	0	0	×
天 白	420,301	135,000	84,000	あり	0	10,015	○
瑞 穂	268,436	51,000	34,000	なし	50,000	20,000	×
熱 田	0	0	54,000	あり	0	0	○
中 川	470,923	215,000	86,000	なし	10,000	160	○
南	418,848	270,000	54,000	なし	20,000	168	○
緑	759,748	284,000	90,000	あり	0	283,983	○
合 計	11,427,288	2,557,000	944,000		80,000	471,238	

各 支 部 事 業

	研修会・講習会等	養護教諭・保健主事等との懇談会	その他	日付	参加者数	内 容	場 所
千種	○			4月9日	20	名学歯宮原理事による (学校歯科検診における不正咬合の基準の再確認)	東桜桃花林
			○	11月12日		ポスター表彰式、歯と口の健康週間ポスター表彰	ルブラ王山
名東 東							
北	○			2月24日	40	「外傷の対応について」- 顔面歯牙外傷 -	名古屋市青少年交流プラザ
		○		同 上	40	講師 名古屋市立西部医療センター歯科口腔外科副部長 加藤伸一郎先生	同 上
守山							
西	○			10月24日	23	学校歯科医の責務とは名学歯 高村秀平	百楽
	○			3月5日	23	近年の子供と保護者学校医 三輪田博介	百楽
		○		11月8日	38	学校事故への対応学校保健課指導主事 秋山志津子	ウエスティンキャッスルホテル
		○		12月2日	30	理想の保健室フッ素について学校歯科医 芦刈司郎	西区休日急病センター
		○		1月16日	40	食物アレルギーについて学校保健課指導主事 秋山志津子	西区休日急病センター
		○		3月5日	12	今年度の反省次年度の計画	風月
			○	9月26日	4	西学歯監事会	県歯会館
		○	2月20日	4	西学歯監事会	旬蔵	
中村	○			7月17日	25	講師：千成小学校、笹島小中学校、養護教諭及び担当歯科医 演題：わが校の保健活動について	笹島小学校 中学校
		○		7月17日	20	第18回中村区養護教諭との懇談会	名古屋グランドホテル（アイリス）
中 港	○			3月16日	14	今回の健診の変更点（県歯）（名学歯）と注意点 大村先生（地区担）大久保先生（名学歯）	ローズコートホテル
昭和			○	9月4日	12	名古屋市学校保健優良校港区支部審査委嘱及び審査委員会	港明中
	○			6月11日	10	滝川小学校学校保健委員会報告スマホと噛み合わせ 竹内祐介	ルブラ王山
	○			6月24日	10	小児とたばこについて 伊藤祐二先生	昭和保健所
天白	○			10月28日	10	食事アレルギーについて生活指導でのビットフォールへ 藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院小児科教授 近藤康人先生	昭和保健所
	○			11月28日	17	学校歯科におけるM、MOについて 講師：宮原隆史先生（本部理事）	吉野寿司（昭和中区）
瑞穂							
熱田	○			1月26日	38	「学校歯科医・保健主事・養護教諭合同研修会」実施。各小中学校の学校歯科医、保健主事、養護教諭がフォーラム形式で質疑応答、意見交換等を実施（隔年）。同時に歯つばの会、中村和子氏講師による「歯科保健教育について」講演。	白鳥小学校
		○		1月26日	38	上記研修会（学習会）に併せて実施	白鳥小学校
中川	○			2月4日 14:40～ 15:40	歯科医師24名 養護教諭36名	1. 子供の連れ去り防止 2. 子供の虐待防止 中川警察署生活安全課 近藤誠巡查部長他	中川区休日急病診療所3F 会議室
		○		2月4日 15:50～ 16:30		学校歯科保健について等の交流懇話会	
			○	11月17日 14:45～ 16:30	養護教諭	中川養護教諭研究会 COとGOの理解のために、基礎から考えてみませんか	中川区学校体育センター
南	○			6月4日～	桜田中25名 桜小43名 菊住小45名 春日野小277名 総数390名	各学校より10名ずつ審査、選出し優秀作品とし、そのうち各校1名を最優秀作品として選出して、ともに歯の衛生週間期間を中心に南保健所内に展示	10回南区学校歯科保健に関する児童生徒の標語コンクール南保健所にて展示
	○			11月8日	27	南区学校歯科保健標語コンクール 南区民祭りにて標語優秀作品者を招待し、歯科医師会から表彰する	南区民祭りにて (ガイシホール)
緑	○			7月16日	会員11 校長3 養護・ 指導主事68	緑区学校歯科保健講習会 「名古屋市学校歯科医会の現在－そして子供たちの未来－」 名古屋市学校歯科医会会長 藤井義久先生	鳴海商工会館
	○			9月10日	会員8 幼・保育園 指導者27	歯科講習会 「みる」からはじまる口の発達支援」 豊橋キッズデンタルクリニック院長 中野崇先生	緑保健所
	○			3月18日	会員20	緑区学校歯科医会役員講習会 「名古屋市学校歯科医会－学校歯科医とかかりつけ医」 「歯科健康診断基準の主な変更点」 名古屋市学校歯科医会会長 藤井義久先生	木曾路 鴻仏目店
		○		6月4日	役員2校長2養護6	緑区学校振興会養護部会との打ち合わせ年間行事打ち合わせ	中学校
		○		7月16日	役員10校長3養護7	緑区養護講習会反省会 講師を囲んでの意見交換会	木曾路 鴻仏目店

名古屋市学校歯科医会への要望・提言

中区	名学歯HPで各種届出をダウンロードしようとしたが23年のしかなく、昨年の修正して作成した。
瑞穂	歯科健診結果のお知らせについて、精査検討を要望します。

平成 28 年度 各支部会員数・学校数

	会員数	学校数				
		幼稚園	小学校	中学校	高 校	特別支援学校
千 種	25	1	15	7	2	0
名 東	31	3	19	8	1	0
東	16	2	9	4	1	0
北	30	3	19	7	1	0
守 山	29	1	20	8	0	1
西	29	2	18	7	2	0
中 村	22	0	15	7	1	0
中	16	0	11	4	1	0
港	28	0	20	8	0	0
昭 和	18	1	11	5	1	0
天 白	27	1	17	7	1	1
瑞 穂	17	1	11	5	0	0
熱 田	12	0	7	4	0	1
中 川	43	4	24	11	3	1
南	26	0	18	7	1	1
緑	45	4	28	12	1	0
合 計	414	23	262	111	16	5

(緑区会員数は、私学含まず、中区は中央高(昼) 1校とする)

各 支 部 会 議

	総 会	役員会	例 会	学校保健会	委員会	その他
千 種	2	3	0	0	0	0
名 東	1	2	0	0	0	0
東	1	0	1	1	0	0
北	1	0	0	0	0	0
守 山	0	0	0	0	0	0
西	2	3	0	9	0	1
中 村	1	1	0	1	0	1
中	1	0	0	0	0	0
港	2	0	8	0	0	0
昭 和	1	2	0	2	0	0
天 白	1	2	2	0	0	0
瑞 穂	1	1	0	0	0	0
熱 田	1	2	0	0	0	0
中 川	1	4	0	1	0	0
南	2	4	0	2	0	0
緑	2	11	0	2	0	0
合 計	20	35	11	18	0	2

各 支 部 会 計

	前年度繰越金	会 費	名学歯交付金	学術助成金の助成	地区歯科医師会交付金	その他	支部規定
千 種	747,706	125,000	50,000	あり	0	20,205	○
名 東	248,295	93,000	62,000	なし	0	0	○
東	122,108	16,000	52,000	なし	0	15	○
北	1,158,877	150,000	60,000	あり	0	20,000	○
守 山	0	0	60,000	なし	0	0	×
西	3,405,693	696,000	78,000	なし	0	10,000	○
中 村	1,894,278	230,000	44,000	あり	0	131,475	○
中	430,878	80,000	34,000	あり	0	48	○
港	944,607	42,000	56,000	なし	0	105	×
昭 和	495,267	180,000	56,000	あり	0	0	×
天 白	389,266	135,000	84,000	あり	0	0	○
瑞 穂	287,056	39,000	54,000	なし	50,000	0	×
熱 田	0	0	44,000	あり	0	0	○
中 川	649,599	215,000	106,000	なし	10,000	10,000	○
南	588,502	270,000	54,000	なし	20,000	133	○
緑	304,325	286,000	110,000	あり	0	115,105	○
合 計	11,666,457	2,557,000	1,004,000		80,000	307,086	

各 支 部 事 業

	研修会・講習会等	養護教諭・保健主事等との懇談会	その他	日付	参加者数	内 容	場 所
千種	○			4月9日	25	宮原隆史先生による（学校歯科検診における不正咬合の基準の再確認）	東桜桃花林
名東							
東	○			9月13日	16名 名学歯会員含む	小中学生の歯科矯正の現状 東区歯科医師会 吉田光志先生	県歯会館
	○			11月18日	65名 三師会養護教諭	東区学校保健会研修会 子供ストレス反応への対処方について 椋山女学園人間関係学部教授 中西由里先生	県歯会館
北	○			2月15日	40	「不正咬合（M、MO）の健診ポイントと事後処置について」 名学歯理事 宮原隆史先生	名古屋市青少年交流プラザ
		○		同上	同上		同上
守山							
西	○			10月15日	23	学校保健の今日的課題 保健課指導主事 森佳世子先生	百楽
	○			3月11日	22	名古屋市学校歯科医会の今 名学歯会長 藤井義久先生	百楽
		○		11月9日	35	養護教諭に出来る事	稲生小学校
			○	1月20日	40	ノロウィルスの吐瀉物処理方法の実技指 学校薬剤師 長谷川棋子先生	なごや小学校 東校舎
中村	○			7月17日	25	講師：中村区歯科医師会理事（学術）遠藤泰明先生 演題：成長と悪習癖矯正治療の実際	笹島小学校 中学校
		○		7月17日	20	第19回中村区養護教諭との懇談会	名古屋グランドホテル(アイリス)
中							
港	○			7月4日	1	研修会費（加藤先生）30,000	
				8月31日	6	名古屋市学校歯科医会総会 祝賀慰労会費8,000円×648,000	
				12月5日	1	研修会費（加藤先生）30,000	
			○	1月17日	12	加藤先生 ご尊父供花一對 21,816	
昭和	○			6月16日	10	主題 口を閉じれば病気は防げる 講師 竹内祐介	ルブラ王山
天白	○			11月26日	15	名学歯副会長高村先生を招いて名学歯の動向について	吉野寿司（昭和区）
瑞穂	○			6月18日	13	学校健診基準の変更点および歯科衛生優良校の活動の取り組みについて	かう楽
熱田	○			3月29日	11	名学歯高村副会長講師により 「児童・生徒の現状！」のテーマで研修会実施	金山豫園
中川	○			11月29日	会員28名 養護教諭35名	中川区養護研究部・研修会 加藤尚一先生（中川区会員） 「CGの成り立ちについて」	中川区休日急病診療所会議室
		○		2月2日	会員28名 養護教諭35名	「睡眠時無呼吸症候群と学校歯科について」 平岡道郎先生（県歯地域保健部員）	中川区休日急病診療所会議室
			○	2月2日	会員28名 養護教諭35名	交流会（軽食・立食バイキング形式）	中川区休日急病診療所会議室
南	○			6月4日～	大江中30名 豊田小37名 道徳小26名	南区内中学ブロックの1ブロックの児童生徒から歯科保健に関する標語を募集。審査表彰をし、歯の衛生週間期間において、保健所に展示。歯科保健啓蒙活動を計る。参加賞並びに表彰状を贈呈する。	南保健所
	○			11月19日	12名	名古屋市重症心身障害者施設（ティンクル名古屋）設長 二村真秀先生 「新生児医療のその後障害児・者の現状」	八事、八勝館
緑	○			7月14日	会員9 校長3 養護・指導主事60	緑区学校歯科保健講習会 「名古屋市学校歯科医会－学校歯科医とかかりつけ医の連携」 名古屋市学校歯科医会副会長 伊藤裕一郎先生	鳴海商工会館
	○			12月1日	会員1 幼・保育園 指導者22	歯科講習会	緑保健所
		○		6月2日	役員2 校長3 養護7	緑区学校振興会養護部会との打ち合わせ会 年間の行事打ち合わせ	鳴海東部小学校
		○		7月14日	役員10 校長3 養護7	緑区学校歯科保健講習会反省会	木曾路 鴻仏目店
			○	12月1日	会員25名	名古屋市学校歯科医会会長藤井義久先生講演会・励ます会	鳴海商工会館 木曾路 鴻仏目店

名古屋市学校歯科医会への要望・提言

天白	選挙管理委員会を確立すべきだと思う。
名東	高村新会長のもと、新執行部のご活躍を期待しています。今期より名東区より加藤、嶋の2名の先生が新理事として入りました。不慣れではありますがご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。
千種	初めて支部長をやらせて頂きます。不慣れな点、不備な事が多いかとおもいますが、ご指導のほど宜しくお願い致します。
守山	健診時の診査基準が日学歯と統一されたようですが、その経緯を詳細に知りたい。 また、変更点を支部会員に周知するためのテキスト等がほしい。

平成 29 年度
各支部会員数・学校数

	会員数	学校数				
		幼稚園	小学校	中学校	高 校	特別支援学校
千 種	25	1	15	7	2	0
名 東	31	3	19	8	1	0
東	16	2	9	4	1	0
北	30	3	19	7	1	0
守 山	29	1	20	8	0	1
西	29	2	17	7	2	0
中 村	22	0	15	7	1	0
中	16	0	11	4	1	0
港	28	0	20	8	0	0
昭 和	18	1	11	5	1	0
天 白	27	1	17	7	1	1
瑞 穂	17	1	11	5	0	0
熱 田	12	0	7	4	0	1
中 川	43	4	24	11	3	1
南	26	0	18	7	1	1
緑	46	4	28	12	1	0
合 計	415	23	261	111	16	5

(緑区会員数は、私学含まず、中区は中央高(昼) 1校とする)

各 支 部 会 議

	総 会	役員会	例 会	学校保健会	委員会	その他
千 種	2	3	0	0	0	0
名 東	1	1	0	0	0	0
東	1	0	0	1	0	0
北	1	0	0	0	0	0
守 山	0	0	0	0	0	0
西	2	3	0	9	0	1
中 村	1	1	0	1	0	2
中	1	0	0	0	0	0
港	2	0	8	0	0	0
昭 和	1	2	0	1	0	0
天 白	1	3	1	1	0	1
瑞 穂	1	1	0	0	0	0
熱 田	1	2	0	0	0	0
中 川	1	7	0	1	0	0
南	1	2	0	1	0	0
緑	2	11	0	2	0	0
合 計	19	36	9	17	0	4

各 支 部 会 計

	前年度繰越金	会 費	名学歯交付金	学術助成金の助成	地区歯科医師会交付金	その他	支部規定
千 種	753,780	125,000	50,000	あり	0	20,093	○
名 東	290,210	93,000	62,000	なし	0	20,000	○
東	123,191	17,000	52,000	なし	0	41	○
北	1,265,339	150,000	80,000	あり	0	0	○
守 山	0	0	60,000	なし	0	0	×
西	3,499,854	672,000	72,000	なし	0	40,213	○
中 村	1,876,015	230,000	64,000	あり	0	94,460	○
中	511,681	80,000	54,000	あり	0	55	○
港	894,992	42,000	56,000	なし	0	8	×
昭 和	495,267	180,000	56,000	あり	0	0	×
天 白	357,567	135,000	74,000	あり	0	42,018	○
瑞 穂	250,088	48,000	54,000	あり	50,000	0	×
熱 田	0	0	44,000	あり	0	0	○
中 川	878,581	215,000	106,000	あり	0	10,000	○
南	532,347	270,000	54,000	なし	20,000	0	○
緑	54,897	294,000	90,000	あり	0	74,040	○
合 計	11,783,809	2,551,000	1,028,000		70,000	300,928	

各 支 部 事 業

	研修会・講習会等	養護教諭・保健主事等との懇談会	その他	日付	参加者数	内 容	場 所
千種	○			1月18日	17	第一回学校歯科医・養護教諭連絡協議会 デンタルフロスの有用性について 大久保 肇先生	東桜桃花林
名東	○			3月15日	52	近年の学校歯科保健について、特に学校歯科医でない「かかりつけ歯科医」との連携について高村秀平会長にご講演頂きました。また、講演終了後、上月にて懇親会開催。	県歯403号室
東	○			1月25日	16名 名学歯会員含む	120運動の現状 120運動 常務理事 池 昌男先生	県歯会館
北	○			2月28日	40	「特別健診事業について」名学歯常務理事 大久保 肇先生	名古屋市青少年交流プラザ
		○		同上	同上	同上	同上
守山							
西	○			10月28日	23	学校歯科の歩み 西学歯会員 加藤直彦先生	ナゴヤキャッスルH
	○			3月17日	22	予防歯科と健康寿命 名歯付属歯科衛生士専門学校 副校長 田村清美先生	百楽
		○		10月17日	35		山田小学校
			○	1月19日	40	今日的な健康課題 学校保健の対応 名古屋市学校保健課 指導主事 森佳世子先生	西区休日急病センター
中村	○			7月13日	25	講師：名古屋市学校歯科医会理事 高橋紘史先生 演題：歯並びや顎の発達によくない悪習癖について	牧野小学校
		○		7月13日	20	第20回中村区養護教諭との懇親会	名古屋グランドホテル(アイリス)
中	○			3月10日	15名	学校歯科健康診断基準の主な変更点講師 大久保 肇先生	中事務所
港	○			7月27日	6	名古屋市学校歯科医会総会 祝賀慰労会会費 8,000円×6=48,000円	国際ホテル
				6月15日	6	役員会 4,674	
	○			10月1日	1	研修会費(多畑先生) 30,000円	サガミ
				3月7日	6	役員会 5,907	
			○	5月11日		矢澤先生 供花一对16,200円	
		○	3月7日		お花代 3,000円		
昭和	○			5月25日		主題 口腔の形態と機能の調和を目指して 講師 藤木辰哉	ルブラ王山
天白	○			12月2日	20	主題：「学校歯科健診基準の変更点及び留意点」 講師：名学歯副会長 竹内紀夫先生	吉野寿司(昭和区)
			○	8月5日	15	役員会：顧問、監事、代議員を含めての顔合わせ	夢の蔵
			○	3月3日	4	理事会：総会、監事会に向けての打ち合わせ	若まつ
			○	3月15日	4	監事会：総会に向けての打ち合わせ	若まつ
瑞穂	○			6月23日	16	学校歯科保健の現状と展開 講師：高村秀平会長	かう楽
熱田	○			11月15日	30	「学校歯科保健等について研修会」講師 名学歯 高村会長	熱田区歯科医師会例会
				1月26日	38	熱田区学校歯科医・保健主事・養護教諭合同研修会「実施基調講演澤田育子氏「障害がある児童生徒の歯科健診より」フォーラム形式で質疑応答・意見交換等で実施	白鳥小学校
		○		1月26日		上記研修会に併せて実施	白鳥小学校
中川	○			2月1日	会員21名 養護教諭33名 その他2名	中川区学校歯科医会と中川区養護教諭の連携を図る会	中川区休日急病診療所会議室
		○		2月1日	会員21名 養護教諭33名 その他2名	養護教諭との交流会	中川区休日急病診療所会議室
南	○			6月4日～	大江中ブロックの児童生徒参加総数93名 参加総数93名	南区学校歯科保健に関する児童生徒の標語コンクール各学校より10名ずつ選出し、優秀賞として、むし歯予防週間に機に、南保健所に展示、学校歯科保健の啓蒙を促す。審査表彰をし、歯の衛生週間期間において、保健所に展示。歯科保健啓蒙活動を計る。参加賞並びに表彰状を贈呈する。	南保健所
緑	○			7月13日	会員9 校長3 養護・指導主事60	緑区学校歯科保健講習会 「学童期の歯並びについて-かみ合わせへの対応-」 愛知学院大学歯学部小児歯科学講座障害者歯科 特殊診療科教授 名和弘幸先生	鳴海商工会館
	○			9月7日	会員9 幼・保育園指導者20	歯科講習会 永久歯に生え変わる前に注意したいこと やまだ矯正歯科院長 山田晃弘先生	緑保健所
		○		6月2日	役員2 校長3 養護7	緑区学校振興会養護部会との打ち合わせ 年間の行事打ち合わせ	滝の水中学校
		○		7月13日	役員10 校長3 養護7	緑区学校歯科保健講習会反省会 講師を囲んでの意見交換会	木曾路 鴻仏目店

名古屋市学校歯科医会への要望・提言

守山	健診時の診査基準が日学歯と統一されたようですが、その経緯を詳細に知りたい。 また、変更点を支部会員に周知するためのテキスト等がほしい。
----	--

平成 30 年度 各支部会員数・学校数

	会員数	学校数				
		幼稚園	小学校	中学校	高 校	特別支援学校
千 種	25	1	15	7	2	0
名 東	31	3	19	8	1	0
東	16	2	9	4	1	0
北	30	3	19	7	1	0
守 山	29	1	20	8	0	1
西	28	2	17	7	2	0
中 村	22	0	15	7	1	0
中	16	0	11	4	1	0
港	28	0	20	8	0	0
昭 和	18	1	11	5	1	0
天 白	27	1	17	7	1	1
瑞 穂	17	1	11	5	0	0
熱 田	12	0	7	4	0	1
中 川	43	4	24	11	3	1
南	26	0	18	7	1	1
緑	46	4	28	12	1	0
合 計	414	23	261	111	16	5

(緑区会員数は、私学含まず、中区は中央高(昼) 1校とする)

各 支 部 会 議

	総 会	役員会	例 会	学校保健会	委員会	その他
千 種	2	2	0	0	0	0
名 東	1	1	0	0	0	0
東	1	0	0	1	0	0
北	1	0	0	0	0	0
守 山	0	0	0	0	0	0
西	2	3	0	3	0	0
中 村	1	1	0	1	0	1
中	1	0	0	0	0	0
港	2	0	8	0	0	0
昭 和	1	1	0	2	0	0
天 白	1	3	1	2	0	0
瑞 穂	1	1	0	0	0	0
熱 田	1	1	0	0	0	0
中 川	1	2	0	2	0	1
南	2	2	0	2	0	0
緑	2	11	0	2	0	0
合 計	20	28	9	15	0	2

各 支 部 会 計

	前年度繰越金	会 費	名学歯交付金	学術助成金の助成	地区歯科医師会交付金	その他	支部規定
千 種	854,570	125,000	20,000	あり	0	50,191	○
名 東	290,210	93,000	62,000	なし	0	20,000	○
東	121,159	16,000	52,000	なし	0	41	○
北	1,263,908	150,000	80,000	あり	0	0	○
守 山	0	0	60,000	なし	0	0	×
西	2,921,407	67,200	76,000	あり	0	167	○
中 村	1,884,244	230,000	44,000	あり	0	94,460	○
中	620,191	80,000	54,000	あり	0	141	○
港	932,252	42,000	56,000	なし	0	8	×
昭 和	636,952	180,000	56,000	あり	0	0	×
天 白	322,014	135,000	74,000	あり	0	10,023	○
瑞 穂	228,772	42,000	34,000	あり	50,000	66,000	×
熱 田	0	0	44,000	あり	0	0	○
中 川	1,044,571	215,000	106,000	あり	0	10,000	○
南	691,264	270,000	54,000	なし	20,000	0	○
緑	73,260	292,000	90,000	あり	0	115,105	○
合 計	11,884,774	1,937,200	962,000		70,000	366,136	

各 支 部 事 業

	研修会・講習会等	養護教諭・保健主事等との懇談会	その他	日付	参加者数	内 容	場 所
千種	○			8月2日	15	子供の口腔機能発達支援と歯科疾患 中野 崇先生	名古屋国際ホテル
	○			2月14日	20	学校歯科医の先生から小学校から中学校をみとうした歯科指導の在り方について。竹内紀雄名誉学術副会長	内山コミュニティーセンター
		○		2月14日	20	講習会後各学校において懇談。	内山コミュニティーセンター
名東							
東	○			2月16日	16名 名学歯会員含む	学校における歯科保健事業の取り組み 貧困から見えてくるお口の中の考察 熱田区保健予防課長 柏木雅宣先生	県歯会館
北	○			3月6日	38	「学校歯科健診基準の変更点について」 名学歯理事 飯田久之先生	北生涯学習センター
		○		同上	同上	同上	同上
守山							
西	○			10月13日	23	臨時総会・研修会なないろ矯正歯科 小島 理院長 「歯並び歯科検診の時には」	百楽
	○			3月16日	25	定時総会・研修会名古屋市学校歯科医会 伊藤裕一郎副会長 「学校歯科に関するトピックス等」	百楽
		○		11月16日		西区養護教諭保健主事合同部会なごや小学校 声刈司郎学校歯科医 「児童生徒の歯並び 歯科検診の時」	西区医師会館
			○	11月11日		西区学校三師会総会研修会名古屋市薬剤師会 山口一丸先生 「危険薬物の現状」	ナゴヤキャッスルホテル
中村	○			11月29日	25	講師：名古屋市学校歯科医会会長 高村秀平先生 演題：「目指そう！歯科衛生優良校！」	笹島中学校
		○		11月29日	21	第21回中村区養護教諭との懇談会	名古屋グランドホテル(アイリス)
中	○			3月13日	15	矯正治療の開始時期と方法について 講師 谷田耕造先生	比翼
港	○			8月2日	6	名古屋市学校歯科医会総会祝賀慰労会会費 8,000円×5=40,000円	国際ホテル
	○			10月1日 2月20日	1 6	研修会費(多畑先生) 30,000円 役員会 7,753円	サガミ
			○	3月27日		日学歯会長賞受賞式典参加(辻先生) 渡航費 30,000円	日歯会館
昭和	○			5月24日	17	支部総会 111,690円 学術講演会 演題「小学校における防煙教室での禁煙講話について」 講師 服部哲雄先生(支部長) 講師謝礼 0円	ルブラ王山
	○			8月2日	4	名古屋市学校歯科医会総会祝賀慰労会会費 8,000円×4=32,000円	名古屋国際ホテル
			○	3月1日	6	臨時役員会 11,790円	若松
天白	○			12月1日	不 明		吉野寿司(昭和区)
瑞穂	○			6月22日	16	高村秀平会長学校におけるICT環境整備について、就学時歯科健康診断の変更について	かう楽
熱田	○			3月26日	11	名学歯高村会長講師により「学校歯科保健の現状と未来」のテーマで研修会の実施	金山「かのや」
中川	○			2月7日	70名 名南中ブロックの児童生徒参加 総数30名	熱田区予防課長柏木雅則先生 ①学校歯科における歯科保健事業の取り組み ②貧困から見えてくるお口の中の考察 南区学校歯科保健に関する児童生徒の標語コンクール 各学校より10名ずつ選出し、優秀賞として、むし歯予防週間を機に、南保健所に展示、学校歯科保健の啓蒙を促す。 各学校より10名ずつ選出し、優秀賞として、むし歯予防週間を機に、南保健所に展示、学校歯科保健の啓蒙を促す。	中川区休日急病診療所
緑	○			6月28日	会員 10 校長 3 養護・指導主事 60	緑区学校歯科保健講習会 「背筋は伸ばすな-姿勢のメカニズムとその治し方-」 山下久明先生	鳴海商工会館
	○			8月30日	会員 9 幼・保育園 44名	歯科講習会 「子供の口腔外傷について」 大垣女子短期大学歯科衛生学科教授 村田直彦先生	緑保健所
		○		5月31日	役員1校長3 養護7	緑区学校振興会養護部会との打ち合わせ会 年間の行事打ち合わせ	常安小学校
		○		6月28日	役員8校長3 養護7	緑区学校歯科保健講習会反省会講師を囲んでの意見交換会	木曾路 鴻仏目店

名古屋市学校歯科医会への要望・提言

守山	健診時の診査基準が日学歯と統一されたようですが、その経緯を詳細に知りたい。 また、変更点を支部会員に周知するためのテキスト等がほしい。
----	--

令和元年度 各支部会員数・学校数

	会員数	学校数				
		幼稚園	小学校	中学校	高校	特別支援学校
千種	25	1	15	7	2	0
名東	31	3	19	8	1	0
東	16	2	9	4	1	0
北	30	3	19	7	1	0
守山	29	1	20	8	0	1
西	28	2	17	7	2	0
中村	22	0	15	7	1	0
中	16	0	11	4	1	0
港	28	0	20	8	0	0
昭和	18	1	11	5	1	0
天白	27	1	17	7	1	1
瑞穂	17	1	11	5	0	0
熱田	12	0	7	4	0	1
中川	43	4	24	11	3	1
南	26	0	18	7	1	1
緑	46	4	28	12	1	0
合計	414	23	261	111	16	5

(緑区会員数は、私学含まず、中区は中央高(昼)1校とする)

各支部会議

	総会	役員会	例会	学校保健会	委員会	その他
千種	0	3	0	0	0	0
名東	1	3	0	0	0	0
東	1	1	0	1	0	0
北	0	1	0	0	0	0
守山	0	0	0	0	0	0
西	1	3	0	4	0	1
中村	1	1	0	1	0	1
中	1	0	0	0	0	0
港	1	1	8	0	0	0
昭和	1	適宜	0	1	0	0
天白	1	2	0	1	0	0
瑞穂	1	1	0	0	0	0
熱田	0	3	0	0	0	0
中川	1	2	0	1	0	1
南	1	1	0	0	1	0
緑	2	11	0	2	0	0
合計	13	33	8	11	1	3

各支部会計

	前年度繰越金	会費	名学歯交付金	学術助成金の助成	地区歯科医師会交付金	その他	支部規定
千種	747,324	125,000	50,000	あり	0	0	○
名東	310,344	93,000	82,000	あり	0	0	○
東	121,159	16,000	52,000	あり	0	30	○
北	1,343,908	150,000	60,000	なし	0	0	○
守山	0	0	60,000	なし	0	0	×
西	2,873,803	672,000	76,000	あり	0	5,221	○
中村	1,934,325	230,000	44,000	あり	0	117,469	○
中					0		○
港	922,146	42,000	56,000	なし	0	7	×
昭和	712,472	180,000	56,000	あり	0	0	×
天白	265,855	135,000	74,000	あり	0	30,033	○
瑞穂	228,772	42,000	34,000	あり	50,000	66,000	○
熱田	0	0	44,000	あり	0	0	○
中川	1,255,571	215,000	106,000	なし	0	10,000	○
南	672,680	270,000	54,000	なし	20,000	196	○
緑	120,978	312,000	110,000	あり	0	107,061	○
合計	11,509,337	2,482,000	958,000		70,000	336,017	

各 支 部 事 業

	研修会・講習会等	養護教諭・保健主事等との懇談会	その他	日付	参加者数	内 容	場 所
千種	○			8月1日	20	大阪市における幼稚園～高校までの経年的な学校歯科保健について。大阪市学校歯科医会会長 岡本卓志先生	名古屋国際ホテル
	○			1月23日	31	矯正歯科医からみた日頃の歯科検診における受診を勧める基準について。千種区学校歯科医会副会長 三輪英幸先生	自由が丘小学校
			○	9月11日	1	保険優良行審査会	内山小学校
名東							
東	○			2月15日	11名 名学歯会員含む	幼稚園・保育園から始まる名古屋市のフッ化物洗口 守山区保健福祉センター 柏木雅宣先生	県歯会館
北	○			2月12日	38	「学校における歯科外傷について」名学歯理事 飯田久之先生	名古屋市青少年交流プラザ
		○		同上	同上	同上	同上
			○	9月20日	1	優良校審査会	川中小学校
守山							
西	○			10月9日	20	西区学校歯科医会臨時総会・研修会 妊婦さん子供さんの歯科治療 おのぎこどもファミリー歯科 佐藤久仁子先生	百楽
		○		11月29日	56	区保健主事・養護教諭研修会	西区医師会館
			○	9月18日	12	西区学校保健優良校 審査会	天神山中
			○	11月7日	7	西区学校三師会役員会	とりこころ
			○	11月17日	30	西区学校三師会総会研修会 最近の学校における教育的配慮について 名古屋市教育委員会学校保健課指導主事 林三奈先生	ホテルナゴヤキャッスル
			○	1月17日		西区学校保健会研修会 子ども教育相談 [ハートフレンドなごや] の相談 名古屋市教育センター教育相談研究室 安藤光代先生	西区医師会館
中村	○			12月5日	25	講師：名古屋市学校歯科医会副会長 竹内紀雄先生 演題：学校におけるフッ化物塗布について	笹島中学校
		○		12月5日	21	第22回中村区養護教諭との懇談会	ヒルトン名古屋王朝
中							
港	○			8月1日	6	名古屋市学校歯科医会総会 祝賀慰労会会費 8,000円×7=56,000円	国際ホテル
	○			3月8日	2	優良校選定 2,717円	サガミ
			○			文具 3,780円 手数料 432円	
昭和	○			5月30日	17	支部総会・学術講演会 演題：「実は寝相で決まる歯並び～健康の基本は仰向け寝から」 講師：福岡雅先生（日進市開業）	ルブラ王山
天白	○			8月1日	7	名学歯総会、研修会及び祝賀慰労会	国際ホテル
	○			11月30日	22	名古屋市学校歯科医会 企画について 講師：名学歯企画常務理事 勝瀬佐和子先生	吉野寿司
瑞穂	○			6月22日	16	高村秀平会長 学校におけるICT環境整備について、就学時 歯科健康診断の変更について	かう楽
熱田	○			12月10日	38	「熱田区学校歯科医・保健主事・養護教諭合同研修会」実施 基調講演 酒井文雄氏「DMFTの変遷と120・特別健診・その他」 フォーラム形式で質疑応答・意見交換等で実施	南養護学校
中川	○			2月6日	55	養護教諭 学校歯科医 中川区歯科医師会会員によるプラネタ リウム鑑賞会	名古屋市科学館
南	○			8月2日	10	大阪市学校歯科医会会長岡本卓士先生「大阪市における幼稚園～ 高校までの経年的な学校歯科保健について」	名古屋国際ホテル
		○		7月9日		南区養護教諭会（就学時健診について）	宝小学校
			○	6月3日		第14回学校歯科保健に関する児童、生徒の標語コンクール（令和元年度対象校：南光中、大生小、宝小、宝南小）参加応募作品449点 応募者すべてに参加賞を贈り、最優秀、優秀作品には賞状及び副賞（図書券）を贈呈した。	南保健センター
緑	○			7月11日	会員10 校長3 養護・指導主事	緑区学校歯科保健講習会 演題：「無くて七癖」・・・生活習慣について 講師：愛知県私立学校歯科医会副会長 高柳歯科クリニック院長 高柳幸司 先生	鳴海商工会館
	○			10月10日	会員4 幼・保育園 計31名	歯科講習会 演題：「食べられるお口を育むために」 講師：今泉歯科院長 今泉三枝先生	緑保健所
		○		5月30日	役員2校長3 養護7	緑区学校振興会養護部会との打ち合わせ 年間の行事打ち合わせ	浦里小学校
		○		7月11日	役員9校長3 養護6	緑区学校歯科保健講習会反省会 講師を囲んでの意見交換会	木曾路 鴻仏日店

名古屋市学校歯科医会への要望・提言

南区	1) 新型コロナウイルスをはじめとして各種感染の防止のため、学校歯科健康診断実施時に学校歯科医が使用するディスプレイの各学校への必要数の配布を教育委員会へ要望させていただきます。 2) 学校歯科保健の向上には小・中学校における給食後の歯みがきの実施も大切と考えられます。名古屋市教育委員会へ給食後の歯みがきの実施校が増加するよう要望いただければ幸いです。
守山区	健診時の診査基準が日学歯と統一されたようですが、その経緯を詳細に知りたい。 また、変更点を支部会員に周知するためのテキスト等がほしい。

令和 2 年度 各支部会員数・学校数

	会員数	学校数				
		幼稚園	小学校	中学校	高 校	特別支援学校
千 種	25	1	15	7	2	0
名 東	31	3	19	8	1	0
東	16	2	9	4	1	0
北	30	3	19	7	1	0
守 山	29	1	20	8	0	1
西	28	2	17	7	2	0
中 村	22	0	15	7	1	0
中	16	0	11	4	2	0
港	28	0	20	8	0	0
昭 和	18	1	11	5	1	0
天 白	27	1	17	7	1	1
瑞 穂	17	1	11	5	0	0
熱 田	12	0	7	4	0	1
中 川	43	4	24	11	3	1
南	26	0	18	7	1	1
緑	46	4	28	12	1	0
合 計	414	23	261	111	17	5

(緑区会員数は、私学含まず、中区は中央高(昼) 1校とする)

各 支 部 会 議

	総 会	役員会	例 会	学校保健会	委員会	その他
千 種	0	1	0	0	0	0
名 東	0	3	0	0	0	0
東	0	1	0	0	0	0
北	0	1	0	0	0	0
守 山	0	0	0	0	0	0
西	1	1	0	1	0	1
中 村	1	1	0	1	0	0
中	1	0	0	0	0	0
港	2	1	2	0	0	0
昭 和	1	適宜	適宜	0	1	0
天 白	2	3	0	0	0	0
瑞 穂	0	1	0	0	0	0
熱 田	0	3	0	0	0	0
中 川	1	2	0	0	0	0
南	2	2	0	0	0	2
緑	2	11	0	1	0	0
合 計	13	31	2	3	1	3

各 支 部 会 計

	前年度繰越金	会 費	名学歯交付金	学術助成金の助成	地区歯科医師会交付金	その他	支部規定
千 種	824,964	125,000	50,000	なし	0	0	○
名 東	326,282	93,000	62,000	なし	0	0	○
東	131,203	16,000	32,000	なし	0	17	○
北	1,401,906	150,000	60,000	なし	0	0	○
守 山	0	0	60,000	なし	0	0	×
西	3,067,615	0	56,000	なし	0	0	○
中 村	1,828,406	230,000	44,000	なし	0	117,469	○
中	666,099		34,000	なし	0	78	○
港	927,224	0	56,000	なし	0	8	×
昭 和	688,809	180,000	56,000	あり	0	0	×
天 白	171,877	135,000	54,000	なし	0	35	○
瑞 穂	168,875	0	34,000	なし	0	0	○
熱 田	0	0	24,000	なし	0	0	○
中 川	1,373,829	0	86,000	あり	0	320	○
南	830,590	0	74,000	あり	20,000	218	○
緑	0	314,000	90,000	なし	0	95	○
合 計	12,407,679	1,243,000	872,000		20,000	118,240	

各 支 部 事 業

	研修会・講習会等	養護教諭・保健主事等との懇談会	その他	日付	参加者数	内 容	場 所
千種							
名東							
東	○			1月28日	全員	学校保健活動におけるフッ化物の応用と学校歯科医の規範 講師：竹内 紀雄 先生 コロナ感染拡大の為、書面開催に変更	県歯会館
北	○	○				コロナ禍にて中止	
守山							
西							
中村							
中							
港							
昭和	○			7月5日	16	支部総会 予算決算報告 学術講演会 講師 宮原隆史先生 (名学歯学術部員) 学校歯科健診基準の変更点及び留意点	吹上コミュニティーセンター
天白							
瑞穂							
熱田							
中川	○			2月6日	26	養護教諭とのプラネタリウム鑑賞会	名古屋市科学館
南	○			3月11日	15	「これからの学校歯科保健と学校歯科健康診断の際の注意点」 名古屋市学校歯科医会 会長 高村秀平先生	笠寺ホテルWeb開催
緑	○	○			役員1名	電話による打ち合わせ	
					養護1名	年間行事打ち合わせ	

名古屋市学校歯科医会への要望・提言

北区	今回のコロナ禍の特例ように、学校健診の期日が当年度中に延長すること等、計画事業に影響があることは、決まり次第周知をして欲しい。
南区	1) 新型コロナウイルスをはじめとして各種感染の防止のため、学校歯科健康診断実施時に学校歯科医が使用するディスポグローブの各学校への必要数の配布を教育委員会へ要望お願いいたします。 2) 学校歯科保健の向上には小・中学校における給食後の歯みがきの実施も大切と考えられます。コロナ禍が沈静化後、名古屋市教育委員会へ給食後の歯みがきの実施校が増加するよう要望いただければ幸いです。

名古屋市学校歯科医会 90年のあゆみ

資 料

90年のあゆみ

叙勲・表彰

特別優良校

役 員

業 績



名古屋市学校歯科医会 90年の歩み

年表

- 1922 小学校嘱託歯科医の設置を陳情
(T11) 愛知県歯科医会から名古屋市長へ
- 1924 小学校口腔衛生医の設置
(T13) 名古屋市議会で可決
1校1名を原則として68名を委嘱
年手当 1校につき 11円
活動の状況
歯の検査 86校 87,819人
口腔衛生講演会 小学校27校
講師 風間又四郎 岡本清櫻 他
- 1926 専任の口腔衛生医を嘱託
(T15) 1人1校制の小学校口腔衛生医を廃止
専任者2名を委嘱 年手当 2千円
- 1931 第1回全国学校歯科医大会(東京)
(S 6) 学校歯科医令及幼稚園歯科医令公布
- 1932 名古屋市立小中学校に
(S 7) 学校歯科医を嘱託 119人
年手当 児童数千人未満 25円
二千人未満 30円
二千人以上 40円
名古屋市学校歯科医会の創立
会員数 119人 年会費 3円
代表者 長屋弘・山田史郎
活動の概況
小中学校口腔診査・校内歯科治療
小1・6学年、中2学年 39,346人
咀嚼訓練、歯ブラシ教練の実施
映画会、講演会の開催
衛生博覧会に協賛
- 1933 第1回よい歯の会(会長 名古屋市長)
(S 8) 歯牙優良児童の表彰
3月21日 名古屋市公会堂
主催者 名古屋市
名古屋市学校歯科医会
愛知県歯科医師会
名古屋市支部
- 1934 第4回全国学校歯科医大会(名古屋)
(S 9) 報告 名古屋市学校歯科10年の足跡
名古屋市吏員 三井正治

明治から大正時代のころ

日本で初めて学童の歯の検査が行われたのは、直邨善五郎による三重県の4小学校、明治24年のことである。明治31年には学校歯科医の設置について日本歯科医会が建議を行っている。この頃の公衆歯科衛生活動に伴い小学校でも歯の検査や治療が行われるようになってきた。大正13年度の文部省調査では、歯科医が治療に携わっている学校数が161校にもおよんでいることが分った。名古屋市においてもこのような動向が見られ、大正11年には学校歯科医の嘱託制について歯科医師会が名古屋市に陳情を行った。2年後にはこれが認められて「小学校口腔衛生医」の設置が定められた。さっそく組織的な活動が開始されたが残念なことに2年後にはこの制度を廃止し、新しく2名の小学校専任口腔衛生医が委嘱された。そして数年後学校歯科医令が公布された。

学校歯科医会の創立

勅令公布の翌年、学校歯科医が小中学校、幼稚園に配置された。これに伴って、9月には名古屋市学校歯科医会が創立された。初代会長の長屋弘は昭和49年まで会長職を務めた。実に42年の長期におよんだ。会創立後の活動は学校検診、校内治療、その他の事業が大変意欲的に進められた。とくに校内治療、すなわち学校に歯科医療設備を配置して予防的歯科治療を行う方法が積極的に進められた。この方法は戦後も永い間継続され、昭和40年ごろから中止の方向に進んだ。昭和8年度の校内治療の実績は下記の通りである。

乳歯抜歯	8,651	第1大臼歯の充填	341
歯垢除去	2,136	〃 予防処置	649
歯石除去	348	応急処置等	231

第4回全国学校歯科医大会が名古屋市で開催された折、当市の学校歯科活動の様子が詳細に報告された。この頃の年表資料の多くはこれによる。ようやく活発になってきた学校歯科も大戦の激化に伴って衰退し、昭和18年の第13回全国大会以後は休止の状態となった。この大会時、学校歯科医令公布10周年記念として行った名古屋市における六歳臼歯の調査による論文が賞を得た。

- 1941 学童の六歳臼歯に関する調査
(S16) 昭和14・16年の2回 8,048人
- 1943 第13回全国学校歯科医大会（東京）
(S18) 報告 学校歯科医令公布10周年記念
学童の六歳臼歯に関する統計的考察
名古屋市学校歯科医会研究部
名古屋市技師（歯医） 藤正樸夫
- 1946 日本学校衛生会の設立
(S21) 連合学校歯科医会は歯科医学部会
- 1950 第14回全国学校歯科医大会（名古屋）
(S25) 報告 小中学校における歯科衛生
知識テスト（762人）河合豊 沢田郁夫
- 1953 第1回名古屋市学童歯磨訓練大会
(S28) 歯をまもるよい子の会
第4回6大都市学校保健協議会
- 1954 日本学校歯科医会の設立
(S29) （会長 向井喜男）
名古屋市学校歯科医会は
加盟団体となる。
- 1955 う歯半減運動の発起
(S30) 第19回全国学校歯科医大会（東京）
- 1958 学校保健法公布
(S33) 学校歯科医の必置制
- 1961 第1回名古屋市学校歯科衛生優良校表彰
(S36) 被表彰校 東白壁・幅下・老松・汐路
歯周疾患の調査（S39・会役員）
- 1967 第31回全国学校歯科医大会（名古屋）
(S42) 11月11・12日 愛知県文化会館
報告 名古屋市学童の不正咬合
（歯の検査票より見た不正咬合について）
河合 豊
集団歯科検診用器具の使用 沢田郁夫
大会年前後の活動
集団フッ素塗布の実施の試み（S41）
橘小学校
校外歯科治療・治療勧告の試行（〃）
高見小学校、菊住小学校
歯垢染め出しによる指導の試行（〃）
名城小学校
染め出しによる学級指導試行（S43）

大戦終結のあと

戦後の比較的はやい時期、昭和21年には日本学校衛生会が設立された。戦前の帝国学校衛生会、日本連合学校歯科医会による連合学校衛生会を解消して創立されたもので学校保健会の前身となる。学校歯科医会はこの部会として統合された。

昭和25年に名古屋市で全国学校衛生大会が開催された折の学校歯科医部会を第14回全国学校歯科医大会として前大会を継続するものとした。全国学校歯科医大会を復活させたわけである。今大会には名古屋からも報告をするなど活動の気運の高まりを見せはじめた。学童歯磨大会の再開は28年を第1回として継続されている。日本連合学校歯科医会はこれら全国的な気運に乗って日本学校歯科医会に改組した。昭和30年大会では「学童う歯半減運動」を起し今日の運動に継続されている。これに伴う表彰事業が全日本よい歯の学校表彰で、昭和35年第1回の表彰では188校が表彰された。この間における学校保健法の施行は、これからの学校保健の推進に大きな支えとなった。

名古屋市における活動は全国的な動向に沿って展開されてきたものと思うが、この頃の資料を求めえず将来の補充を望む。う歯半減運動を踏えた活動として、歯をまもるよい子の会、歯磨訓練大会に表彰事業を加えた催しを毎年の口腔衛生週間の時期に実施することにした。

近代の活動 その1

昭和36年には国民皆保険制度、その他歯科医療周辺の社会事情の変化は、永い間の学校内の歯科治療など従来の学校歯科保健の方法に変動を与えることになった。学校保健法に定められた健康診断事後措置などのこともあって校内歯科治療は地域医療への勧告に切り代えられる方向が強まった。名古屋市における学校歯科活動も、これら状況のなかで急速な転換をせまられることになり昭和42年、名古屋市で開催された全国学校歯科医大会は名古屋市での活動に拍車をかけることになった。昭和41年以後数年間の活動は年表に見るごとく極めて多様で先進的である。大会後には調査企画部を設置し組織の実務面の強化を図り変動の時代に対応することになった。年表に見る活動中、学校歯科セミナー要項の発刊は引き続いて継続されているが、これによって児童生徒の永久歯う蝕の動態が把握されるようになった。また染め出しによる歯口清掃の試行は、後年の学級指導の実施

- 千成小学校 六鹿養護教諭他
う蝕予防填塞の試行 (S44)
西山小学校 歯科校医 松岡昭二
フッ素洗口の試行 (S45)
幅下小学校 歯科校医 芦刈三郎
健康相談・母親教室の試行 (ク)
名北小学校 歯科校医 花木芳雅
- 1968 学校歯科医制定45周年記念式典
(S43) 学校歯科セミナー要項創刊
調査企画部設置 昭和46年廃止
- 1973 六歳臼歯の調査
(S48) 萌出とう蝕の状態
小学校 174校 108,455人
中学校 71校 9,061人
- 1974 愛知県・名古屋市に陳情
(S49) 保健所に歯科衛生士の配置を求む
名古屋市学校歯科医会 長屋弘
- 1976 染め出しによる歯みがき指導
(S51) 学級指導として実施 全市5カ年計画
位相差顕微鏡の導入
- 1978 小学校・歯の保健指導の手引 文部省
(S53) むし歯予防推進指定校 〃
第1回指定校 野立小学校
第29回十大都市学校保健協議会
前日学校歯科協議会 (名古屋)
- 1980 学校歯科保健指導車の配車
(S55) 文部省・愛知県・愛知県歯科医師会
- 1982 第4次う蝕半減運動の終結
(S57) 全日本よい歯の学校表彰を中止
- 1983 第5次むし歯半減運動
(S58) 新・全日本よい歯の学校表彰
第1回被表彰校 八事小学校
- 1987 会機構制度の改革
(S62) 理事・代議員会制度の確立
- 1988 愛知県歯科医会に学校歯科部創設
(S63) 第6次むし歯半減運動 (S63~H4)
要観察歯 (CO)
歯周疾患要観察者 (GO) の導入
学校歯科特別健診事業の開始

への予備行動として役立った。ことに学校内での
歯科治療を中止し、指導に重点を置いた方法は、
学校保健における管理と指導のあり方を検討する
機会となり、調和を求める方向に転じたことは周
知のとおりである。

6歳臼歯の保護をう蝕対策の一環とするために
調査を行った。早くからの予防処置を必要とする
事をこの調査から理解してもらいたい。衛生行政
への陳情は児童以前の年齢期の対応を充足してう
蝕対策に役立てるための行動である。保健所での
母子歯科保健に専門家の導入を促したわけであ
る。

近代の活動 その2

昭和50年ごろからの動向に見られる幾つかの特
長は、学校保健の教育志向、う蝕半減運動の終演
といえよう。文部省は教師向け歯科保健指導書「小
学校・歯の保健指導の手引」を発刊し、この推進
を図るために指定校を設けた。何れも学級指導の
志向を考慮してのものである。

名古屋市における指定校実績は下掲のとおりで
なお継続している。

	指定時間	指定校	学校歯医
第1次	1978-1979	野立小学校	藤井宏次
第2次	1980-1981	八事小学校	坂井 剛
第3次	1982-1984	東丘小学校	大竹二郎
第4次	1985-1987	大磯小学校	橋本雅吉
第5次	1988-1990	名北小学校	花木芳雅
第6次	1991-1992	葵 小学校	山田峰男

昭和30年からの学校歯科保健は、う蝕半減運動
と学校表彰によって普及が図られた。その発起か
ら20余年、この運動も役割を果し次の目標が求め
られるようになった。昭和57年の終演時期におけ
る名古屋市の実績は下記の通りである。

校 別	処置歯率(%)	半減校率(%)	校 数	検査人数
小学校	69.3	96.7	246	198,133
中学校	72.6	96.9	98	89,377

新むし歯半減運動に伴い、う蝕・歯周疾患等の
調整を図りCOおよびGOの導入を進めた。歯肉
炎の検出と保健指導は特別健診事業として普及化
への模索を行っている。

1989 第40回十一大都市学校保健協議会(名古屋)
(H元) 前日学校歯科保健協議会(9月27日)
学校歯科保健にかかわる講習会(日学歯
主催ブロック別学校歯科医の講習・
名古屋市・7月8・9日)

1991 学校歯科医制度60周年・(社)日本学校
(H3) 歯科医会設立20周年記念式典
(日学歯・6月20日) 当会の会員被表彰者
文部大臣表彰 3名 会長表彰 18名
愛知県学校歯科医講習会(6月21日)
井上裕文部大臣講演

1992 小学校/歯の保健指導の手引改訂
(H4)

1993 新任学校歯科医講習会
(H5) (名古屋市教育会館 4月16日)
第41回歯をまもるよい子の会
(名古屋市公会堂 6月5日)
第32回歯科衛生優良校表彰式
(名古屋市公会堂 6月5日)
研修会(クレール 7月1日)
学校歯科医研修会(県歯会館 7月22日)
名古屋市教育委員会表彰式
(名古屋市教育センター 11月3日)
第43回全国学校保健研究大会
(大分市 11月11日)
第57回全国学校歯科保健研究大会
(大宮市 12月2日)

1993(平成5) この年は新任学校歯科医講習会(4/16)が開かれ、田熊会長、藤井副会長はじめ各担当理事により名学歯事業についての講習が行われた。25名出席した。名古屋市長選の打ち上げ式が行われた(4/24)。恒例の歯をまもるよい子の会(第41回)が名古屋市公会堂で開かれ、優良校表彰(23校)の他特別優良校として内山小、東丘小の2校が表彰された。

7月には研修会がクレールで開かれ、葵小の山田峰男学校歯科医による文部省むし歯予防推進指定校活動報告、産業能率大総研の山村洋子氏の「花のいのちはけっこう長い」という講演があった。さらに7月には県歯会館で学校歯科医研修会が開かれ、歯肉炎(西川伸)、123運動(杉山乗也)、食生活(中垣晴男)の各研究発表と講演があった。

12月には第57回全国学校歯科医保健研究大会が大宮市で開催された。

この年は米不作により緊急輸入された。第19回先進国首脳会議が7月に東京で開かれた。

1994 第1回特別検診学校歯科講習会
(H6) (女性会館 4月20日)
第42回歯をまもるよい子の会・
第34回歯科衛生優良校表彰式
(名古屋市公会堂 6月4日)
研修会(クレール 7月14日)
第58回全国学校歯科保健研究大会
(富山県 9月28日)
第44回全国学校保健研究大会
(和歌山市 11月10日)

1994(平成6)年4月には恒例の特別検診学校歯科講習会が開かれた(4/20)。内容は「歯科疾患特別検査の主旨及び平成6年度の実施法・PMA測定法」(中垣晴男講師)であった。5月には第45回十三大都市学校保健協議会(北九州市)が開催された(5/22)。6月には第42回歯をまもるよい子の会が名古屋市公会堂で開かれ、内山小学校他21の小・中学校および西養護学校が優良校、また幅下小、大宝小、長須賀小および振甫中が特別優良校として表彰された(6/4)。

7月には研修会がクレールで開催され、ライオン歯科衛生研の武者良憲口腔保健部長による「歯ブラシにも科学あり」と文部省体育局学校健康教

1995
(H7) 新任学校歯科医講習会
(名古屋市教育会館 4月13日)
第1回特別検診学校歯科講習会
(県歯会館 4月18日)
第43回歯をまもるよい子の会・
第35回歯科衛生優良校表彰式
(名古屋市公会堂 6月3日)
研修会(クレール 7月20日)
第59回全国学校歯科保健研究大会
(名古屋市国際会議場 10月19、20日)
第45回全国学校保健研究大会
(徳島市 11月16、17日)

育課の戸田芳雄教科調査官による「これからの学校保健」の2つの講演があった。

4月には新任学校歯科医講習会が藤井会長、棚橋専務らにより「学校保健、学校歯科保健一般及び名学歯事業」について17名の出席にて開催された。新執行部の初仕事であった(4/13)。また、特別検診学校歯科講習会も開かれ、平成7年度の実施法について講習された(4/18)。

6月には第43回歯を守るよい子の会が名古屋市公会堂で開催された。内山小学校他21の小・中学校、養護学校として西養護学校が表彰された。特別優良校として葵小、大手小および丸の内中が表彰された(6/3)。

7月には研修会がクレールで開催された。柘植久慶講師の「大地震からのサバイバル」があった。

10月には第59回全国歯科保健研究大会が名古屋国際会議場で開催された。主題「学校歯科保健の包括化－発達段階に即した歯科保健指導の展開」で、第1日目の10月19日には開会式、表彰式、記念講演として女優の中村メイ子氏「私の生き方」、シンポジウム「発達段階に即した歯科保健指導の展開(森本基座長、戸田芳雄、吉田螢一郎、津雲達雄、坂井剛の各氏)」がもたれた。翌2日(10月20日)は領域別研究協議会と研究協議会報告が行われた。領域別では①幼稚園・保育所(園)部会: 森本基座長、佐藤利恵子、野村繁雄、根来武史の各発表者、黒須一夫助言者、②小学校部会: 中尾俊一座長、沖中隆男、石井志寿江、陣田淳子各発表者、戸田芳雄助言者、また公開授業は名古屋市立大宝小学校で実施された。③中学校部会: 中垣晴男座長、穴山由里子、坂本多加幸、近藤いさを、本若典子各発表者、吉田螢一郎助言者、④高等学校部会: 岡田昭五郎座長、日比野文子、守尾靖各発表者、猪股俊二助言者、⑤口腔機能部会: 黒田敬之座長、森本俊文、赤坂守人各発表者、丈山喬史助言者、および⑥特別テーマセッション: 石黒光座長、榊原健、武井典子、小島真一各発表者であった。2日間、予想を上まわる多数の参加者をもって成功裏に終了した。

この3月には東京地下鉄サリン事件、5月に教祖麻原彰晃逮捕、またこの年、野茂英雄が米大リーグに入団した。

1996
(H8) 新任学校歯科医講習会
(名古屋市教育会館 4月11日)
第1回歯科疾患特別検診学校歯科医養護
教諭講習会
(名古屋市教育会館 4月16日)
第36回歯科衛生優良校審査会

1996(平成8)年学校保健法施行規則改正により従来あった第2号様式の2、第3号様式の健康診断票が廃止され、新しく「児童生徒健康診断票(歯・口腔)(小中学校用)」、「生徒学生健康診断票(高等学校用)」、および「幼児健康診断票」の3種類となった。すなわち、名学歯が1988(昭和

(名古屋市教育会館 4月23日)
小渡小学校校診見学
(東加茂郡小渡小学校 5月22日)
第44回歯をまもるよい子の会・
第36回歯科衛生優良校表彰式
(名古屋市公会堂 6月1日)
長屋先生叙勲祝賀会
(名古屋観光ホテル 6月30日)
総会・研修会(クレール 7月18日)
第35回全国よい歯の学校表彰最優秀校
実地審査(大宝小学校 9月13日)
第2回特別検診校養護教諭講習会
(名古屋市教育会館 10月16日)
第60回全国学校歯科保健研究大会
(東京都 11月21、22日)
養護教諭講習会
(中区役所ホール 1月28日)

63)年より実施してきたCO・GOが正式に学校保健に導入されることになった。本会の活動が法改正に影響したであろうことが推察される。

4月には新任学校歯科医講習会(4/11)(11名出席)で学校保健一般名学歯の事業紹介、歯科疾患特別検診学校歯科医養護教諭講習会にて特別検診の主旨と平成8年度の実施法、「歯肉炎の検診と事後措置」が検討された(4/16)。5月には見学会が実施された(5/22)。また愛知学院大学でエナメル質生検法の実習も行った(5/26)。6月には第44回歯をまもるよい子の会が開催され、内山小学校の他17の小学校、浄心中の他4中学校また西養護学校が優良校表彰、城北小と牧野小学校が特別優良校として表彰された(6/4)。6月中に香流小学校でエナメル質生検が実施された。6月30日には長屋先生の叙勲祝賀会が開かれた。7月の研修会がクレールで開かれ、「新健康診断票について」(杉山乗也)、「学校歯科保健における顎関節症について」(田口望)の2つの講演が行われた。9月には大宝小学校において文部大臣表彰実施審査が行われた(9/13)。10月には第2回の特別検診校の養護教諭を対象にした研修会が実施された(10/16)。また翌年1月には「学校保健における矯正治療」(渡辺修)が養護教諭を対象として実施された。

この年の7月には病原大腸菌O-157事件が発生し、患者は6000名を越した。また9月にはイスラエルのラビン首相が暗殺され、今日のパレスチナ・イスラエル問題が再燃することになった。

1997 (H9) 第1回特別検診学校歯科医
養護教諭講習会
(名古屋市教育会館 4月16日)
新任学校歯科医講習会
(名古屋市教育会館 4月17日)
第45回歯をまもるよい子の会・
第37回歯科衛生優良校表彰式
(名古屋市公会堂 6月7日)
総会・研修会(クレール 7月24日)
第61回全国学校歯科保健研究大会
(福島県 10月16、17日)
第19回学校歯科保健研修会
(中部東海ブロック)
(名古屋市 11月29、30日)

1997(平成9)年4月より藤井会長再任、野瀬学専務体制となり、藤井会長2期目がスタートした。恒例の特別検診学校歯科医養護教諭講習会(4/16)、新任学校歯科医講習会(4/17)が開催された(16名出席)。6月には第45回歯をまもるよい子の会(名古屋市公会堂)が開かれ、内山小の他19の小学校、矢田中他4中学校、守山養護学校が優良校として表彰され、栄生小学校が特別優良校として表彰された(6/7)。7月には研修会がクレールで開かれ、「人はなぜ噛まなくなったか」(蜂矢喜一郎)、「歯肉が危ない(OHP)」(森秀哉)の2つの講演が行われた(7/24)。10月には1・2・3運動として香流小学校で口腔衛生指導が実施された(10/16)。第2回特別検診校の養護教諭講習会が開催された(10/20)。

東京株式市場暴落(10/28)、香港がイギリスから中国に返還された(8/19)。

1998 (H10) 第1回特別検診学校歯科医講習会
(女性会館 4月15日)
新任学校歯科医講習会
(名古屋市教育会館 4月16日)
第46回歯をまもるよい子の会・
第38回歯科衛生優良校表彰式
(名古屋市公会堂 6月6日)
1・2・3運動取材
(香流小学校 6月18日)
1・2・3運動実施
(長須賀小学校 6月24日)
総会・研修会(クレール 7月23日)
第62回全国学校歯科保健研究大会
(宜野湾市 11月19日)

1999 (H11) 第1回特別検診学校歯科医講習会
(女性会館 4月14日)
新任学校歯科医講習会
(名古屋市教育会館 4月15日)
第47回歯をまもるよい子の会・
第39回歯科衛生優良校表彰式
(名古屋市公会堂 6月5日)
総会・研修会(クレール 7月15日)
1・2・3運動実施
(よもぎ小学校 9月16日)
1・2・3運動実施
(平針小学校 9月21日)
1・2・3運動実施
(梶田小学校 9月22日)
第63回全国学校歯科保健研究大会
(札幌市 9月30日)

2000 (H12) 第1回特別検診学校歯科医講習会
(女性会館 4月12日)
新任学校歯科医講習会(14名出席)
(名古屋市教育会館 4月13日)
第48回歯をまもるよい子の会・
第40回歯科衛生優良校表彰式
(名古屋市公会堂 6月1日)
総会・研修会(クレール 7月27日)
第43回東海学校保健学会
(愛知学院大学楠元校舎 9月30日)
第64回全国学校歯科保健研究大会
(高知市 11月30日)

1998(平成10)年新任学校歯科医講習会(4/16)、特別検診学校歯科医講習会(4/15)「10年の経験を基に次のステップへの新たな出発」(中垣晴男)が開かれた。6月第46回歯をまもるよい子の会(6/6)が開催され、千石小他15小学校、今池中他4中学校、南養護学校が優良校として表彰された。また特別優良校として内山小、大磯小、東丘小が表彰された。7月にはクレールで、研修会が開かれ「学校歯科医から見た学校歯科保健活動のあり方」(安井利一)(7/23)、10月には特別検診校養護教諭講習会(10/20)が開催された。

明石海峡大橋開通(4/5)、日本長期信用銀行一時国有化(10/23)、日本の97年度国民総生産が前年比-0.7%、23年ぶり戦後最低を記録した。

1999(平成11)年4月に特別検診学校歯科医講習会(4/14)、新任学校歯科医講習会(4/15)が例年通り行われた。6月には第47回歯をまもるよい子の会(名古屋市公会堂)が開かれ、内山小他17小学校、丸の内中他4中学校、南養護学校が優良校として表彰、千石小、幅下小が特別優良校として表彰された。7月には研修会がクレールで開かれ「尾張名古屋の博物学」(岸雅裕講師)の講演が行われた。9月にはよもぎ、平針、梶田各小学校にて1・2・3運動が実施された。10月には千石小、長須賀小、那古野小、高蔵小、星崎小の各小学校において1・2・3運動の口腔衛生指導が展開された。

EUの内11か国共通通貨ユーロ使用開始(1/1)、日の丸・君が代を国旗・国歌とする法律成立(8/9)。

2000(平成12)年特別検診学校歯科医講習会(4/12)、また新任学校歯科医講習会(4/13)が藤井会長、杉山・棚橋両副会長、野瀬専務、宮本常務その他理事が講師として開催された。6月には第48回歯をまもるよい子の会(6/1)が開かれ、内山小他19小学校、今池中他3中学校、南養護学校が優良校として表彰され、長須賀小学校と丸の内中学校が特別優良校として表彰された。

7月には総会・研修会(クレール)が開催され「歯の健康づくりと初期う蝕診断」(中垣晴男)が開催された(7/27)。また9月には第43回東海学校保健学会(会長中垣晴男)が愛知学院大学歯学部で開催され、多数会員が参加した。10月にはよもぎ、堀田、長須賀各小学校で1・2・3運動が実施された。

コンピューター2000年問題(1/1)、小淵首相緊急入院(4/2)、死去(5/14)。

2001
(H13) 第1回歯科疾患特別検診校歯科医
養護教諭講習会
(女性会館 4月11日)
新任学校歯科医研修会(14名出席)
(名古屋市教育会館 4月19日)
学校歯科1・2・3運動学校歯科医、
養護教諭説明会(女性会館 4月25日)
第49回歯をまもるよい子の会・
第41回歯科衛生優良校表彰式
(名古屋市公会堂 6月9日)
総会・研修会(クレール 7月26日)
「切手に遊ぶ」(国際郵趣連盟大原敏正氏)
第50回日本口腔衛生学会・総会
(愛知学院大学 9月29、30日)
1・2・3運動実施
(堀田小、星崎小、長須賀小、米野小、
10月29日～11月1日)
第65回全国学校歯科保健研究大会
(松本市 11月15、16日)

2001(平成13)年特別検診校学校歯科医養護教
諭講習会(4/11)、新任学校歯科医講習会(4/
19)が藤井会長、棚橋副会長、近藤副会長、野瀬
専務、宮本・玉木常務及び各学術理事を講師とし
て開催された。また、学校歯科1・2・3運動学校歯
科医養護教諭説明会(4/25)が蜂矢、江場各理
事と5名の委員を講師として開かれた。

6月には第49回歯をまもるよい子の会(6/9)
が開かれ、内山小他18小学校、今池中他3中学校、
南養護学校が優良校として表彰された。また、自
由ヶ丘小、新明小、桶狭間小、駒方中学校が特別
優良校として表彰された。

7月には総会・研修会がクレールでが開催され、
講演「切手に遊ぶ」(大原敏正)が行われた(7/
26)。9月には第50回日本口腔衛生学会・総会(中
垣晴男学会長)が愛知学院大学で「21世紀へのヘル
スプロモーションへ向けてー方法とその科学」
を総合テーマにして開催され、会員が多数参加し
た。10月には堀田小、星崎小、長須賀小、米野小
において1・2・3運動が実施された。

2002
(H14) 特別検診校学校歯科医養護教諭講習会
(女性会館 4月10日)
学校歯科121運動養護教諭説明会
(女性会館 4月10日 本年度より名
称を名古屋学校歯科121運動と変更
した。)
注)121運動実施校、大会、協議会等
の記載は今年度以降は年表参照
新任学校歯科医研修会
(対象者13名 4月18日)
十三大都市学校保健協議会が名古屋市に
て開催(名古屋国際会議場 5月19日)
前日協議会
(名古屋マリオットアソシアホテル 5月18日)
70周年記念総会・研修会
(東急ホテル 7月25日)

2002(平成14)年特別検診校学校歯科医養護教
諭講習会(4/10)、新任学校歯科医講習会が、6
月には第50回歯をまもるよい子の会(6/1)、5
月には名古屋国際会議場において第53回十三大都
市学校保健協議会が協議主題「学校新時代におけ
る豊かな心と体を育む健康教育の推進」として、
名古屋市学校保健会、名古屋市教育委員会が主催
で開催された。課題別では第1分科会健康教育、
第2分科会保健管理、第3分科会心の健康、第4
分科会組織活動の4分科会が行われた。その前日
には十三大都市前日協議会が開催され、基調講演
として「総合的な学習とそのすすめ方」(安井利
一講師)が開催された。

7月には70周年記念総会・研修会が東急ホテル
で開催される。「健康日本21と8020からみた学校
歯科保健ー総合的な学習と生活習慣」(中垣晴男
講師)が講演される(7/25)。

2003
(H15) 歯科疾患特別検診校養護教諭講習会
(女性会館 4月11日)
歯科疾患特別検診校学校歯科医講習会
(女性会館 4月11日)
新任学校歯科医研修会・学校歯科医生涯
研修会(出席 新任14名、生涯研修66名、
教育館 4月17日)
学校歯科121運動養護教諭説明会
(女性会館 4月23日)
第51回歯をまもるよい子の会・
第43回歯科衛生優良校表彰式

講師 愛知学院大学歯学部 中垣晴男教授
演題 「名学歯の今後の方向」

第51回歯をまもるよい子の会では、特別優良校と
して東丘小学校(緑区)が、優良校として小学校
20校、中学校6校、南養護学校が表彰された。

7月に総会・研修会が初めてクレストンホテルで
開催された。

名古屋市学校歯科121運動の活動が日本テレビ

	(名古屋市公会堂 6月7日) 総会・研修会 (名古屋クレストンホテル 7月24日)	によって全国放送された。 演題「わが国における介助犬の発展－肢体不自由者の自立と社会復帰のために－」(奈良医科大学名誉教授 高柳哲也先生)の特別講演が行われた。
2004 (H16)	歯科疾患特別健診校養護教諭講習会 (女性会館 4月14日) 歯科疾患特別健診校学校歯科医講習会 (女性会館 4月14日) 新任学校歯科医研修会・学校歯科医生涯 研修会(出席 新任13名、生涯研修22名、 教育館 4月15日) 学校歯科121運動養護教諭説明会 (女性会館 4月21日) 第52回歯をまもるよい子の会・ 第44回歯科衛生優良校表彰式 (名古屋市公会堂 6月5日) 総会・研修会 (名古屋クレストンホテル 7月22日)	講師 愛知学院大学歯学部 中垣晴男教授 演題 「名古屋市のGO事業の流れと今後」 第52回歯をまもるよい子の会では、特別優良校として千石小(千種区)、幅下小(西区)、八事小(昭和区)、緑小(緑区)、丸の内中(中区)が、優良校として小学校18校、中学校6校、南養護学校が表彰された。 121運動と特別健診が日本テレビにより前年度に続き全国放送された。 演題 「学校歯科保健とCO」 講師 日学歯常務理事 柘植紳平先生
2005 (H17)	歯科疾患特別健診校養護教諭講習会 (教育館 4月13日) 歯科疾患特別健診校学校歯科医講習会 (教育館 4月13日) 新任学校歯科医研修会・学校歯科医生涯 研修会・適正化講習会(出席 新任22名、 生涯研修66名、適正化不明、教育館 4月14日) 学校歯科121運動養護教諭説明会 (教育館 4月20日) 第53回歯をまもるよい子の会・ 第45回歯科衛生優良校表彰式 (名古屋市公会堂 6月4日) 総会・研修会 (名古屋クレストンホテル 7月21日)	講師 愛知学院大学歯学部 中垣晴男教授 演題 「CO・GOの診断と生活習慣 －標準歯の生活習慣調査票の開発－」 第53回歯をまもるよい子の会では、特別優良校として平和小(中区)が、優良校として小学校19校、中学校6校、南養護学校が表彰された。 演題 「外傷予防とマウスガード」 講師 愛知学院大歯学部補綴学第三講座 荒木章純助教授
2006 (H18)	歯科疾患特別健診校養護教諭講習会 (教育館 4月12日) 歯科疾患特別健診校学校歯科医講習会 (教育館 4月12日) 新任学校歯科医研修会(出席 新任10名) 学校歯科医生涯研修会・歯科健診適正化 講習会(出席 生涯15名、適正化4名、 教育館 4月13日) 学校歯科121運動養護教諭説明会 (教育館 4月19日) 第54回歯をまもるよい子の会・ 第46回歯科衛生優良校表彰式 (名古屋市公会堂 6月3日) 総会・研修会 (名古屋クレストンホテル 7月27日)	講師 愛知学院大学歯学部 中垣晴男教授 演題 「児童・生徒自ら生活習慣をチェックする 学校歯科保健の展開へ」 第54回歯をまもるよい子の会では、特別優良校として自由ヶ丘小(千種区)、瑞穂小(瑞穂区)が、優良校として、小学校23校、中学校6校、天白養護学校が表彰された。 演題1 「名学歯121運動の成果」 講師 ライオン歯科衛生研究所

2007 (H19)	<p>新任学校歯科医研修会（出席12名） 学校歯科医生涯研修会・歯科健診適正化講習会（出席 生涯18名、適正化5名、教育館 4月5日） 歯科疾患特別健診校養護教諭講習会（女性会館 4月11日） 歯科疾患特別健診校学校歯科医講習会（女性会館 4月11日） 学校歯科121運動養護教諭説明会（教育館 4月18日） 第55回歯をまもるよい子の会・第47回歯科衛生優良校表彰式（名古屋市公会堂 6月2日） 総会・研修会（名古屋クレストンホテル 7月26日）</p>	<p>歯科衛生士 小林智香子先生 演題2「食育と子どもの食の現状」 講師 名古屋市教育委員会学校保健課中学給食係管理栄養士 福岡百合子先生 講師 愛知学院大学歯学部 中垣晴男教授 演題 「今後の学校歯科保健の進め方」 第55回歯をまもるよい子の会では、特別優良校として大宝小（熱田区）、港明中（昭和区）が、優良校として小学校24校、中学校7校、守山養護学校が表彰された。 演題 「健全な口腔機能の育成のために」 講師 日学歯専務理事 丸山進一郎先生</p>
2008 (H20)	<p>歯科疾患特別健診校養護教諭説明会（教育館 4月9日） 歯科疾患特別健診校学校歯科医講習会（教育館 4月10日） 新任学校歯科医研修会（出席23名、県歯・私学歯53名、教育館 4月10日） 学校歯科医生涯研修会（出席19名 教育館 4月10日） 学校歯科121運動養護教諭説明会（教育館 4月16日） 第56回歯をまもるよい子の会・第48回歯科衛生優良校表彰式（名古屋市公会堂 6月7日） 総会・研修会（名古屋クレストンホテル 7月31日）</p>	<p>講師 愛知学院大学歯学部 中垣晴男教授 演題 「今後の学校歯科保健の進め方」 第56回歯をまもるよい子の会では、特別優良校として東丘小（緑区）、川名中（昭和区）が、優良校として小学校26校、中学校9校、守山養護学校が表彰された。 演題1「スポーツ振興センターの行う災害共済給付について」 講師 日本スポーツ振興センター 鈴木正人氏 演題2「歯科健診精度の向上に向けて」 講師 名学歯 江場弘和会長、柘植優三理事 演題3「認定学校歯科医制度（仮称）について」 講師 日学歯 丸山進一郎専務理事</p>
2009 (H21)	<p>歯科疾患特別健診校養護教諭説明会（教育館 4月8日） 歯科疾患特別健診校学校歯科医講習会（教育館 4月9日） 学校歯科121運動養護教諭説明会（教育館 4月14日） 新任学校歯科医研修会（出席16名、教育館 4月16日） 学校歯科医生涯研修会（出席24名 教育館 4月16日）</p>	<p>講師 愛知学院大学歯学部 中垣晴男教授 演題 「学校歯科保健とライフコース疫学 -名古屋市学校歯科保健活動の方向-」 第57回歯をまもるよい子の会では、特別優良校として幅下小（西区）、八事小（昭和区）、大磯小（南区）が、優良校として小学校21校、中学校8校、守山養護学校が表彰された。</p>

	<p>第57回歯をまもるよい子の会・ 第49回歯科衛生優良校表彰式 (名古屋市公会堂 6月6日) 総会・研修会 (名古屋国際ホテル 7月30日)</p>	<p>演題 「今後の学校歯科保健のあり方について」 講師 大阪歯科大学口腔衛生学講座 神原正樹教授</p>
2010 (H22)	<p>歯科疾患特別健診校養護教諭説明会 (教育館 4月14日) 歯科疾患特別健診校学校歯科医講習会 (教育館 4月15日) 新任学校歯科医研修会 (出席新任8名、 教育館 4月15日) 学校歯科医生涯研修会 (出席20名 教育館 4月15日) 学校歯科121運動養護教諭説明会 (教育館 4月21日) 第58回歯をまもるよい子の会・ 第50回歯科衛生優良校表彰式 (名古屋市公会堂 6月5日) 総会・研修会 (名古屋国際ホテル 7月29日)</p>	<p>講師 愛知学院大学歯学部 中垣晴男教授 演題 「今後の学校歯科保健の進め方」 第58回歯をまもるよい子の会では、特別優良校として鶴舞小(昭和区)、御園小(中区)が、優良校として小学19校、中学校7校、南養護学校が表彰された。 演題 「世界一聞きたい 健康教育論」 講師 岡山大学病院小児歯科学講座 岡崎好秀講師</p>
2011 (H23)	<p>歯科疾患特別健診校養護教諭説明会 (教育館 4月13日) 歯科疾患特別健診校学校歯科医講習会 (教育館 4月14日) 新任学校歯科医研修会 (出席8名) 学校歯科医生涯研修会 (出席33名) 第59回歯をまもるよい子の会・ 第51回歯科衛生優良校表彰式 (名古屋市公会堂 6月4日) 総会・研修会 (名古屋国際ホテル 7月28日)</p>	<p>講師 愛知学院大学歯学部 中垣晴男教授 演題 「児童の生活習慣とコモンリスクアプローチの視点」 第59回歯をまもるよい子の会では、特別優良校として赤星小(中川区)、東星中(千種区)、桜丘中(東区)が、優良校として小学校19校、中学校6校、南養護学校が表彰された。 演題 「嚙む力で認知症、肥満を防ぎ、ストレスに勝つ」 講師 星城大学大学院健康支援学研究科教授 久保金弥先生</p>
2012 (H24)	<p>歯科疾患特別健診校養護教諭説明会 (教育館 4月10日) 歯科疾患特別健診校学校歯科医講習会 (教育館 4月12日) 学校歯科医生涯研修制度基礎研修会 (教育館 4月12日) 第60回歯をまもるよい子の会・ 第52回歯科衛生優良校表彰式 (名古屋市公会堂 6月2日) 今年度よりサンスターの協賛で「ミッ フィースマイルコンサート」・「めぞそ う!121」歯と口の健康クイズ・歯 みがき指導等がとり行われた。 総会・80周年記念式典開催 (名古屋東急ホテル 7月26日)</p>	<p>講師 愛知学院大学 中垣晴男名誉教授 演題 祝 特別健診25年 「特別健診の今後の方向 コモン・リスク・ アプローチとデンタルフロスから」 第60回歯をまもるよい子の会では、特別優良校として白鳥小(熱田区)、春日野小(南区)が、優良校として小学校19校、中学校8校、守山養護学校が表彰された。 愛知学院大学 中垣晴男名誉教授特別講演 演題 「共通生活習慣と今後の学校歯科保健活動 - 専門家の責任 -」 (創立80周年をお祝いして)</p>

2013
(H25)

歯科疾患特別健診校養護教諭説明会
(県歯会館 4月10日)

講師 愛知学院大学名誉教授 中垣晴男先生
演題 「名古屋市学校保健・特別健診の新たな展開に向けて ～歯と口腔の健康格差解消とデンタルフロス計画～」

歯科疾患特別健診校学校歯科医講習会
(教育館 4月11日)

講師 愛知学院大学歯学部 口腔衛生学講座
中村文彦助教
演題 「デンタルフロスの指導方法について」

新任学校歯科医研修会
(名古屋市役所西庁舎 4月11日)

学校歯科120運動養護教諭説明会
(名古屋市教育館 4月17日)

学校歯科医生涯研修制度基礎研修会
(教育館 4月18日)

学校歯科120運動学校歯科医講習会
(名古屋市教育館 5月23日)

第61回歯をまもるよい子の会・第53回
歯科衛生優良校表彰式
(名古屋市公会堂 6月8日)

第61回歯をまもるよい子の会では、特別優良校として川名中(昭和区)が、優良校として小学校24校、中学校6校、守山養護学校が表彰された。

総会・研修会・祝賀慰労会
(名古屋国際ホテル 8月1日)

演題 「心と体の健康をめざす学校での歯・口の健康作り」

講師 熊本市立城東小学校
養護教諭 桑田奈津子先生

名古屋市独自の歯列・咬合の判断に関するガイドライン「なるほど簡単! M.MOガイド」を作成 下顎前突「2」の判定基準2歯または1歯の反対被蓋を提案

2014
(H26)

歯科疾患特別健診校養護教諭説明会
(教育館 4月9日)

講師 愛知学院大学名誉教授 中垣晴男先生
演題 「特別健診事業の歩み」

歯科疾患特別健診校学校歯科医講習会
(教育館 4月10日)

講師 愛知学院大学歯学部 口腔衛生学講座教授
嶋崎義浩先生

演題 「デンタルフロスの使用と歯肉炎」

新任学校歯科医研修会
(名古屋市役所 4月10日)

学校歯科120運動養護教諭説明会
(名古屋市教育館 4月16日)

学校歯科医生涯研修制度基礎研修会
(県歯会館 4月17日)

学校歯科120運動学校歯科医講習会
(名古屋市教育館 5月15日)

第65回指定都市学校保健協議会 前日
歯科保健協議会(横浜市 名古屋市主幹代
行開催 5月24・25日)

第62回歯をまもるよい子の会・第54回
歯科衛生優良校表彰式
(名古屋市公会堂 6月7日)

第62回歯をまもるよい子の会では、特別優良校として大磯小(南区)、有松中(緑区)が、優良校として小学校21校、中学校6校、南養護学校が表彰された。

総会・研修会・祝賀慰労会
(名古屋国際ホテル 7月31日)

演題 「小児歯科医がはこぶ「子供たちのこころを贈って還す」運動」

		講師 全国小児歯科開業医会 会長 丸山進一郎先生
2015 (H27)	<p>歯科疾患特別健診校養護教諭説明会 (県歯会館 4月8日)</p> <p>新任学校歯科医研修会 (名古屋市教育館 4月9日)</p> <p>学校歯科120運動学校歯科医・養護教諭説明会(名古屋市役所東庁舎 4月15日)</p> <p>歯科疾患特別健診校学校歯科医講習会 (教育館 4月16日)</p> <p>学校歯科医生涯研修制度基礎研修会 (県歯会館 4月16日)</p> <p>第66回指定都市学校保健協議会 前日歯科保健協議会 (名古屋市 名古屋市主幹開催 名古屋栄 東急REIホテル 5月16・17日)</p> <p>第63回歯をまもるよい子の会・第55回歯科衛生優良校表彰式 (名古屋市公会堂 6月13日)</p> <p>総会・研修会・祝賀慰労会 (名古屋国際ホテル 8月6日)</p>	<p>講師 愛知学院大学歯学部 口腔衛生学講座教授 嶋崎義浩先生</p> <p>演題 「学校歯科保健について」</p> <p>第63回歯をまもるよい子の会では、特別優良校として桶狭間小(緑区)、丸の内中(中区)が、優良校として小学校20校、中学校6校、南養護学校が表彰された。</p> <p>演題 「歯髄細胞を用いた再生医療とその新しい機能」</p> <p>講師 愛知学院大学歯学部 口腔解剖学講座教授 本田雅規先生</p>
2016 (H28)	<p>新任学校歯科医研修会 (名古屋市教育館 4月7日)</p> <p>歯科疾患特別健診校養護教諭説明会 (教育館 4月13日)</p> <p>歯科疾患特別健診校学校歯科医講習会 (教育館 4月14日)</p> <p>学校歯科医生涯研修制度基礎研修会 (愛知県歯科医師会 4月14日)</p> <p>学校歯科120運動学校歯科医・養護教諭説明会(名古屋市役所東庁舎 4月20日)</p> <p>第64回歯をまもるよい子の会・第56回歯科衛生優良校表彰式 (名古屋市公会堂 6月4日)</p> <p>総会・研修会・祝賀慰労 (名古屋国際ホテル 8月4日)</p> <p>児童虐待防止に関する資料「児童虐待予防チェックシート」作成</p>	<p>講師 愛知学院大学歯学部 口腔衛生学講座教授 嶋崎義浩先生</p> <p>演題 「学齢期の歯科口腔保健」</p> <p>第64回歯をまもるよい子の会では、特別優良校として城北小(北区)、桜丘中(東区)が、優良校として小学校20校、中学校6校、西養護学校が表彰された。</p> <p>演題 「むし歯は食生活習慣病」</p> <p>講師 日本トウースフレンドリー協会 会長 山田正先生</p>
2017 (H29)	<p>新任学校歯科医研修会 (市役所西庁舎 4月6日)</p>	

歯科疾患特別健診校養護教諭説明会

(市役所東庁舎 4月12日)

歯科疾患特別健診校学校歯科医講習会

(市役所東庁舎 4月13日)

学校歯科医生涯研修制度基礎研修会

(県歯会館 4月13日)

学校歯科120運動学校歯科医・養護教諭

説明会(名古屋市役所東庁舎 4月19日)

第65回歯をまもるよい子の会・第57回歯科衛生優良校表彰式

(日本特殊陶業市民会館 6月10日)

総会・研修会・祝賀慰労会

(名古屋国際ホテル 8月3日)

「平成29年告示 中学校学習指導要領解説保健体育編」の中で、歯肉炎が予防すべき生活習慣病の一つとして明記された

講師 愛知学院大学歯学部 口腔衛生学講座教授
嶋崎義浩先生

演題 「特別健診から口腔保健の行動変容について考える」

第65回歯をまもるよい子の会では、永年優秀校として白鳥小(熱田区)、大磯小(南区)、桜丘中(東区)、丸の内中(中区)が、優良校として小学校21校、中学校5校、西養護学校が表彰された。

演題 「これからの歯科口腔保健における学校歯科口腔保健の重要性」

講師 愛知学院大学歯学部 口腔衛生学教授
嶋崎義浩先生

2018
(H30)

学校歯科医生涯研修制度基礎研修会

(県歯会館 4月5日)

歯科疾患特別健診校養護教諭説明会

(市役所東庁舎 4月11日)

歯科疾患特別健診校学校歯科医講習会

(市役所東庁舎 4月12日)

新任学校歯科医研修会

(名古屋市役所西庁舎 4月12日)

学校歯科120運動学校歯科医・養護教諭

説明会(名古屋市役所東庁舎 4月18日)

第69回指定都市学校保健協議会 前日歯科保健協議会(浜松市 名古屋市主幹代行開催 5月27・28日)

第66回歯をまもるよい子の会・第58回歯科衛生優良校表彰式

(日本特殊陶業市民会館 6月9日)

総会・研修会・祝賀慰労会

(名古屋国際ホテル 8月2日)

講師 愛知学院大学歯学部 口腔衛生学講座教授
嶋崎義浩先生

演題 「児童・生徒に対する歯科保健指導について」

第66回歯をまもるよい子の会では、特別優良校として東山小(千種区)、笹島中(中村区)が、優良校として小学校20校、中学校7校、南養護学校が表彰された。

演題 「子どもの口腔機能発達支援と歯科疾患」

講師 豊橋キッズデンタルクリニック
中野崇先生

2019
(R1)

新任学校歯科医研修会

(名古屋市役所西庁舎 4月4日)

歯科疾患特別健診校養護教諭説明会

(市役所西庁舎 4月10日)

講師 愛知学院大学歯学部 口腔衛生学講座教授
嶋崎義浩先生

演題 「歯肉の健康を自身で考える - 歯肉炎の自己評価 -」

	<p>学校歯科医生涯研修制度基礎研修会 （愛知県歯科医師会 4月11日）</p> <p>学校歯科医生涯研修制度更新研修会 （愛知県歯科医師会館 4月11日）</p> <p>学校歯科120運動学校歯科医・養護教諭説明会 （名古屋市役所東庁舎 4月17日）</p> <p>歯科疾患特別健診校学校歯科医講習会 （教育館 4月18日）</p> <p>第67回歯をまもるよい子の会・第59回歯科衛生優良校表彰式 （日本特殊陶業市民会館 6月8日）</p> <p>総会・研修会・祝賀慰労会 （名古屋国際ホテル 8月1日）</p> <p>歯科疾患特別健診（特健）に中学校が加わる 120運動の表記が「120（いちにいまる）運動」に変更</p>	<p>第67回歯をまもるよい子の会では、特別優良校として大磯小（南区）が、優良校として小学校20校、中学校5校、西養護学校が表彰された。</p> <p>演題 「大阪市における幼稚園～高校までの経年的な学校歯科保健について」</p> <p>講師 大阪市学校歯科医会前会長・現顧問 岡本卓士先生</p>
2020 (R2)	<p>新任学校歯科医研修会（延期）</p> <p>歯科疾患特別健診校養護教諭説明会 （中止）</p> <p>歯科疾患特別健診校学校歯科医講習会 （中止）</p> <p>学校歯科医生涯研修制度基礎研修会 （延期）</p> <p>学校歯科医生涯研修制度更新研修会 （延期）</p> <p>学校歯科120運動学校歯科医・養護教諭説明会（中止）</p> <p>第68回歯をまもるよい子の会・第60回歯科衛生優良校表彰式（中止）</p> <p>総会・研修会・慰労会（中止）</p> <p>「名古屋市歯と口腔の健康づくり推進条例」が改正され、新たに「科学的根拠に基づくフッ化物応用等のむし歯予防措置の実施に関する事」という文言が追加された。第6条（6）</p>	<p>特別優良校として御園小（中区）、鶴舞小（昭和区）が、優良校として小学校20校、中学校5校、南養護学校に決定いたしました。</p>
2021 (R3)	<p>新任学校歯科医研修会 （名古屋市役所西庁舎 4月8日）</p> <p>歯科疾患特別健診校養護教諭説明会 （名古屋市役所 4月14日）</p> <p>歯科疾患特別健診校学校歯科医講習会 （教育館 4月15日）</p> <p>学校歯科120運動学校歯科医・養護教諭説明会</p>	<p>講師 愛知学院大学歯学部 口腔衛生学講座教授 嶋崎義浩先生</p> <p>演題 「中学校での歯科疾患特別健診の試み」</p>

2022
(R4)

(名古屋市教育館 4月21日)
学校歯科医生涯研修制度基礎研修会
(Web研修 4月22日)

第69回歯をまもるよい子の会・第61回歯
科衛生優良校表彰式(中止)

学校歯科医生涯研修制度更新研修会
(Web研修 12月23日)

総会・研修会・慰労会(中止)研修会は
録画、Web配信
歯科健診結果のお知らせ裏面に「学校歯
科健診と歯科医院の診断結果について」
イラストが追加される

新任学校歯科医研修会

(名古屋市役所西庁舎 4月7日)
歯科疾患特別健診校養護教諭説明会
(教育館 4月13日)

学校歯科医生涯研修制度基礎研修会
(Web研修 4月14日)

歯科疾患特別健診校学校歯科医講習会
(教育館 4月21日)

学校歯科120運動学校歯科医・養護教
諭説明会

(名古屋市役所西庁舎 5月12日)
第70回歯をまもるよい子の会・第62回歯
科衛生優良校表彰式

(日本特殊陶業市民会館 6月4日)
90周年記念式典・記念講演会
(名古屋マリオットアソシアホテル
8月4日)

学校歯科医生涯研修制度更新研修会
(Web研修 12月22日)

DVD「歯肉があぶない! (令和版)
～歯肉を守ろう～」刊行

永年優良校として城北小学校、優良校として小学
校21校、中学校5校、南西養護学校に決定いたし
ました。

講師 愛知学院大学歯学部 口腔衛生学講座教授
嶋崎義浩先生

演題 「コロナ禍の学校歯科保健」

第70回歯をまもるよい子の会では、特別優良校と
して白鳥小(熱田区)が、優良校として小学校19
校、中学校5校、西養護学校が表彰された。

演題 「コロナ時代の子育てと教育を考える
～今、子供の心と身体は」

講師 尾木直樹先生 教育評論家 法政大学名誉
教授 臨床教育研究所「虹」主宰

叙勲・表彰者

文部科学大臣表彰

平成24年	江場 弘和	平成28年	加藤 直彦	令和3年	伊藤 智康
平成28年	松浦 和典	〃	山田 有	〃	大原 敏正
〃	渡邊 正臣	令和2年	柳瀬 章雅	〃	玉木 大介

全日本よい歯の学校表彰

第51回全日本学校歯科保健優良校表彰 平成24年

特別賞受賞校（日本歯科医師会会長表彰）	東丘小学校（緑区・山下孝司）
	御幸山中学校（天白区・野瀬学）
奨励賞受賞校	日比津小学校（中村区・水谷茂）

第52回全日本学校歯科保健優良校表彰

平成25年

奨励賞受賞校	瀬古小学校（守山区・中村由起夫）
	瑞穂小学校（瑞穂区・近藤規雄）
	自由ヶ丘小学校（千種区・大島勝也）
	川名中学校（昭和区・松浦和典）

第53回全日本学校歯科保健優良校表彰

平成26年

奨励賞受賞校	栄小学校（中区・谷口富夫）
	城北小学校（北区・宮田宗）
	有松中学校（緑区・蜂矢喜一郎）

第54回全日本学校歯科保健優良校表彰 平成27年

特別賞受賞校（日本歯科医師会会長表彰）	大磯小学校（南区・橋本雅範）
奨励賞受賞校	桶狭間小学校（緑区・横井隆幸）
	八事小学校（昭和区・宮原隆史）
	丸の内中学校（中区・高瀬俊勝）

第55回全日本学校歯科保健優良校表彰 平成28年

特別賞受賞校（日本歯科医師会会長表彰）	白鳥小学校	（熱田区・玉木大介）
奨励賞受賞校	東山小学校	（千種区・伊藤隆子）
	桜丘中学校	（東区・竹内紀雄）
	笹島中学校	（中村区・田中誠一）

第56回全日本学校歯科保健優良校表彰 平成29年

奨励賞受賞校	庄内小学校	（西区・横井弘孝）
	鶴舞小学校	（昭和区・柳瀬章雅）
	御園小学校	（中区・岡田孝二）
	守山東中学校	（守山区・安江一紀）

第57回全日本学校歯科保健優良校表彰 平成30年

特別賞受賞校（日本歯科医師会会長表彰）	赤星小学校	（中川区・伊藤裕一郎）
奨励賞受賞校	大高小学校	（緑区・大竹浩信）
	有松中学校	（緑区・蜂矢喜一郎）
	御幸山中学校	（天白区・野瀬学）

第58回全日本学校歯科保健優良校表彰 令和元年

奨励賞受賞校	猪高小学校	（名東区・高木善寛）
	鳴海小学校	（緑区・上野田英行）
	瑞穂小学校	（瑞穂区・近藤大夢）
	西養護学校	（中川区・中川恵裕）

第59回全日本学校歯科保健優良校表彰 令和2年

奨励賞受賞校	児玉小学校	（西区・芦荻聡）
	自由ヶ丘小学校	（千種区・大島勝也）
	旗屋小学校	（熱田区・元木達也）
	南養護学校	（熱田区・山田収）

第60回全日本学校歯科保健優良校表彰 令和3年

奨励賞受賞校	高針小学校	（名東区・都島誠一）
	なごや小学校	（西区・長谷川雄一）
	柳小学校	（中村区・芦荻昭）
	川名中学校	（昭和区・松浦孝典）

教育委員会表彰（優良保健関係者）

平成24年	足立 正人	平成28年	伊藤裕一郎	令和2年	竹内 紀雄
平成25年	土屋 佳久	平成29年	向田 吉範	令和3年	勝瀬佐和子
平成26年	高村 秀平	平成30年	鬼頭 昭夫		
平成27年	藤井 義久	令和元年	山田 耕平		

名古屋市長表彰

平成24年	伊藤 智康	平成27年	大原 敏正	令和元年	田中 誠一
〃	棚橋 正直	〃	松浦 和典	〃	柳瀬 章雅
〃	都島 誠一	平成28年	芦刈 司郎	〃	飯田麻佐生
〃	藤井 宏次	〃	玉木 大介	令和2年	山口 豊
平成25年	野瀬 学	〃	早川 洋	〃	鈴木 勝博
〃	水野 茂樹	平成29年	足立 正人	〃	近藤 隆
〃	宮野 吉文	〃	鈴木 一郎	令和3年	芦刈 明
平成26年	高木 健司	〃	橋本 雅範	〃	高村 秀平
〃	千葉 和夫	平成30年	伊藤 彰	〃	磯貝 厚典
〃	猪飼 俊彦	〃	水谷 茂		
平成27年	稲熊 弘敬	〃	土屋 佳久		

名古屋市長感謝状

平成24年	伊藤 彰	平成27年	芦刈 明	平成30年	小林 克久
〃	小川 喜仁	〃	大矢 和範	〃	柴田 英男
〃	近藤 隆	〃	長谷川 勲	令和元年	竹内 康人
〃	鈴木 勝博	〃	野田 康夫	〃	橋本 康夫
〃	鶴田 博昭	平成28年	伊藤 隆子	〃	大久保 肇
〃	土屋 佳久	〃	柵木 智晴	〃	野崎 謙治
平成25年	大島 勝也	〃	原 良成	〃	小島 元康
〃	田中 誠一	〃	松尾 孝夫	令和2年	奥村 光雄
〃	石田 國夫	〃	西田 豊	〃	磯部 晴彦
〃	磯貝 厚典	平成29年	徳光 伸二	〃	横井 弘孝
〃	蜂矢喜一郎	〃	柳瀬 章雅	〃	佐藤 亮
平成26年	二反田太一	〃	藤井 義久	〃	安藤 博史
〃	稲熊 孝弘	〃	青木 信雄	令和3年	今井 桂思
〃	林 和宏	〃	鈴木 剛史	〃	鈴木 一
〃	徳田 豊	平成30年	二宮 友明	〃	田部 修
〃	牛込 博義	〃	布目 政男	〃	早瀬 浩一
平成27年	河合 文隆	〃	大竹 浩信	〃	加藤 久喜

日本学校歯科医会会長表彰

平成24年	長谷川 幸洋 藤井 宏次 山田 有 山村 和雄	平成28年 平成29年	水谷 公一 荒川 治久 加藤 裕生 近藤 規雄	令和元年 令和2年	吉田 雅生 今泉 昌久 駒田 満 竹村 嘉明
平成25年	岩田 眞 清水 和幸 竹内 良春	平成30年	石田 孝雄 稲熊 弘敬 鬼頭 喬		千葉 和夫 徳倉 良行 中原 晋一
平成26年	大口 賢司 松岡 重樹 渡邊 正臣		辻 明男 松岡 廣司 水野 孝則	令和3年	松前 博文 水谷 義博 芦刈 茂
平成27年	荒木 進 岡田 篤典 高橋 透	令和元年	芦刈 司郎 大矢 吉宏 遠藤 泰生		江崎 民夫 西川 一成 渡辺 祐治
平成28年	大藪 武男 棚橋 正直		竹内 政夫 古田 昭臣		

30年・20年表彰

平成24年

30年勤続	水野 孝則 坪井 和義	河合 良明 吉田 雅生	松浦 和典 高橋 仁一	長屋 春夫	古田 明臣
20年勤続	藤井 尚雄 長谷川 勲 近藤 求	坂野 晃 奥村 了成 水谷 俊夫	村瀬 光成 安藤 孝典 中島 一總	水野 清 豊田 真彰	伊藤 智康 戸谷 祐久

平成25年

30年勤続	向山 葉真 杉下 晴治	丹羽 哲夫	芦刈 司郎	大藪 武男	鈴木 俊夫
20年勤続	足立 正人 小出 良樹	小川 松彌 板津 厚治	土屋 佳久 大西 新一	長谷川 茂人 山田 知博	斎藤 真賢 竹内 賢

平成26年

30年勤続	中原 晋一 住田 守継	近藤 規雄 今泉 昌久	安田 力	都島 誠一	松岡 廣司
20年勤続	青木 信夫 芦刈 明	三輪 英則 鬼頭 英明	鈴木 敬文	後藤 元	古田 薫

平成27年

30年勤続	鈴木 茂夫 香川博一郎 中川 均	小塩 裕 神野 明彦 横井 隆幸	田代 寛 千葉 和夫 佐藤 賀則	玉木 大介 大野喜代一 川瀬 光一	小山 芳和 林 正弘 野瀬 学
20年勤続	三輪 英幸 木村 博視 石井 秀樹	竹内 紀雄 奥村 剛史 橋本 雅範	浅野 敏彦 原 良成 金澤 俊文	今井 桂思 河合 文隆 佐橋 将夫	野々部憲志 岡田 由美

平成28年

30年勤続	丹羽 博司	森 秀哉	成田 鎮貴	奥村 光雄	渡辺 久郎
20年勤続	竹内 克豊	秋田 豊樹	吉田 勝弘		

平成29年

30年勤続	鈴木 一郎	岡本 善博	蜂矢喜一郎	二宮 友明	
20年勤続	阿部 本晴 鳥居 晴彦	大原 敏正 西尾 正樹	石田 國夫 梶野 一夫	本多 隆保 伊澤 彰郎	小林 克久 佐藤 亮

平成30年

30年勤続	山岡 裕幸	早川 洋	江口 雄二	山口 豊	飯田麻佐生
20年勤続	若山 敦生 近藤 芳光	近藤 隆	竹内 作	佐橋 永吉	寺島 良治

令和元年

30年勤続	磯部 晴彦 伊藤 利明	柳瀬 章雅 伊藤 彰	近藤 昌嗣	江場 弘和	笹森 将稔
20年勤続	伊藤 隆子 田中 誠一 鶴田 博昭	安藤 博史 谷口 富夫 平手 雅樹	葉山 浩幸 勝瀬 佐和子	山下 喜生 伊藤 淳	高村 秀平 福島 和夫

令和2年

30年勤続	山中 宣男	佐々 公人			
20年勤続	馬場 聡 福与 誠邦 大岩 健次	大島 勝也 浅井 勝久 小木曾 公	野田 康夫 坂野 暢治 神谷 立男	森 彰彦 吉田 全孝 坂田 泰雄	木村 英雄 橋本 降至

令和3年

30年勤務	水谷 俊男 山中 一男	横井 弘孝 岩瀬 正美	橋本 康夫	水谷 茂	鈴木 勝博
20年勤務	二反田太一 門井 聡 山口 公也	岡田 孝二 福井 介志	池山 正仁 塚本 剛	山田 孝 藤原 浩	伊藤 敏博 林 和宏

平成25～26年度 役 員

(任期 平成25年4月1日～平成27年3月31日)

会 長		松浦 和典 (昭和)	
副 会 長		藤井 義久 (緑)	
		高村 秀平 (中村)	
専務理事		伊藤裕一郎 (中川)	会務・渉外
常務理事	総 務	向田 吉範 (千種)	各会議の開催・運営
	会 計	大矢 和範 (熱田)	会計全般・予算・決算
	情 報	橋本 康夫 (西)	情報処理・会員情報管理
	学 術	柳瀬 章雅 (昭和)	研修会・セミナー要項・教育医学
	120運動	鬼頭 昭夫 (中川)	学校歯科120運動事業
	特別健診	山田 耕平 (中村)	特別健診事業
	企画広報	山下 孝司 (緑)	研修会～啓蒙活動～各審議会～ 愛歯月報・名歯会報・日学歯への投稿
理 事	総 務	松尾 孝夫 (瑞穂)	
		竹内 康人 (北)	
		福与 誠邦 (中)	
		粕谷 幸生 (瑞穂)	
		加藤 久喜 (港)	
		田部 修 (昭和)	
	学 術	宮原 隆史 (昭和)	
		松浦 宏昭 (東)	
		大岩 洋久 (天白)	
	120運動	池 昌男 (南)	
		伊藤 隆敏 (西)	
	特別健診	松岡 浩司 (名東)	
		大久保 肇 (中)	
	企 画	阪野 俊一 (緑)	
	広 報	布施 秀夫 (名東)	
監 事		木下 昭浩 (天白)	
		飯田麻佐生 (名東)	
顧 問		岡本 善博 (名古屋市会議員)	
		奥村 文洋 (名古屋市会議員)	
		渡辺 正臣 (愛知県歯科医師会会長)	
		小木曾 公 (名古屋市歯科医師会会長)	
		中垣 晴男 (愛知学院大学名誉教授)	

平成27～28年度 役 員

(任期 平成27年4月1日～平成29年3月31日)

会 長		藤井 義久 (緑)	
副 会 長		伊藤裕一郎 (中川)	会務全般
		高村 秀平 (中村)	学術～特別健診～120運動
		向田 吉範 (千種)	総務～会計～企画・広報
専務理事		山田 耕平 (中村)	会務・渉外
常務理事	総 務	竹内 康人 (北)	各会議の開催・運営～会員情報処理・管理
	会 計	飯塚 慎也 (西)	会計全般
	学 術	柳瀬 章雅 (昭和)	研修会～セミナー要項～教育医学～必携
	120運動	池 昌男 (南)	学校歯科120運動事業
	特別健診	大久保 肇 (中)	歯科疾患特別健診事業
	企画・広報	山下 孝司 (緑)	よい子の会等啓蒙活動～各種審査会 愛歯月報・名歯会報・日学歯への投稿
理 事	総 務	福与 誠邦 (中)	
		加藤 久喜 (港)	
		鈴木 一 (西)	
		寺本 貴 (瑞穂)	
		安東 孝治 (東)	
	学 術	宮原 隆史 (昭和)	
		佐藤 是孝 (中川)	
		水野 伸彦 (名東)	
	120運動	近藤 祐平 (中村)	
		勝瀬佐和子 (瑞穂)	
	特別健診	石田 宏幸 (緑)	
		近藤 晋 (天白)	
	企 画	阪野 俊一 (緑)	
	広 報	布施 秀夫 (名東)	
監 事		飯田麻佐生 (名東)	
		大矢 和範 (熱田)	
参 与		松浦 和典 (昭和)	
		橋本 雅範 (南)	
顧 問		岡本 善博 (名古屋市会議員)	
		奥村 文洋 (名古屋市会議員)	
		渡邊 正臣 (愛知県歯科医師会会長)	
		小木曾 公 (名古屋市歯科医師会会長)	
		嶋崎 義浩 (愛知学院大学歯学部教授)	
		中垣 晴男 (愛知学院大学名誉教授)	

平成29～30年度 役 員

(任期 平成29年4月1日～平成31年3月31日)

会 長		高村 秀平 (中村)	
副 会 長		伊藤裕一郎 (中川)	会務全般
		向田 吉範 (千種)	総務～会計～学術
		竹内 紀雄 (東)	120運動～特別健診～企画
専務理事		鬼頭 昭夫 (中川)	会務～渉外
常務理事	総 務	山田 耕平 (中村)	各会議の開催～運営
	会 計	飯塚 慎也 (西)	会計全般～予算～決算
	学 術	宮原 隆史 (昭和)	研修会～セミナー要項～教育医学
	120運動	池 昌男 (南)	学校歯科120運動事業
	特別健診	大久保 肇 (中)	特別健診事業～広報事業
	企 画	勝瀬佐和子 (瑞穂)	よい子の会等啓蒙活動～優良校審査会
理 事	総 務	竹内 康人 (北)	
		福与 誠邦 (中)	
		高橋 拡史 (中村)	
	学 術	加藤 稔教 (名東)	
		多畑 朋成 (港)	
	120運動	青木 宏道 (天白)	
		飯田 久之 (北)	
	特別健診	酒井 文雄 (熱田)	
	広 報	嶋 隆義 (名東)	特別健診兼務
	企 画	出口 雄之 (瑞穂)	
監 事		飯田麻佐生 (名東)	
		柳瀬 章雅 (昭和)	
顧 問		岡本 善博 (名古屋市会議員)	
		奥村 文洋 (名古屋市会議員)	
		内堀 典保 (愛知県歯科医師会会長)	
		渡邊 正臣 (愛知県歯科医師会前会長)	
		小木曾 公 (名古屋市歯科医師会会長)	
		嶋崎 義浩 (愛知学院大学歯学部教授)	
		森田 一三 (日本赤十字豊田看護大学教授)	
		中垣 晴男 (愛知学院大学名誉教授)	
参 与		松浦 和典 (昭和)	
		藤井 義久 (緑)	
		橋本 雅範 (南)	

令和元・2年度 役員

(任期 平成31年4月1日～令和3年3月31日)

会 長		高村 秀平 (中村)	
副 会 長		伊藤裕一郎 (中川)	会務全般
		向田 吉範 (千種)	総務～会計～学術
		竹内 紀雄 (東)	120運動～特別健診～企画
専務理事		鬼頭 昭夫 (中川)	会務～渉外
常務理事	総 務	山田 耕平 (中村)	各会議の開催～運営
	会 計	丹羽 大介 (西)	会計全般～予算～決算
	学 術	宮原 隆史 (昭和)	研修会～セミナー要項～教育医学
	120運動	青木 宏道 (天白)	学校歯科120運動事業
	特別健診	酒井 文雄 (熱田)	特別健診事業～広報事業
	企 画	勝瀬佐和子 (瑞穂)	よい子の会等啓発活動～優良校審査会
理 事	総 務	福与 誠邦 (中)	
		山田 晃弘 (天白)	
		梶田 伸 (南)	
		野村 尚輝 (中)	
	学 術	高橋 拓史 (中村)	
		吉田 康介 (千種)	
		古橋 剛 (港)	
	120運動	飯田 久之 (北)	
		伊藤 淳 (西)	
	特別健診	奥村 竜也 (緑)	
	広 報	嶋 隆義 (名東)	特別健診兼務
	企 画	出口 雄之 (瑞穂)	
監 事		柳瀬 章雅 (昭和)	
		竹内 康人 (北)	
顧 問		岡本 善博 (名古屋市会議員)	
		内堀 典保 (愛知県歯科医師会会長)	
		小木曾 公 (名古屋市歯科医師会前会長 令和元年6月まで)	
		都島 誠一 (名古屋市歯科医師会会長 令和元年7月より)	
		嶋崎 義浩 (愛知学院大学歯学部教授)	
		森田 一三 (日本赤十字豊田看護大学教授)	
		中垣 晴男 (愛知学院大学名誉教授)	
参 与		松浦 和典 (昭和)	
		藤井 義久 (緑)	
		飯田麻佐生 (名東)	
		橋本 雅範 (南)	

令和3・4年度 役員

(任期 令和3年4月1日～令和5年3月31日)

会 長		伊藤裕一郎 (中川)	
副 会 長		向田 吉範 (千種)	総務～会計～学術
		青木 宏道 (天白)	120運動～特別健診～企画
専務理事		山田 耕平 (中村)	会務～渉外
常務理事	総 務	梶田 伸 (南)	各会議の開催～運営
	会 計	勝瀬佐和子 (瑞穂)	会計全般～予算～決算
	学 術	宮原 隆史 (昭和)	研修会～セミナー要項～教育医学
	120運動	飯田 久之 (北)	学校歯科120運動事業
	特別健診	酒井 文雄 (熱田)	特別健診事業～広報事業
	企 画	丹羽 大介 (西)	よい子の会等啓発活動～優良校審査会
理 事	総 務	福与 誠邦 (中)	
		矢澤 健呉 (港)	
	会 計	水谷 好克 (瑞穂)	
	学 術	高橋 拡史 (中村)	
		大橋 盛人 (東)	
		石田 宏幸 (緑)	
	120運動	伊藤 淳 (西)	
		師田 依里 (千種)	
		早野 博志 (東)	
	特別健診	水野 良洋 (天白)	
	広 報	嶋 隆義 (名東)	特別健診兼務
	企 画	出口 雄之 (瑞穂)	
		野村 尚輝 (中)	
監 事		柳瀬 章雅 (昭和)	
		竹内 紀雄 (東)	
顧 問		岡本 善博 (名古屋市会議員)	
		内堀 典保 (愛知県歯科医師会会長)	
		都島 誠一 (名古屋市歯科医師会会長)	
		嶋崎 義浩 (愛知学院大学歯学部教授)	
		森田 一三 (日本赤十字豊田看護大学教授)	
		中垣 晴男 (愛知学院大学名誉教授)	
参 与		藤井 義久 (緑)	
		高村 秀平 (中村)	

平成23・24年度名古屋市学校歯科医会支部長等

(平成23年4月1日～平成25年3月31日)

平成24年6月現在

支 部	支 部 長	副支部長	支部学術担当者
千種区	高木健司	丸山哲夫 藤井尚雄	三輪英幸
東区	安東孝治	日比浩樹	日比浩樹
北区	二反田太一	足立正人 丹羽哲夫	奥井英幹
西区	鈴木一郎	芦刈司郎 森秀哉	伊藤隆敏
中村区	松岡重樹	水谷茂 秋田豊樹	山田耕平
中区	平手雅樹	谷口富夫	岡田孝二
昭和区	林正之	田部修	鈴木敦視
瑞穂区	猪飼一徳	坂野暢治	鈴木勝博
熱田区	玉木大介	伊藤淳	伊藤淳
中川区	徳光伸二	大北裕一 西田豊	鬼頭昭夫
港区	秋田秀義	竹内良春 大西新一	小柳廣光
南区	稲熊弘敬	鶴田博昭	小島優一
守山区	近藤隆	小林克久	小林克久
緑区	豊田真彰	藤井義久 鬼頭秀明	柘植優三
名東区	都島誠一	岩瀬正美 松岡廣司	岡田篤典
天白区	伊藤彰	牛込博義	黒田俊幸

平成23・24年度名古屋市学校歯科医会代議員

(平成23年4月1日～平成25年3月31日)

平成24年6月現在

支 部	No	代 議 員	予備代議員
千 種 区	1	高 木 健 司	丸 山 哲 夫
	2	藤 井 尚 雄	三 輪 英 幸
	3	伊 藤 隆 子	加 藤 裕 生
東 区	4	安 東 孝 治	竹 内 紀 雄
	5	日 比 浩 樹	中 村 浩 之
北 区	6	二反田 太 一	水 野 義 樹
	7	野 田 康 夫	村 瀬 光 成
	8	足 立 正 人	土 橋 東
西 区	9	鈴 木 一 郎	野々部 憲 志
	10	芦 刈 司 郎	鈴 木 一
	11	大 口 賢 司	森 彰 彦
中 村 区	12	松 岡 重 樹	宮 本 正 彰
	13	水 谷 茂 樹	三 輪 巖 成
	14	秋 田 豊 樹	原 良 成
中 区	15	平 手 雅 樹	岡 田 孝 二
	16	谷 口 富 夫	亀 井 俊 雄
昭 和 区	17	林 正 之	柵 木 智 晴
	18	田 部 修	渡 辺 明 博
瑞 穂 区	19	猪 飼 一 徳	鈴 木 勝 博
	20	勝 瀬 佐和子	坂 野 暢 治
熱 田 区	21	玉 木 大 介	水 野 茂 樹
	22	伊 藤 淳	富 田 康 正
中 川 区	23	徳 光 伸 二	西 田 豊
	24	早 瀬 浩 一	大 北 裕 一
	25	安 井 宏 行	山 下 卓 哉
港 区	26	秋 田 秀 義	長谷部 雅 志
	27	竹 内 良 春	小 柳 廣 光
	28	大 西 新 一	神 野 明 彦
南 区	29	稲 熊 弘 敬	長谷川 茂 人
	30	鶴 田 博 昭	大 岩 健 次
	31	橋 本 雅 範	門 井 聡
守 山 区	32	近 藤 隆	鳥 居 晴 彦
	33	小 林 克 久	近 藤 雅 浩
	34	前 田 佳 彦	吉 本 裕 彦
緑 区	35	豊 田 真 彰	近 藤 求
	36	大 竹 浩 信	柘 植 優 三
	37	鬼 頭 秀 明	長 屋 良 隆
名 東 区	38	都 島 誠 一	川 瀬 光 一
	39	岩 瀬 正 美	岡 田 篤 典
	40	松 岡 廣 司	竹 村 嘉 明
天 白 区	41	伊 藤 彰 義	小 出 良 樹
	42	牛 込 博 義	近 藤 芳 充
	43	大 岩 洋 久	波多野 傑

平成25・26年度名古屋市学校歯科医会支部長等

(平成25年4月1日～平成27年3月31日)

支 部	支 部 長	副支部長	支部学術担当者
千種区	藤井尚雄	安藤博史 伊藤隆子	三輪英幸
東区	竹内紀雄	日比浩樹	中村浩之
北区	二反田太一	足立正人 小川善仁	奥井英幹
西区	芦刈司郎	森 彰彦 橋本康夫	下條長宏
中村区	松岡重樹	水谷 茂 秋田豊樹	山田耕平
中区	谷口富夫	岡田孝二	岡田孝二
昭和区	林 正之	渡辺明博	鈴木敦視
瑞穂区	磯貝厚典	坂野暢治	鈴木勝博
熱田区	玉木大介	伊藤 淳	伊藤 淳
中川区	西田 豊	大北裕一 森 重人	野崎謙治
港区	加藤道哉	石井秀樹	中西基嘉
南区	稲熊弘敬	小島優一	鶴田博昭
守山区	近藤 隆	小林克久	小林克久
緑区	大竹浩信	鬼頭秀明 藤井義久	柘植優三
名東区	都島誠一	岩瀬正美 松岡廣司	岡田篤典
天白区	牛込博義	佐橋将夫	久野正博

平成25・26年度名古屋市学校歯科医会代議員

(平成25年4月1日～平成27年3月31日)

支 部	No	代 議 員	予備代議員
千 種 区	1	藤 井 尚 雄	加 藤 裕 生
	2	高 木 健 司	安 藤 博 史
	3	伊 藤 隆 子	新 實 一 仁
東 区	4	竹 内 紀 雄	中 村 浩 之
	5	日 比 浩 樹	加 藤 勝 弥
北 区	6	二反田 太 一	谷 口 秀 彰
	7	足 立 正 人	村 瀬 光 成
	8	野 田 康 夫	土 橋 東
西 区	9	芦 刈 司 郎	森 彰 彦
	10	鈴 木 一 郎	下 條 長 宏
	11	鈴 木 一	飯 塚 慎 也
中 村 区	12	松 岡 重 樹	原 良 成
	13	水 谷 茂	三 輪 巖
	14	秋 田 豊 樹	宮 本 正 彰
中 区	15	谷 口 富 夫	南 全
	16	岡 田 孝 二	平 手 雅 樹
昭 和 区	17	林 正 之	鈴 木 敦 視
	18	渡 辺 明 博	柵 木 智 晴
瑞 穂 区	19	磯 貝 厚 典	坂 野 暢 治
	20	勝 瀬 佐 和 子	鈴 木 勝 博
熱 田 区	21	玉 木 大 介	水 野 茂 樹
	22	伊 藤 淳	富 田 康 正
中 川 区	23	西 田 豊	森 重 人
	24	徳 光 伸 二	野 崎 謙 治
	25	山 下 卓 哉	大 北 裕 一
港 区	26	加 藤 道 哉	石 井 秀 樹
	27	秋 田 秀 義	神 野 明 彦
	28	竹 内 良 春	橋 本 隆 至
南 区	29	稲 熊 弘 敬	小 出 健 二
	30	小 島 優 一	大 岩 健 次
	31	橋 本 雅 範	門 井 聡
守 山 区	32	近 藤 隆	前 田 佳 彦
	33	小 林 克 久	近 藤 雅 浩
	34	米 山 昌 富	鳥 居 晴 彦
緑 区	35	大 竹 浩 信	小 森 敦 夫
	36	鬼 頭 秀 明	上 野 田 英 行
	37	柘 植 優 三	安 藤 久 成
名 東 区	38	都 島 誠 一	川 瀬 光 一
	39	岩 瀬 正 美	岡 田 篤 典
	40	松 岡 廣 司	東 浦 司
天 白 区	41	牛 込 博 義	黒 田 俊 幸
	42	佐 橋 将 夫	長 谷 川 武 史
	43	波 多 野 傑	今 泉 昌 久

平成27・28年度名古屋市学校歯科医会支部長等

(平成27年4月1日～平成29年3月31日)

支 部	支 部 長	副支部長	支部学術担当者
千種区	藤井尚雄	安藤博史 伊藤隆子	三輪英幸
東区	竹内紀雄	日比浩樹	松浦宏昭
北区	野田康夫	足立正人 小川喜仁	奥井英幹
西区	芦刈司郎	橋本康夫	下条長宏
中村区	松岡重樹	水谷 茂 秋田豊樹	田中誠一
中区	岡田孝二	木村隆夫	高瀬俊勝
昭和区	竹内祐介	渡辺明博	林 正之
瑞穂区	磯貝厚典	坂野暢治	鈴木勝博
熱田区	玉木大介	伊藤 淳	伊藤 淳
中川区	西田 豊	徳光伸二	加藤尚一
港区	伊藤敏博	橋本隆至	近藤英人
南区	稻熊弘敬	小島優一	鶴田博昭
守山区	近藤 隆	小林克久	小林克久
緑区	大竹浩信	小島元康 山下孝司	小松晋一
名東区	都島誠一	岩瀬正美 川瀬光一	岡田篤典
天白区	佐橋将夫	二宮友明	水谷 清

平成27・28年度名古屋市学校歯科医会代議員

(平成27年4月1日～平成29年3月31日)

支 部	No	代 議 員	予備代議員
千 種 区	1	高 木 健 司	加 藤 裕 生
	2	藤 井 尚 雄	安 藤 博 史
	3	伊 藤 隆 子	新 實 一 仁
東 区	4	竹 内 紀 雄	松 浦 宏 昭
	5	日 比 浩 樹	中 村 浩 之
北 区	6	足 立 正 人	二反田 太 一
	7	宮 田 宗	谷 口 秀 彰
	8	野 田 康 夫	乗 原 尚 史
西 区	9	芦 刈 司 郎	森 彰 彦
	10	橋 本 康 夫	下 條 長 宏
	11	鈴 木 一 郎	山 田 敏 夫
中 村 区	12	松 岡 重 樹	三 輪 巖 成
	13	水 谷 茂	原 良 成
	14	秋 田 豊 樹	横 井 正 勝
中 区	15	岡 田 孝 二	南 全
	16	木 村 隆 夫	谷 口 富 夫
昭 和 区	17	竹 内 祐 介	林 正 之
	18	渡 辺 明 博	服 部 東
瑞 穂 区	19	柴 田 英 男	鈴 木 勝 博
	20	磯 貝 厚 典	坂 野 暢 治
熱 田 区	21	玉 木 大 介	山 中 一 男
	22	伊 藤 淳	山 田 収
中 川 区	23	西 田 豊	加 藤 尚 一
	24	徳 光 伸 二	今 井 章 元
	25	山 下 卓 哉	中 川 恵 裕
港 区	26	伊 藤 敏 博	橋 本 隆 至
	27	辻 明 男	石 井 秀 樹
	28	多 畑 朋 成	布 目 政 男
南 区	29	稲 熊 弘 敬	小 出 健 二
	30	小 島 優 一	大 岩 健 次
	31	橋 本 雅 範	門 井 聡
守 山 区	32	近 藤 隆	前 田 佳 彦
	33	小 林 克 久	近 藤 雅 浩
	34	米 山 昌 富	鳥 居 晴 彦
緑 区	35	大 竹 浩 信	山 本 冬 彦
	36	小 松 晋 一	鬼 頭 秀 明
	37	小 島 元 康	柘 植 優 三
名 東 区	38	都 島 誠 一	川 瀬 光 一
	39	岩 瀬 正 美	岡 田 篤 典
	40	松 岡 廣 司	東 浦 司
天 白 区	41	佐 橋 将 夫	近 藤 芳 充
	42	二 宮 友 明	堀 江 保 男
	43	木 下 昭 浩	水 谷 清

平成29・30年度名古屋市学校歯科医会支部長等

(平成29年4月1日～平成31年3月31日)

支 部	支 部 長	副支部長	支部学術担当者
千種区	伊藤隆子	竹本憲夫 三輪英幸	山本智史
東区	松浦宏昭	日比浩樹	松浦宏昭
北区	野田康夫	足立正人 小川喜仁	奥井英幹
西区	芦刈司郎	森彰彦	下条長宏
中村区	松岡重樹	水谷茂 秋田豊樹	田中誠一
中区	木村隆夫	南全	山中康寛
昭和区	服部哲雄	渡辺明博	丹下春美
瑞穂区	磯貝厚典	坂野暢治	寺本貴
熱田区	玉木大介	伊藤淳	伊藤淳
中川区	西田豊	森重人	加藤尚一
港区	加藤久喜	竹内良春	鈴木淳大
南区	稲熊弘敬	小島優一	鶴田博昭
守山区	近藤隆	小林克久	小林克久
緑区	小島元康	大竹浩信 柘植優三 林和宏	小島正治
名東区	都島誠一	岩瀬正美 川瀬光一	岡田篤典
天白区	二宮友明	寺島良治	波多野傑

平成29・30年度名古屋市学校歯科医会代議員

(平成29年4月1日～平成31年3月31日)

支 部	No	代 議 員	予備代議員
千 種 区	1	高 木 健 司	新 寛 一 仁
	2	藤 井 尚 雄	竹 本 憲 夫
	3	伊 藤 隆 子	三 輪 英 幸
東 区	4	松 浦 宏 昭	青 木 信 雄
	5	日 比 浩 樹	中 村 浩 之
北 区	6	足 立 正 人	二反田 太 一
	7	宮 田 宗	谷 口 秀 彰
	8	野 田 康 夫	桑 原 尚 史
西 区	9	芦 刈 司 郎	森 彰 彦
	10	山 田 敏 夫	鈴 木 一 郎
	11	橋 本 康 夫	下 條 長 宏
中 村 区	12	水 谷 茂	田 中 誠 一
	13	秋 田 豊 樹	原 良 成
	14	三 輪 巖	横 井 正 勝
中 区	15	木 村 隆 夫	高 瀬 俊 勝
	16	南 全	山 中 康 寛
昭 和 区	17	服 部 哲 雄	林 正 之
	18	渡 辺 明 博	服 部 東
瑞 穂 区	19	柴 田 英 男	鈴 木 勝 博
	20	磯 貝 厚 典	坂 野 暢 治
熱 田 区	21	玉 木 大 介	大 矢 和 範
	22	伊 藤 淳 豊	山 田 収
中 川 区	23	西 田 豊	森 重 人
	24	徳 光 伸 二	加 藤 尚 一
	25	山 下 卓 哉	野 崎 謙 治
港 区	26	加 藤 久 喜	矢 澤 健 吾
	27	竹 内 良 春	古 橋 剛
	28	鈴 木 淳 大	辻 明 男
南 区	29	稲 熊 弘 敬	小 出 健 二
	30	小 島 優 一	鶴 田 博 昭
	31	大 岩 健 次	門 井 聡
守 山 区	32	近 藤 隆	前 田 佳 彦
	33	小 林 克 久	米 山 昌 富
	34	近 藤 雅 浩	山 田 哲 明
緑 区	35	小 島 元 康	神 野 正 人
	36	大 竹 浩 信	林 和 宏
	37	小 島 正 治	奥 村 竜 也
名 東 区	38	都 島 誠 一	川 瀬 光 一
	39	岩 瀬 正 美	岡 田 篤 典
	40	松 岡 廣 司	東 浦 司
天 白 区	41	二 宮 友 明	波 多 野 傑
	42	寺 島 良 治	近 藤 芳 充
	43	堀 江 保 男	水 谷 清

令和元・2年度名古屋市学校歯科医会支部長等

(平成31年4月1日～令和3年3月31日)

支 部	支 部 長	副支部長	支部学術担当者
千種区	伊藤隆子	竹本憲夫 三輪英幸	山本智史
東区	松浦宏昭	松田朋広	清水つかさ
北区	谷口秀彰	野田康夫 小川喜仁	奥井英幹
西区	橋本康夫	森 彰彦	伊藤隆敏
中村区	松岡重樹	水谷 茂 秋田豊樹	田中誠一
中区	南 全	高瀬俊勝	河合秀樹
昭和区	服部哲雄	鈴木敦視	中村潤一
瑞穂区	磯貝厚典	坂野暢治	寺本 貴
熱田区	玉木大介	伊藤 淳	伊藤 淳
中川区	早瀬浩一	山下卓哉	加藤尚一
港区	加藤久喜	竹内良春 鈴木淳大	山田豊美
南区	池 昌男	鶴田博昭	中島靖之
守山区	近藤 隆	小林克久	小林克久
緑区	小島元康	大竹浩信 林 和宏	小島正治
名東区	西村助吉	岩瀬正美 東浦 司	水野伸彦
天白区	寺島良治	久野正博	長谷川武史

令和元・2年度名古屋市学校歯科医会代議員

(平成31年4月1日～令和3年3月31日)

支 部	No	代 議 員	予備代議員
千 種 区	1	伊 藤 隆 子	高 木 健 司
	2	藤 井 尚 雄	竹 本 憲 夫
	3	新 寛 一 仁	三 輪 英 幸
東 区	4	松 浦 宏 昭	清 水 つかさ
	5	松 田 朋 広	中 村 浩 之
北 区	6	谷 口 秀 彰	二反田 太 一
	7	宮 田 宗	足 立 正 人
	8	鈴 木 貴 雄	桑 原 尚 史
西 区	9	橋 本 康 夫	森 彰 彦
	10	鈴 木 一 郎	山 田 敏 夫
	11	飯 塚 慎 也	伊 藤 隆 敏
中 村 区	12	水 谷 茂	田 中 誠 一
	13	秋 田 豊 樹	原 良 成
	14	三 輪 巖	
中 区	15	南 全	河 合 秀 樹
	16	高 瀬 俊 勝	山 中 康 寛
昭 和 区	17	服 部 哲 雄	丹 下 春 美
	18	鈴 木 敦 視	柵 木 智 晴
瑞 穂 区	19	柴 田 英 男	三 治 正 幸
	20	磯 貝 厚 典	
熱 田 区	21	玉 木 大 介	大 矢 和 範
	22	伊 藤 淳	山 田 収
中 川 区	23	早 瀬 浩 一	西 田 豊
	24	徳 光 伸 二	加 藤 尚 一
	25	山 下 卓 哉	野 崎 謙 治
港 区	26	加 藤 久 喜	矢 澤 健 呉
	27	竹 内 良 春	鈴 木 淳 大
	28	山 田 豊 美	隅 田 晃 史
南 区	29	池 昌 男	小 島 優 一
	30	稲 熊 弘 敬	大 岩 健 次
	31	中 島 靖 之	小 出 健 二
守 山 区	32	近 藤 隆	古 田 淳
	33	小 林 克 久	米 山 昌 富
	34	近 藤 雅 浩	山 田 哲 明
緑 区	35	小 島 元 康	林 和 宏
	36	大 竹 浩 信	柘 植 優 三
	37	小 島 正 治	奥 村 竜 也
名 東 区	38	西 村 助 吉	川 瀬 光 一
	39	岩 瀬 正 美	水 野 信 彦
	40	東 浦 司	都 島 誠 一
天 白 区	41	寺 島 良 治	黒 田 俊 幸
	42	久 野 正 博	木 下 昭 浩
	43	大 岩 洋 久	水 谷 清

令和3・4年度名古屋市学校歯科医会支部長等

(令和3年4月1日～令和5年3月31日)

支 部	支 部 長	副支部長	支部学術担当者
千種区	伊藤隆子	竹本憲夫 三輪英幸	山本智史
東区	清水つかさ	松田朋広	清水つかさ
北区	河添克明	野田康夫 宮田宗	奥井英幹
西区	橋本康夫	横井弘孝 伊藤隆敏	山田邦博
中村区	松岡重樹	水谷茂 秋田豊樹	田中誠一
中区	高瀬俊勝	河合秀樹	山中康寛
昭和区	服部哲雄	鈴木敦視	渡辺明博
瑞穂区	磯貝厚典	坂野暢治	寺本貴
熱田区	玉木大介	早川洋	早川洋
中川区	早瀬浩一	山下卓哉 野崎謙治	加藤尚一
港区	古橋剛	加藤久喜	山田豊美
南区	橋本雅範	中島靖之	長屋弘
守山区	近藤隆	小林克久	小林克久
緑区	小島元康	大竹浩信 林和宏	松浦周
名東区	西村助吉	岩瀬正美 東浦司	水野伸彦
天白区	久野正博	神谷立男	黒田俊幸

令和3・4年度名古屋市学校歯科医会代議員

(令和3年4月1日～令和5年3月31日)

支 部	No	代 議 員	予備代議員
千 種 区	1	伊 藤 隆 子	高 木 健 司
	2	藤 井 尚 雄	竹 本 憲 夫
	3	新 寛 一 仁	三 輪 英 幸
東 区	4	清 水 つかさ	中 村 浩 之
	5	松 田 朋 広	松 浦 宏 昭
北 区	6	河 添 克 明	二反田 太 一
	7	栗 原 尚 志	山 下 義 生
	8	柴 田 賢 三	水 野 義 樹
西 区	9	橋 本 康 夫	鈴 木 一
	10	鈴 木 一 郎	山 田 邦 博
	11	横 井 弘 孝	伊 藤 隆 敏
中 村 区	12	水 谷 茂	田 中 誠 一
	13	秋 田 豊 樹	原 良 成
	14	三 輪 巖	横 山 忠
中 区	15	高 瀬 俊 勝	南 全
	16	河 合 秀 樹	山 中 康 寛
昭 和 区	17	服 部 哲 雄	丹 下 春 美
	18	鈴 木 敦 視	柵 木 智 晴
瑞 穂 区	19	柴 田 英 男	三 治 正 幸
	20	磯 貝 厚 典	
熱 田 区	21	玉 木 大 介	伊 藤 淳
	22	早 川 洋	山 田 収
中 川 区	23	早 瀬 浩 一	西 田 豊
	24	徳 光 伸 二	加 藤 尚 一
	25	山 下 卓 哉	野 崎 謙 治
港 区	26	加 藤 久 喜	中 西 基 嘉
	27	竹 内 良 春	岡 田 太 郎
	28	古 橋 剛	隅 田 晃 史
南 区	29	橋 本 雅 範	門 井 聡
	30	稲 熊 弘 敬	大 岩 健 次
	31	中 島 靖 之	小 出 健 二
守 山 区	32	近 藤 隆	古 田 淳
	33	小 林 克 久	米 山 昌 富
	34	近 藤 雅 浩	山 田 哲 明
緑 区	35	小 島 元 康	林 和 宏
	36	大 竹 浩 信	筒 井 研 一
	37	小 島 正 治	末 永 祐 敬
名 東 区	38	西 村 助 吉	川 瀬 光 一
	39	岩 瀬 正 美	水 野 信 彦
	40	東 浦 司	飯 田 麻 佐 生
天 白 区	41	久 野 正 博	大 岩 洋 久
	42	神 谷 立 男	松 尾 学
	43	玉 田 康 明	山 田 晃 弘

業 績

教育医学（名古屋）（2000年以降分）

1. 柳瀬 章雅：生活習慣と歯科疾患の関連性について
 －歯周疾患要観察者の事後措置の必要性－ 40：46-49, 2000
2. 江場 弘和：名古屋市学校歯科123運動 40：50-58, 2000
3. 稲熊 弘敬：養護教諭実務研修
 －学校現場における歯科保健活動への提言－ 41：90-98, 2001
4. 鈴木 俊夫：言語障害 －歯科領域における構音障害－ 41：99-102, 2001
5. 鶴田 博昭ほか：名古屋市立桜台高校ラグビー部での
 マウスガードについてのアンケート調査 42：44-49, 2002
6. 三輪 英幸：健診結果から見える中学校での歯科保健教育
 －121運動の延長線上にあるもの－ 43：39-41, 2003
7. 鈴木 俊夫ほか：学校現場における医療的ケアを考える
 －危機管理を視点に－ 43：44-46, 2003
8. 鈴木 勝博、三輪 英幸：123運動から121運動へ 学校歯科保健教育を考える
 44：52-56, 2004
9. 蜂矢喜一郎：名古屋市児童歯みがき大会「歯をまもるよい子の会」の教育的意義
 44：33-37, 2004
10. 121運動委員会：総説「名古屋市学校歯科121運動」
 －パンフレット配布に伴う予備知識と留意点について－ 45：50-54, 2005
11. 大原 敏正：上海、南京市学校歯科保健視察報告 46：55-60, 2006
12. 藤井 義久：マウスガードと損傷予防について 47：52-56, 2007
13. 鈴木 俊夫ほか：特別支援学校における歯みがきの実践
 －発達段階に合わせた指導－ 48：35-38, 2008
14. 高村 秀平：誕生10周年の「名古屋市学校歯科121運動」 48：59-65, 2008
15. 柳瀬 章雅：名古屋市歯科疾患特別健康診断におけるPMA指数の有用性
 －歯科疾患（歯周疾患）特別健康診断の効果的展開に向けて－ 49：50-56, 2010
16. 鈴木 俊夫ほか：口腔機能と給食と調理形態について
 －リスクマネジメントの視点から－ 49：57-59, 2010
17. 松尾 孝夫：「歯をまもるよい子の会」の役割 －節目を迎えて－ 50：46-50, 2011
18. 高村 秀平：「歯科保健衛生優良校審査」審査基準項目の追加・解説
 －近年の学校歯科保健の流れに沿って－ 51：54-57, 2012
19. 鈴木 俊夫：災害（震災）時の口腔管理 －口腔ケアを中心として－ 51：58-62, 2012

教育医学 2013年 (H25)～

20. 山田 耕平：特別健診活動25年と今後
－デンタルフロス導入に向けて－ 52：51－54, 2013
21. 鬼頭 昭夫：学校歯科120（イチニイマル）運動
－名古屋市学校歯科医会120運動－ 53：54－58, 2014
22. 宮原 隆史：学校歯科健診における不正咬合（M. MO）の問題点
－審査基準の変更のご提案－ 54：44－49, 2015
23. 高村 秀平：素晴らしい学習教材、学校歯科保健－基礎概念の解説－ 55：55－59, 2016
24. 佐藤 是孝：平成28年度学校歯科健康診断基準の改訂について 56：55－58, 2017
25. 伊藤裕一郎：歯並びに関する保護者の意識と健診結果との相違について 57：57－61, 2018
26. 森田 一三（日本赤十字豊田看護大学）：生活習慣と歯や口の健康 58：59－63, 2019
27. 野々山順也（愛知学院大学歯学部口腔衛生学講座）：
児童に対する口腔保健指導における唾液検査の有用性の検討
－名古屋市学校歯科医会の取り組み「むし歯や歯肉炎ゼロを目指して」－
59：56－60, 2020
28. 飯田 久之：学校歯科120運動の現状
－むし歯ゼロへ、歯みがきか、それ以外か－ 60：52－57, 2021
29. 嶋崎 義浩（愛知学院大学歯学部口腔衛生学講座）：
－中学校による歯肉炎の自己評価の試み－
生徒自身が歯肉の健康に関心を持つために 61：49－53, 2022

投稿・発表（報告分）2005年 (H17)～

- 高村 秀平、江場 弘和、中垣 晴男ほか：
名古屋市学校歯科 121 運動の成果と今後の課題
口腔衛生学会誌 55(4)：452, 2005
- 高村 秀平、江場 弘和、中垣 晴男ほか：
名古屋市学校歯科 121 運動の活動評価について
第54回日本口腔衛生学会 東京都品川区立総合会館きゅりあん
2005.10.7
- 高村 秀平、江場 弘和、中垣 晴男ほか：
名古屋市学校歯科 121 運動の評価と課題 第2報
口腔衛生学会誌 56(4)：631, 2006
- 高村 秀平、江場 弘和、中垣 晴男ほか：
名古屋市学校歯科 121 運動の活動評価について（第2報）
第55回日本口腔衛生学会 大阪府豊中市千里ライフサイエンスセンター
2006.10.7

- 高村 秀平：低学年児童の家庭教育に取り組んでいる名古屋市学校歯科 121 運動
日本学校歯科医会会誌 106：28-34, 2010
- 高村 秀平：名古屋市学校歯科 121 運動について
第 61 回全国政令指定都市学校保健協議会前日歯科保健協議会
大阪リーガロイヤルホテル 2010. 5. 15
- 柳瀬 章雅：名古屋市歯科疾患特別健康診断における PMA 指数の有用性
一 歯科疾患（歯周疾患）特別健康診断の効果的展開に向けて一
第 61 回指定都市学校保健協議会第 2 分科会（保健管理）
大阪国際会議場 2010. 5. 16
- 山田 耕平、松浦 和典、柳瀬 章雅、中垣 晴男：
名古屋市歯科疾患特別健診活動 24 年と今後
第 58 回日本学校保健学会 名古屋大学 2011. 11. 12
学校保健研究 53 Suppl：258, 2011

指定都市学校保健協議会

- ・ 第66回 名古屋市 池 昌男：ランチョンセミナー
「むし歯ゼロを目指して16年の歩み-120運動」 2015年（平成27）
- ・ 第67回 静岡市 高村 秀平：「学校保健の礎を担う、家庭（保護者）への情報提供の勧め」
2016年（平成28）
- ・ 第73回 熊本市 提言原稿 伊藤裕一郎：「名古屋市における学校歯科保健教育の取組」
2022年（令和4）

指定都市学校保健協議会前日歯科保健協議会

- ・ 第64回 神戸市 伊藤裕一郎 提言発表
「ここ数年における各都市での学校歯科保健事業の取り組みについて」
2013年（平成25）
- ・ 第65回 横浜市 伊藤裕一郎
「ネグレクトに関して実際に現場で遭遇したケースでの対応について」
2014年（平成26）
- ・ 第65回 横浜市 山田 耕平：「特別健診事業」 2014年（平成26）
- ・ 第66回 名古屋市 宮原 隆史：「学校歯科健診における不正咬合（M. MO）の問題点」
2015年（平成27）

東海学校保健学会

- ・第60回東海学校保健学会 日本赤十字豊田看護大学 豊田市 池 昌男ほか
「120運動を通して考える低学年児童の歯と口腔の健康について」 2017年（平成29）
- ・第62回東海学校保健学会 東海学園大学 名古屋市 高橋 拓史、宮原 隆史ほか
ランチョンセミナー
「歯並びや顎の発育障害となる悪習癖について」 2019年（令和元）

全国学校歯科保健研究大会

- ・第78回全国学校歯科保健研究大会ポスター発表 松江市 山田 耕平ほか
デンタルフロス指導による歯肉炎予防効果 2014年（平成26）
- ・第79回全国学校歯科保健研究大会ポスター発表 長野市 山下 孝司ほか
名古屋市における「歯をまもるよい子の会」の取り組みについて 2015年（平成27）
- ・第80回全国学校歯科保健研究大会ポスター発表 東京都 高村 秀平ほか
「生き抜く力」の習得度として「歯科健康診断結果のお知らせ」の回収率に関する
報告（名古屋市） 2016年（平成28）
- ・第81回全国学校歯科保健研究大会ポスター発表 青森市 池 昌男ほか
「家族とともに歯と口腔の健康に取り組む120運動の紹介」 2017年（平成29）
- ・第82回全国学校歯科保健研究大会ポスター発表 沖縄県宜野湾市 大久保 肇ほか
児童に対する口腔保健指導における唾液検査の有用性の検討 2018年（平成30）
- ・第83回全国学校歯科保健研究大会ポスター発表 山口市 高村 秀平
「生き抜く力」の習得度として、「歯科健康診断結果のお知らせ」の回収率に関する
報告（名古屋）＜続報＞ 2019年（令和元）
- ・第83回全国学校歯科保健研究大会ポスター発表 山口市 高橋 拓史、宮原 隆史ほか
歯並びや顎の発育障害となる悪習癖について ～その具体的対策法の紹介～
2019年（令和元）

— 編集後記 —

本記念誌発刊に際し、ご協力を賜りました名古屋市教育委員会の皆様をはじめ本役員、学校保健に携わる方々、本会員の方々、祝辞や資料をご提供いただいた方々、協賛各社等、多くの関係者のご協力のもとで本誌を発刊する運びとなりました。本当にありがとうございました。またコロナ禍で、皆で集まり打ち合わせを行うことができない制限下のなか、校正にオンラインでご協力いただきました編集委員の先生、手島印刷の関係者に厚く御礼申し上げます。

また長年に渡り会の運営にアドバイスをいただておりました中垣名誉教授、嶋崎教授をはじめ、愛知学院大学歯学部口腔衛生学講座の先生方にも深謝いたします。

2022年7月

90周年記念誌 編集委員長

宮原隆史

編集委員から一言

宮原 隆史……皆様のご協力ありがとうございました！次の100周年もとても楽しみです。
名学歯の今後の益々のご発展をお祈り致します。

高橋 拓史……この90周年誌は、皆様方のご指導ご鞭撻の賜物とっております。
名学歯の歴史にもふれさせていただきありがとうございました！

石田 宏幸……90周年記念誌の編集に携われ、とても光栄に思います。
名学歯の歴史の重みを改めて感じました。

大橋 盛人……コロナ禍で様々な活動が制限される中、90周年記念誌の編集に携われ非常に勉強
になりました。90周年おめでとうございます。

今井 桂思……90年誌の編纂にごくわずかですがかかわらせていただき、光栄に存じます。

柳瀬 章雅……80周年記念誌の編集担当させて頂いてから、はや10年経ち感無量です。
100周年目指して本会を宜しくお願い致します。

名古屋市学校歯科医会 90周年記念誌編集委員会

委員長	宮原 隆史	副委員長	高橋 拡史
委員	石田 宏幸	委員	大橋 盛人
〃	今井 桂思	アドバイザー	柳瀬 章雅

名古屋市学校歯科医会 顧問

愛知学院大学歯学部口腔衛生学講座教授 嶋崎 義浩

名古屋市学校歯科医会 90年のあゆみ

発行 令和4年7月31日
編集 名古屋市学校歯科医会
〒460-0001 名古屋市中区三の丸3-1-1
名古屋市教育委員会学校保健課内
TEL (052) 972 - 3246
FAX (052) 972 - 4177
<http://www.meigakushi.com>

印刷所 手島印刷株式会社
〒451-0025 名古屋市西区上名古屋3-10-14
TEL (052) 522 - 1635
FAX (052) 522 - 1637
<http://www.teshima-printing.com>

不許複製コピー

歯科用語に関して、一部に学校歯科として必ずしも適切でないと思われる表現がみられますが、原文を尊重しましたので、ご理解下さい。

名古屋市学校歯科医会
90年のあゆみ

協賛各社



～目標大学合格のための最短コース～

LINE を活用した全く新しいスタイルのマンツーマン指導！(教室でのレッスンも可能です)

冬休み明けテストでいい点とりたい！

医学部・歯学部・薬学部・難関校を目指したい！

今までに500名以上を難関大学、医学部に進学させてきたデザインラボが全力でサポートします！

大学受験なら デザインラボ

TtoM
ってなに!?

本来のマンツーマンとは、一人の担当教師が専属となって指導しますが、「TtoM」とは「Team to Man」、すなわち、複数の先生がチームを組んで一人の生徒を教えるという新たなスタイルです!!

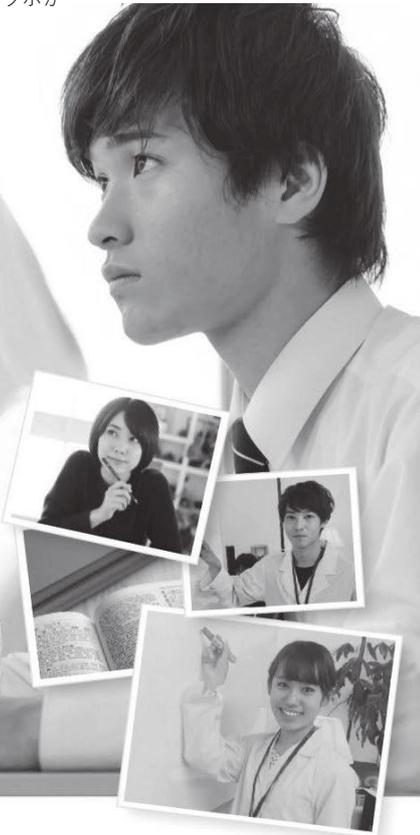


名古屋大学
医学部卒
Dr.KH

名古屋大学
医学部卒
Dr.AH

名古屋大学
医学部卒
Dr.KN

成績がぐんぐん
伸びる秘密は...

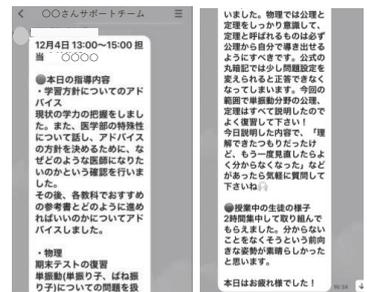


まずは、
無料お試し
レッスンを受
けてみよう!

Youtubeで過去の講演会の
動画が視聴できます。



実際の振り返り↓



レッスンでは、勉強だけではなく学習方法についても指導します。レッスン毎にこのような振り返りが送られてくるため、復習がしやすい!

TtoM式だから、あなたに合う先生とマッチング!

医学部生による、どこにも負けない指導力!

同じ出身校の先生に進路相談や学習方法が聞ける!

レッスンの振り返りを LINE で確認できる!

この地区最大級のハイレベルなスタッフが130名以上所属

自分の理想を見つける

TtoM式

- 1 まず一人に対して最大10人までのチームを結成!
- 2 その後、自分流にカスタマイズしていく!
- 3 自分の理想が見つかる!!

その1

急な授業、
連日の授業にも対応!

豊富な
講師陣

その2

各教科のスペシャリストを
チョイス!



その3

お気に入りの先生を
専属にできる!



ご利用方法

1. まずは気軽に公式LINEにお問合せ!
2. 進路相談(LINEでの相談もできます)
3. 指導スタイルを確定させ、登録完了
4. サポートチームを編成!
5. 指導時間・科目などをLINEのグループ内で打ち合わせ
6. レッスンスタート

さらに今なら!!
LINEの友達登録で



スターバックスの500円
クーポンをプレゼント!

クーポンをもらうには??

Step①: 公式アカウントを友達登録
下のLINEのQRコード(デザインラボ【公式】)を読み取り、友達登録してください。

公式LINEアカウント



Step③: クーポン受け取り用LINEアカウントに一言メッセージを送る。
下のLINEのQRコードを読み取り、友達登録し、何か一言コメントしてください。

クーポン受け取り用



Step②: 公式アカウントの指示に従い
必要情報を公式アカウントに送信。

まずお問い合わせください!

0800-919-4119

代表 ☎ 052-380-2468

地下鉄東山線本山駅から徒歩1分

お友達を紹介して下さり、その方が1月末までに入塾された場合、必ず10000円以内のお好きなLINEギフトをプレゼント致します。



(但し先着で制限あり)

レッスンの特徴

- ・勉強を教えるだけではない！
- ・1対1の完全個別指導！
- ・お気に入りの先生が見つかるまで先生の変更ができ、最良のマッチングが可能
- ・現在の成績と志望校にマッチしたテキスト選び
- ・1人1人に合わせて合格までのカリキュラムを作成
- ・生徒の習熟度に合わせた指導
- ・他塾では聞けない本音での教育相談ができる！
- ・好きな曜日、好きな時間にレッスンできる！
- ・遠隔でのオンライン指導にも対応

先生の特徴

- ・先生は全員、現役の医学部生で130名以上在籍
- ・愛知高校から名市大医学部に進学した先生が在籍
- ・ほとんどが名大・名市大の医学部生
- ・東海・滝・南山女子出身者が多数在籍
- ・開成・灘など関東・関西の最難関校出身の先生も在籍
- ・ハイレベルな講師陣だから難しい問題まで対応



生徒の声

デザインラボに入ってよかったのは、**1人の生徒に対して数人の優秀な医学部生スタッフ**でチームを作ってサポートしていただける点です。また、各科目のレベルの高い問題でもしっかりと解説してくださるので、かなり**質の高い授業**が受けられる点や、大手予備校と違い、**生徒とスタッフの距離感が近く**感じられる点です。

国公立大医学部、早慶、MARCH、関関同立を目指す生徒も在籍中！

私は以前、大手予備校に通っていましたが、そこでは自分が受けている授業の講師が常にいるわけではないため、質問できる日、時間帯が限られていました。一方で、デザインラボは多少の質問であれば担当の先生の都合にもよりますが、**LINEで気軽に聞けたり、授業を自分の都合に合わせて**られる点で非常に便利です。また、**一対一の個別指導**なので、私の**弱点を細かく分析**して下さり、克服できるまでとことん教えていただけます。その点で、学力に不安のあった私にとって**転塾して大正解**だったと感じています。

スタッフ紹介



代表の森です！大学受験に向けての匙加減、シラバスの作成、参考書のセレクトなど今までに**500名以上を難関大学や医学部に導いてきた経験**を活かして皆さんの夢実現のお手伝いをさせていただきます！趣味はサイクリングとウォーキングと食べ歩きと旅行です。



名古屋大学の医学部に通っていて、テニス部と水泳部に所属しています。運動も好きですが、美味しいスイーツを食べることも好きです！皆さんと学べるのを楽しみに待っています、一緒に志望校を目指して頑張りましょう♪

ダンスにハマっている**名古屋大学の医学部医学科生**です！理系科目が得意です。皆さんを全力でサポートさせていただきます！



名古屋市立大学の医学部に通っています。コスメを集めることや美味しいご飯を食べることが趣味です！テニスサークルに所属しています。得意科目は数学と物理と日本史です！1年間の浪人を経て学んだ、自分に足りないものやそれを補う方法を活かして最大限にサポートさせていただきます。

名古屋市立大学の医学生です。名古屋中学高校出身で、1年駿台で浪人しました。現役の時の反省、また浪人期の経験を生かして全力で大学受験のサポートをさせていただきます！スポーツと音楽が好きで硬式テニス部に入っています！得意科目は数学と物理です。





あなたのための プライベートクリニック



栄エンゼルクリニックでは、内科・消化器内科の一般診療だけでなく、人間ドック・健康診断に力を入れていまして、ご来院頂くみなさまに寄り添い、心のこもった医療サービスの提供に努めてまいります

ポイント 1 年間約4,000件！胃・大腸内視鏡検査の実施

上部（経口・経鼻）内視鏡検査を、ハイビジョン画質で下部内視鏡検査を実施しています。検査の当日に専門医が画像を見ながら結果をお話しますので、不安なことがあればその場でご相談ください。

ポイント 2 1.5テスラのMRI検査で早期発見・治療につとめる

脳梗塞、脳腫瘍、脳出血に代表される脳血管疾患は、ある日突然に訪れることがほとんどですので、定期的な受診をお勧めします。脳ドックの検査のほか、胆膵疾患精査のMRCPや肝疾患の精査、骨盤内臓器の精査も可能です。

ポイント 3 充実した検査コースのご案内

ホームページにて、複数の検査コースをご用意しています。受診される皆さまのご心配に寄り添い、最適なプランやオプション検査、各種助成制度のご提案をいたします。



医療法人 士正会 健診センター栄エンゼルクリニック



〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄5丁目4番12号 TEL. 052-238-0323 <https://angel-clinic.com/>

WEBからの増患をお考えの歯科医院様、
審美歯科をよりPRされたい医院様、最後の1社として
私たちにご相談下さい。

相談
無料

WEBから
もっと

増患

しませんか？

高いお金でサイトを作っても、増患に繋がっていないとお声をよく頂戴します。
そんなお悩みは全て当社にお任せ下さい。

目的

運営

デザイン

増患
ツール



スマートフォン



タブレット端末

急激に普及

次世代
端末への
対応

特別価格！

名古屋市学校
歯科医会様限定

多数の歯科医院様のサイトを手がけた当社だから出来るコンテンツ

初期費用 0円

月額 9,800円～

制作に必要な
費用全て
コミコミ！

具体的な内容が知りたい場合は下記よりお気軽にご連絡下さい。



052-822-0570

電腦 名古屋

検索

ご相談だけでも
お気軽に！

ウェブ
ストラテジスト
担当 杉浦



株式会社 電腦 〒457-0007 名古屋市南区駈上2丁目1-24 近藤ビル2F
TEL: 052-822-0570 FAX: 052-822-0571

私たちは新しいコミュニケーションを
創造し続けます

We Create New Ways of Communicating.



講義室マルチメディアシステム
遠隔講義システム
パソコン教室
語学演習システム(CALL)
電子黒板システム
タブレットPC
テレビ会議システム
会議・講義システム
同時通訳システム
大型マルチディスプレイ
映像配信システム
監視カメラシステム
ハイビジョン機器
デジタル映像機器
映像スクリーン
ホール音響システム
非営放送システム
施設内放送システム
プロオーディオ機器
印刷機・オフィスワーク機器
映像・デジタルコンテンツ
映像ソフト企画制作
映像音響機器レンタル

教育産業株式会社

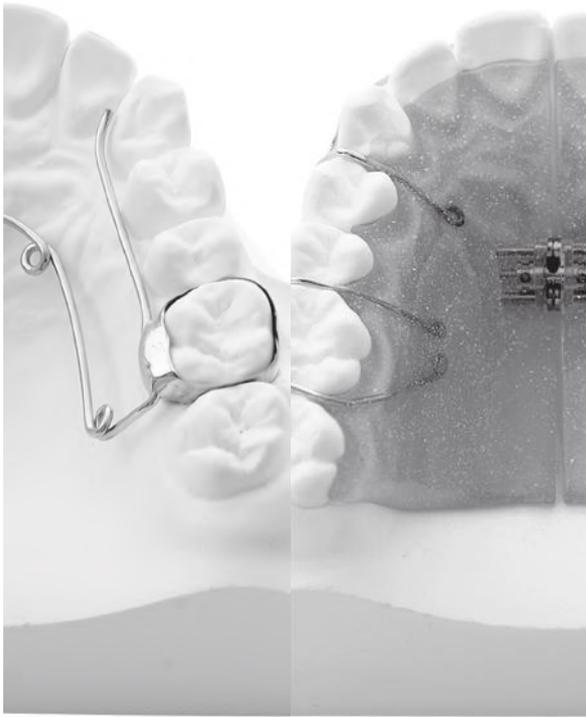
本社:名古屋市中区丸の内3丁目18-28

〒460-0002 TEL(052)971-3011

営業所:東京・静岡・浜松・豊橋・岡崎・豊田・岐阜・三重

事業部:イベント事業部

URL <https://ksg.co.jp/>



Wire Appliance

Plate Appliance

矯正技工なら
グローバルエイト

GLOBAL8
ORTHODONTIC WORKS



オーダーはこちら



Aligner Appliance

STL + DICOM

矯正技工
株式会社 グローバルエイト

〒461-0005 愛知県名古屋市東区東桜 2-9-1 高岳セントラルビルディング 6F
TEL : 052-908-4468 FAX : 052-908-4469 E-mail : info@g8-ow.com WEB : http://www.g8-ow.com



3D PRINTER

3D プリンターなら
エイトサプライ

8
SUPPLY



WASH / DRY MACHINE



☎ : 8supply.co.ltd



POST-CURING MACHINE



3D PRINT MATERIAL

株式会社 エイトサプライ

〒461-0005 愛知県名古屋市東区東桜 2-9-1 高岳セントラルビルディング 6F
TEL : 052-931-6518 FAX : 052-908-4469 E-mail : info@8s-ow.com WEB : http://www.8s-ow.com

医療機器
の保険

インプラント
保険

賠償責任
保険

火災保険

所得補償
保険

介護保険

医療保険

がん保険

死亡保険

医療機器の
地震補償

地震による
休業補償

台風・集中豪雨
による休業補償

お気軽にご相談ください！！

愛知県歯科医師協同組合 指定店



OLiNAS株式会社
イダオフィス

取扱団体：全日本病院協会・日本病院会
愛知県歯科医師協同組合・愛知県歯科医師会等

〒454-0022 名古屋市中川区露橋2-26-7

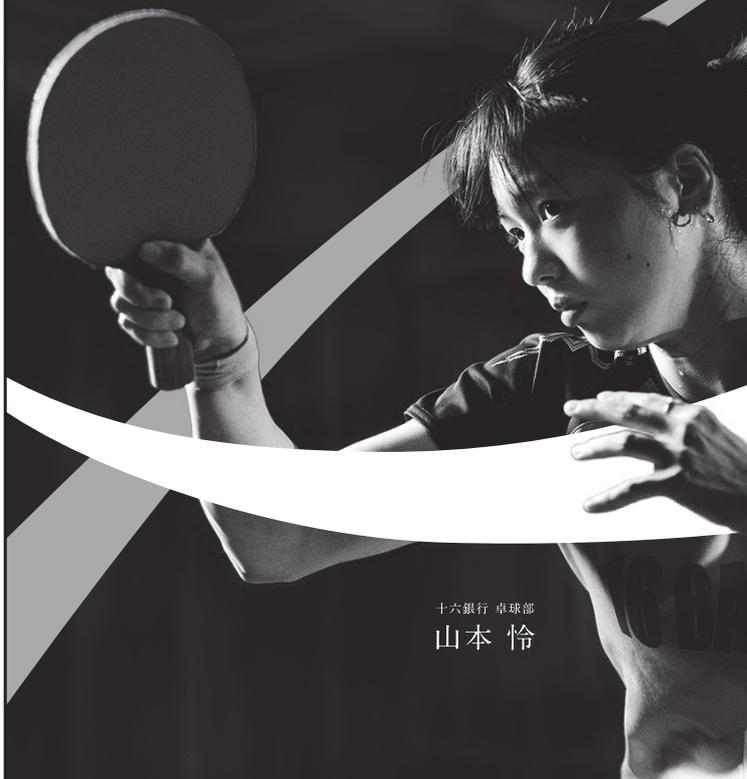
TEL 052(363)2156 FAX 052(363)3792

Email : iida-office2@olinas-inc.jp

<http://www.tmn-agent.com/iidaokhdp6/>



挑戦の数だけ、
未来はひろがる。



十六銀行 卓球部
山本 怜

 十六銀行

 JUROKU
Financial Group

歯科医療の豊かな未来を
考える信頼のサポーター



SHIRANE

日々のご診療から
ご開業まで
シラネは安心と信頼を
お届けします。

歯科医療器材専門商社

株式会社 **シラネ**



本社 〒460-0012 名古屋市中区千代田2-4-8
☎(052)261-4636 函(052)263-2326
ホームページ/ <http://www.shirane-dental.co.jp>

千種支店 〒464-0038 名古屋市千種区春里町4-15-1
☎(052)762-7145代

刈谷支店 〒448-0022 刈谷市一色町3-4-8
☎(0566)24-1521代

一宮支店 〒491-0932 一宮市大和町毛受字浜田76-3
☎(0586)45-7795代

豊橋支店 〒441-0202 豊川市赤坂町御園190
☎(0533)87-8700代

浜松支店 〒430-0928 浜松市板屋町100-3
☎(053)454-6852代

三重支店 〒510-0073 四日市市西浜田町6-19
☎(0593)53-6445代

岐阜支店 〒500-8306 岐阜市鍵屋東町1-26
☎(058)251-7788代

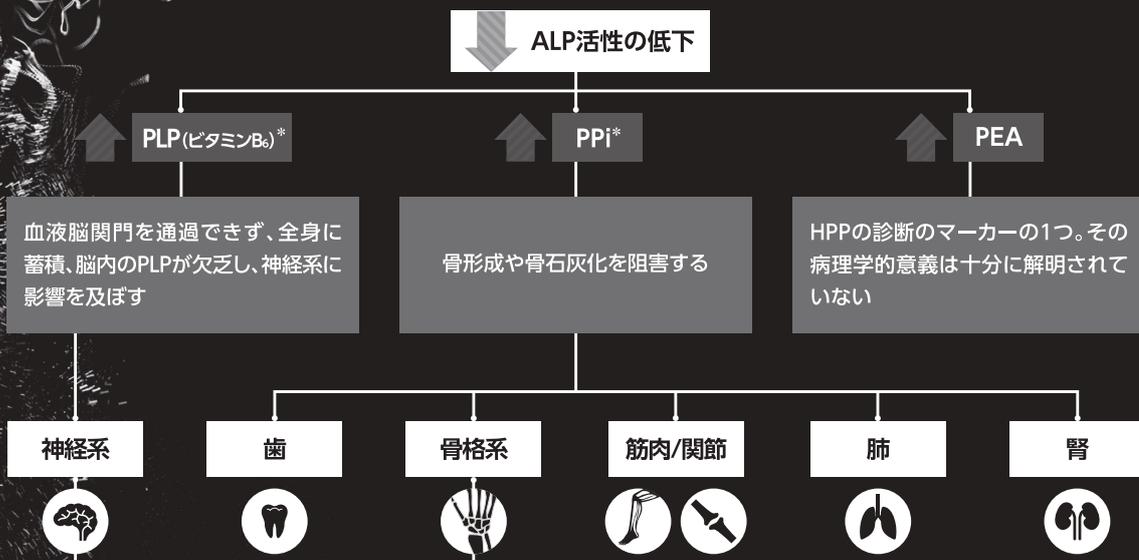
飯田支店 〒399-3202 長野県下伊那郡豊丘村神福7311-1
☎(0265)34-3801代

岡谷営業所 〒394-0021 長野県岡谷市郷田2-2-12
☎(0266)22-3390代

東京支店 〒101-0021 東京都千代田区外神田5-1-13
☎(13)3836-2955代

◎開業相談デスク 0120-611-057 担当:佐藤

低ホスファターゼ症 (HPP) はALPの活性低下により、骨・全身・生命に影響を及ぼす遺伝性代謝性疾患です



*PPI(無機ピロリン酸)、PLP(ピリドキサル5'-リン酸)は現在日本では測定できません。
PEA: ホスホエタノールアミン

お問い合わせ | アレクシオンファーマ合同会社 メディカル インフォメーション センター
受付時間: 9:00~18:00(土、日、祝日及び当社休業日を除く) フリーダイヤル 0120-577657

ALEXION[®]
AstraZeneca Rare Disease

HPP-AD3 (2)-2108

お悩みの法律問題の解決をお手伝いします



40年余の信頼と実績



弁護士法人 しるべ総合法律事務所

460-0002 名古屋市中区丸の内三丁目7番27号

電話 052-971-5011

<http://www.shirube-lo.jp>

業務時間 9時~18時(土、日、祝日、年末年始は休業)

自動電話機能を標準搭載!!

患者様カバー率ほぼ

100%



クラウド+オンプレミス機能融合により、
高速なレスポンス+インターネット障害時でも利用可能な安全性を実現

ハイブリッド予約システム デンタルアクセス

- ➔ 診療予約・リコール業務からスタッフを開放!!
- ➔ ネット予約以外にも **24H** 電話自動予約に対応!!
- ➔ **LINE**・SMS・アプリPush通知・電話音声の自動連絡機能搭載!! スマホアプリは診察券としてご利用可能

全国各地のデンタルショーにてご体験いただけます

デンタルアクセス

検索

QRコードから簡単アクセス



お気軽にお電話ください **0120-877-567**
フリーダイヤル 受付時間/10:00~18:00(土・日・祝日は除く)

V Networks
Vanguard
電気通信事業届出番号J-16-378

株式会社ヴァンガードネットワークス
札幌本社 札幌市中央区北5条西6丁目1-23 第2北海道通信ビル7階
東京支店 東京都千代田区神田佐久間町1丁目11 産報佐久間ビル5階
名古屋営業所 名古屋港区十一屋1丁目47



歯科総合システム デンタルクィーン V3

Best Solution for Dental Clinic.

スピーディーな入力と安心のチェック機能!

DENTALQueen V3

歯科医院業務を一元管理し、快適な医院環境作りをサポート致します。

OPTION

P-Pad

(衛生士向け)
タブレット商品

DENTALQueen との
データ連携にも対応

歯周検査



実地指導記録



衛生士業務記録簿



DSK 株式会社 電算システム

- 岐阜 〒503-0006 岐阜県大垣市加賀野 4-1-21 テクノセンター
- 名古屋 〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦3丁目1番1号 十六銀行名古屋ビル 12 階
- 東京 〒104-0032 東京都中央区八丁堀 2 丁目 20 番 8 号 八丁堀綜通ビル

www.densan-s.co.jp/

- TEL (0584) 77-2755
- TEL (052) 961-3683
- TEL (03) 3206-1788

DTP制作

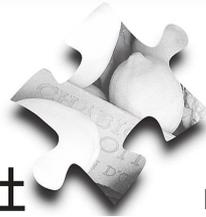
CD-ROM
制作

ホームページ
制作

スライド制作

WIN/MACデータ
CTP出力

私は、デジタリアン



手島印刷株式会社

E-mail: info@teshima-p.com

tel. 052-522-1635

〒451-0025名古屋市西区上名古屋3-10-14

協賛各社一覧 (50音順)

アレクシオンファーマ合同会社

OLiNASイイダオフィス

教育産業 (株)

(株) グローバルエイト・エイトサプライ

健診センター栄エンゼルクリニック

(株) シラネ

十六銀行

しるべ総合法律事務所

デザインラボ

手島印刷 (株)

(株) 電算システム

(株) 電脳

(株) ヴァンガードネットワークス